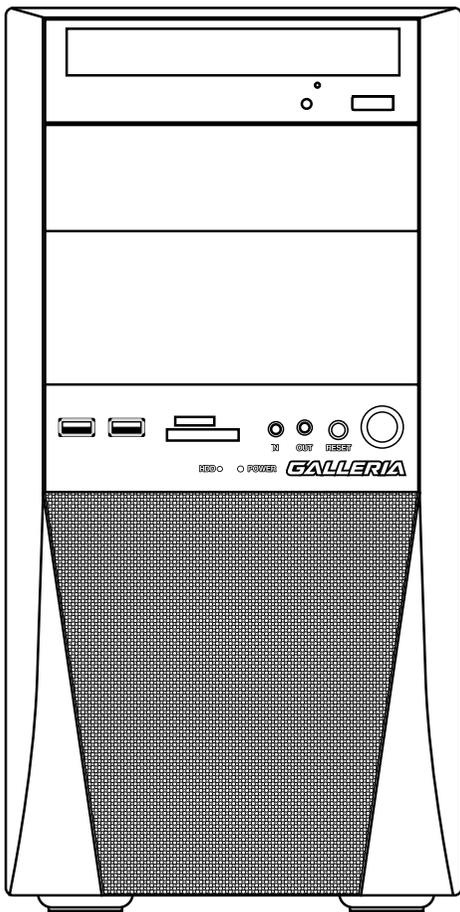


Diginnos

ユーザーズマニュアル



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、弊社製パソコン「Diginnos」シリーズ全般における
基本的な接続・セットアップ方法を、簡単に分かりやすくご案内しております。
本製品をご利用になる前に必ずお読みください。
また、よくご質問を受けるトラブルの対応方法を記載しております。
故障かなと思われたとき、ご活用ください。

ユーザズマニュアル

セットアップ手順	4
安全のために.....	5
“困った”を未然に防いでパソコンを快適に使用するために	10
健康のために	12
箱から取り出す.....	13
箱の中身を確認する	14
プロダクトキーについて.....	16
各部の名称と接続方法	18
KT/KTM ミドルタワーケース	18
EA041 ミドルタワーケース.....	20
GR one フルタワーケース	20
SR598M フルタワーケース	21
EM041 ミニタワーケース	21
KTS コンパクトケース	22
BL672 スリムケース	22
パソコン背面のコネクタ等の エリア配置について	23
名称・接続方法 (本体背面)	24
ディスプレイを接続する	25
キーボード・マウスを接続する	27
ネットワークへ接続する	27
スピーカーを接続する	28
電源ケーブルを接続する	28
電源を入れる・電源を切る.....	29
Windows 7 のセットアップ	33
Windows 8.1 のセットアップ	36
Windows 10 のセットアップ	39
キーボード・マウスの使い方	42
画面解像度の設定	47
周辺機器の接続	48
インターネット接続	49
光学ドライブへの書き込み方法.....	55
バックアップ方法	56
OS インストール前の準備	72
Windows の初期化方法	73
Windows 7 のインストール.....	80
Windows 8.1 のインストール.....	88
Windows 10 のインストール	94
Windows 7 の再インストール.....	99
Windows 8.1 の再インストール.....	101
Windows 10 の再インストール	103

Windows 7 のスタートアップ修復	105
Windows 8.1 の自動修復	107
Windows 10 のスタートアップ修復	109
回復ドライブを作成する / 使用する	111
デバイスドライバーのインストール	114
各種ソフトウェアのインストール手順	120
Diginnos パソコンのカバーの開け方	124
内部構成の説明	128
ドライブベイの説明	130
メモリーの増設方法	133
ハードディスクの増設方法	135
パーティションの設定方法	146
光学ドライブの交換方法	147
ビデオカードの交換方法	148
パソコンの清掃について	150
困ったときは	152
パソコントラブル解決手法	155
パソコントラブル FAQ (BIOS[UEFI] ~ Windows 起動前)	160
パソコントラブル FAQ (Windows 起動後)	162
パソコントラブル FAQ (ハードウェア)	164
パソコントラブル FAQ (その他)	166
改善のための操作方法	168
ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」	171
デジノスサポートセンターよりお客様へ	175
パソコンのリユースについて	176
パソコンのリサイクルについて	177
パソコンに記憶されているデータについて	178
Diginnos パソコン保証規約	179
デジノス修理依頼書	180
修理依頼方法	181
サポートのご案内	183

セットアップ手順

1

安全のために **5 ページ**

●安全に正しくお使いいただくためにご確認ください

2

“困った”を未然に防いで、パソコンを快適に使用するために **10 ページ**

●パソコンをお使いいただくうえでトラブルを未然に防ぐための諸注意をご確認ください

3

箱から取り出す **13 ページ**

4

箱の中身を確認する **14 ページ**

●付属品等がそろっているかご確認ください

5

各部の名称と接続方法 **18 ページ**

- キーボードの接続
- マウスの接続
- ディスプレイの接続
- スピーカーの接続
- 電源の接続

電源を投入する前に全ての接続・設定があっているか、もう一度確認しましょう。

6

電源を入れる **29 ページ**

●ディスプレイ・本体・周辺機器の電源を入れて起動します

7

Windows の起動

●OS インストールモデルの場合

Windows 7 のセットアップ **33 ページ**

Windows 8.1 のセットアップ **36 ページ**

Windows 10 のセットアップ **39 ページ**

●OS なしモデルの場合

Windows 7 のインストール **80 ページ**

Windows 8.1 のインストール **88 ページ**

Windows 10 のインストール **94 ページ**

セットアップの完了です

安全のために

表記の意味

■ 記載内容を守っていただけない場合に生じる、危害や損害の程度を表します。



警告

お取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。



注意

お取り扱いを誤った場合、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 安全に使用いただくための禁止事項を、下記のマークで表しています。



一般禁止

禁止する行為を示します。



ぬれて禁止

ぬれた手で製品を扱うと感電する可能性があることを示します。



分解禁止

分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。



水ぬれ禁止

水がかかる場所で使用したり、漏電によって感電や発火の可能性を示します。



接触禁止

特定の場所に触れることで傷害が起こる可能性を示します。

■ 安全にご使用いただくための、注意事項を下記のマークで表しています。



一般注意

注意する行為を示します。



感電注意

特定の条件により、感電する可能性を示します。



ケガ注意

特定の条件により、ケガの可能性を示します。



発火注意

特定の条件により、発火の可能性を示します。



高温注意

特定の条件により、高温による傷害の可能性を示します。

■ 安全にご使用いただくための、指示事項を下記のマークで表しています。



使用者に対して強制する行為を指示します。



使用者に対して電源プラグをコンセントから抜くように指示します。

安全にご利用いただくために

Diginnos パソコンは、安全にご利用いただけるよう、各規格に準拠したパーツにて製造されております。しかし、接続や使用方法が正しくないと、火災や感電などの事故を引き起こすことがあり危険です。事故を防ぐために、記載事項を必ずお守りください。

定期的な点検

Diginnos パソコンは精密機器ですので、ケース内にホコリがたまると誤作動の原因となります。ケースファンにホコリが付着すると冷却性能低下によるトラブルが発生しますので、定期的な点検・清掃をしてください。

故障した場合

パソコンを使用していて何らかの問題に気付いたときは 152 ページ「困ったときは」を参考に解決を試みてください。問題が解決できない場合は、お買い上げの店舗か、デジノスサポートセンターにご相談ください。

万一、異常が起きたら

**異音・異臭・煙が出たら
即、ご使用をお止めください。**

直ちに使用を中止し、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

お買い上げの店舗、もしくはデジノスサポートセンターに点検・修理をご依頼ください。



安全のために

使用環境



パソコンの設置場所および使用環境について、以下の条件でご使用ください。この条件以外でパソコンを使用すると、火災などの事故や、パソコンが破損する、起動しなくなるなどのトラブルの原因となります。

次のような場所が設置に適しています。

- ・室内
- ・温度 10℃～35℃
- ・湿度 20%～80% (結露しないこと)



極端に温度が低い室内で電源を入れるとパソコンが起動しないことがあります。そのような場合は一度電源を切り、室内の温度を上げて2時間ほど放置してから電源を入れ直してください。急激な温度の変化で内部に結露が生じ、部品がショートして故障の原因となるのを防ぎます。

設置場所の警告・注意



警告



水槽の近くや水場のそばなど湿気の多い場所には設置しないでください

水がかかると、火災や感電の原因となります。



湿気・油煙の多い場所に置かないでください

火災や感電の原因となります。



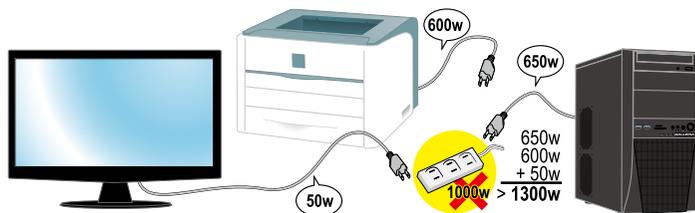
幼児の手の届く場所に置かないでください

ディスクの挿入口に手を挟まれたり、ケース内の鋭利な箇所等が、けがの原因となります。



テーブルタップ等を使用する場合は、接続する機器の容量がテーブルタップの容量を超えないようにしてください

火災や感電の原因となります。



安全のために

⚠ 注意



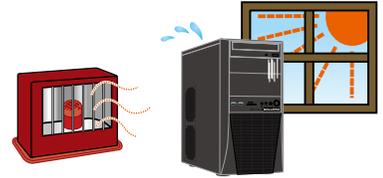
家電製品のそばや磁気を発生する物の近くには
設置しないでください

異常動作の原因となりますので 30cm 以上離して設置してください。



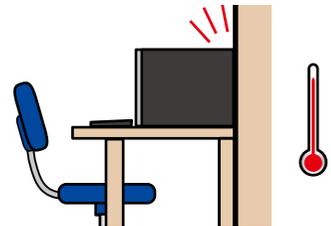
直射日光のあたる場所やストーブの近くなど
熱くなりそうな場所には設置しないでください

変色、変形等の劣化の原因となります。
内部温度が上がり故障の原因となります。



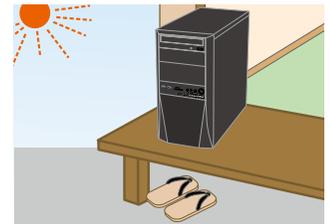
パソコンの通風口をふさがないでください

パソコンパーツの多くは発熱します。
パソコンの排気口や通風口をふさぐと、本体内の空
気の換気作業がうまくいかず、本体内部温度が上昇
してパソコンの誤作動や故障の原因となります。
必ず 10cm 以上離して設置してください。



屋外やホコリの多いところには設置しないでください

火災や感電の原因となります。



不安定な場所に置かないでください

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製
品が落ちてけがの原因となります。また、置き場所、
取り付け場所の強度も十分に確認してください。



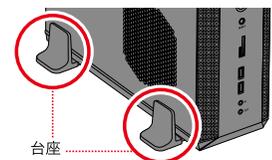
コンセントから電源プラグを抜きやすいように設置してください

万一の異常や故障、または長期間使用しないときなどに役立ちます。



スリム型パソコンを縦置きでご使用の場合付属の台座をご使用ください

底面の吸気口をふさぐと、本体内の換気が正常に行われず、本体内部
温度が上昇してパソコンの誤作動や故障の原因となります。



安全のために

本体使用上の警告・注意

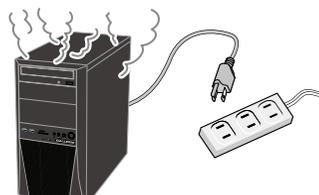
警告



「異音がする」「焼けたような匂いがする」「ケーブルやコネクタが異常発熱している」などの場合

直ちに使用を中止し、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用されると、火災や感電の原因となります。

その後の処置は、お買い上げの店舗または
デジノスサポートセンターまでご相談ください。



内部に水や異物を入れないでください

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万が一入り込んだ場合はすぐに電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後の処置は、お買い上げの店舗または
デジノスサポートセンターまでご相談ください。



パソコンが変形していたり、割れ目などの破損箇所がある場合は使用しないでください

破損があるパソコンを使用すると、火災・感電の原因となります。その場合は直ちに使用を中止し、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

その後の処理は、お買い上げの店舗または
デジノスサポートセンターまでご相談ください。



改造をしないでください

パーツの分解・改造をしないでください。火災や感電・けがの原因となります。

また改造を行った場合、保証期間内でもサポートの対象外となります。



アダプターや周辺機器などを接続する際はコネクタの向きを確認し変形や破損がないかもあわせてご確認ください

・コネクタの向きを間違えて接続すると、変形や破損の原因となります。
・変形や破損したコネクタを接続すると火災・感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、パソコンを終了してコンセントやLANケーブルを抜いてください

落雷により感電したり、故障の原因となります。



安全のために

警告



電源や周辺機器などを接続したケーブルやコネクタに無理な力を加えないでください

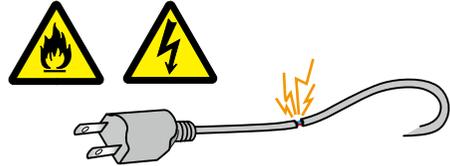
ケーブルやコネクタに無理な力が加わると、変形や破損による火災や感電の原因となります。



電源ケーブルを傷つけないでください

電源ケーブルを傷つけると、火災・感電の原因となります。

- 重い物を乗せたり、引っ張ったりしない
- 熱器具に近づけない、加熱しない
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜く



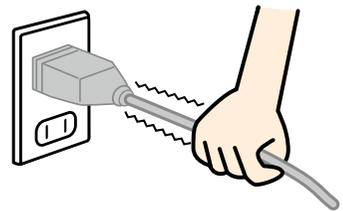
ぬれた手で電源プラグに触らないでください

感電の原因となります。



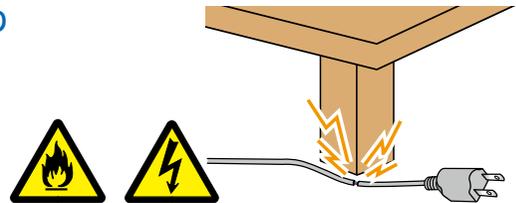
ケーブルのコネクタを抜くときはケーブルを持たずに必ずコネクタ部分を持つようにしてください

ケーブルを直接引っ張ってコネクタを抜くと、ケーブル断線などの故障の原因となります。取り外すときは必ずコネクタ部分を持つようにしてください。



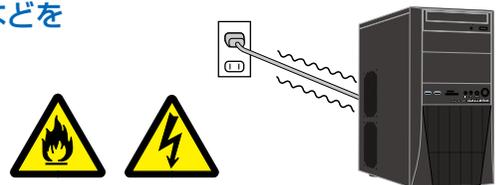
電源や信号のケーブルを無理に曲げたり物を乗せないようにしてください

ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。



電源プラグや各種コネクタ、周辺機器などを接続したまま移動させないでください

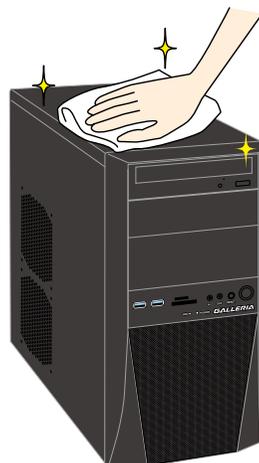
ケーブルやコネクタ等が破損・変形することによる、火災や感電の原因となります。



“困った”を未然に防いでパソコンを快適に使用するために

パソコンやパソコンの周辺を清潔に保つ

空気中のチリやホコリは精密機器であるパソコンの大敵です。パソコンやパソコン周辺を常に清潔に保つよう心掛けましょう。定期的にパソコンのお手入れを行うと、快適でより長くパソコンをご利用いただけます。



ワンポイント

ご自身でパソコンの内部を触った経験がない方は、ドスパラ全店及びデジノスサポートセンターで有償クリーニングいたします。詳しくは下記の URL、近隣のドスパラまたはデジノスサポートセンターにご確認ください

<http://www.dospara.co.jp/cln>

正しい方法で電源を切る

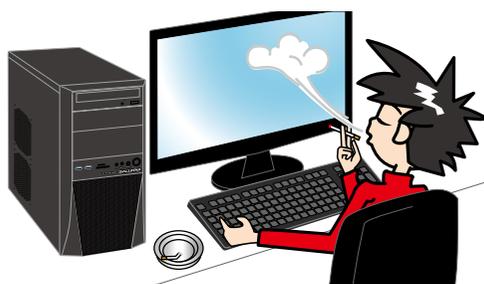
やむを得ない理由を除き、電源スイッチを押して強制的にパソコンの電源を切ったり、リセットスイッチを押して再起動することはおやめください。

パソコンが故障したり、正常に動作しないなどのトラブルを引き起こす原因となります。



パソコン使用時の飲食、喫煙は避ける

飲食しながらパソコンを使用すると、食べ物や飲み物がかかり、パソコンを故障させる原因となります。また、タバコの煙や灰は精密機械であるパソコンにとって大敵ですのでご注意ください。



作業中はこまめにデータを保存する

「パソコンが突然フリーズ（停止）して作成中のデータが消えてしまった」ということがないように、文書作成等の作業時はこまめにデータを保存しましょう。



“困った”を未然に防いでパソコンを快適に使用するために

定期的にデータのバックアップを作成する

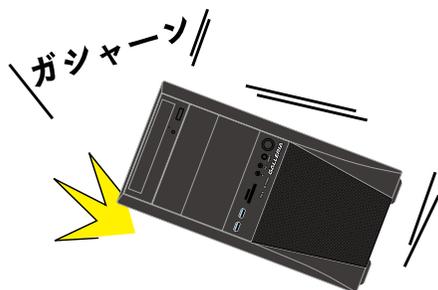
誤った操作やウイルス感染等により、ハードディスク内のデータが消えてしまうことがあります。

大事なデータは定期的に CD-R/DVD-R やフラッシュメディアなどの他の記録媒体にバックアップを作成しておきましょう。



パソコンにショックを与えない

電源が入っている / いないに関わらず、パソコンにものをぶつけるなどのショックを与えないよう十分ご注意ください。肘をぶつけるなどのほんの少しのショックでもハードディスクが破損したり、フリーズ(停止)状態になってしまうことがあります。



インターネットを利用するときはウイルス対策を万全に

インターネットに接続すると、Eメールやウェブサイトなどから、コンピューターウイルスに感染する危険があります。そのため

- ・ Windows Update (※) で、システムの更新をする
- ・ 市販のウイルス対策用ソフトウェア等を利用する
- ・ 信頼できないウェブサイトのアクセスやダウンロードをしない
- ・ 心当たりのない Eメール (添付されているデータがある場合はそれを含む) は開封せずに削除するなど、ウイルス対策を積極的に行いましょう。

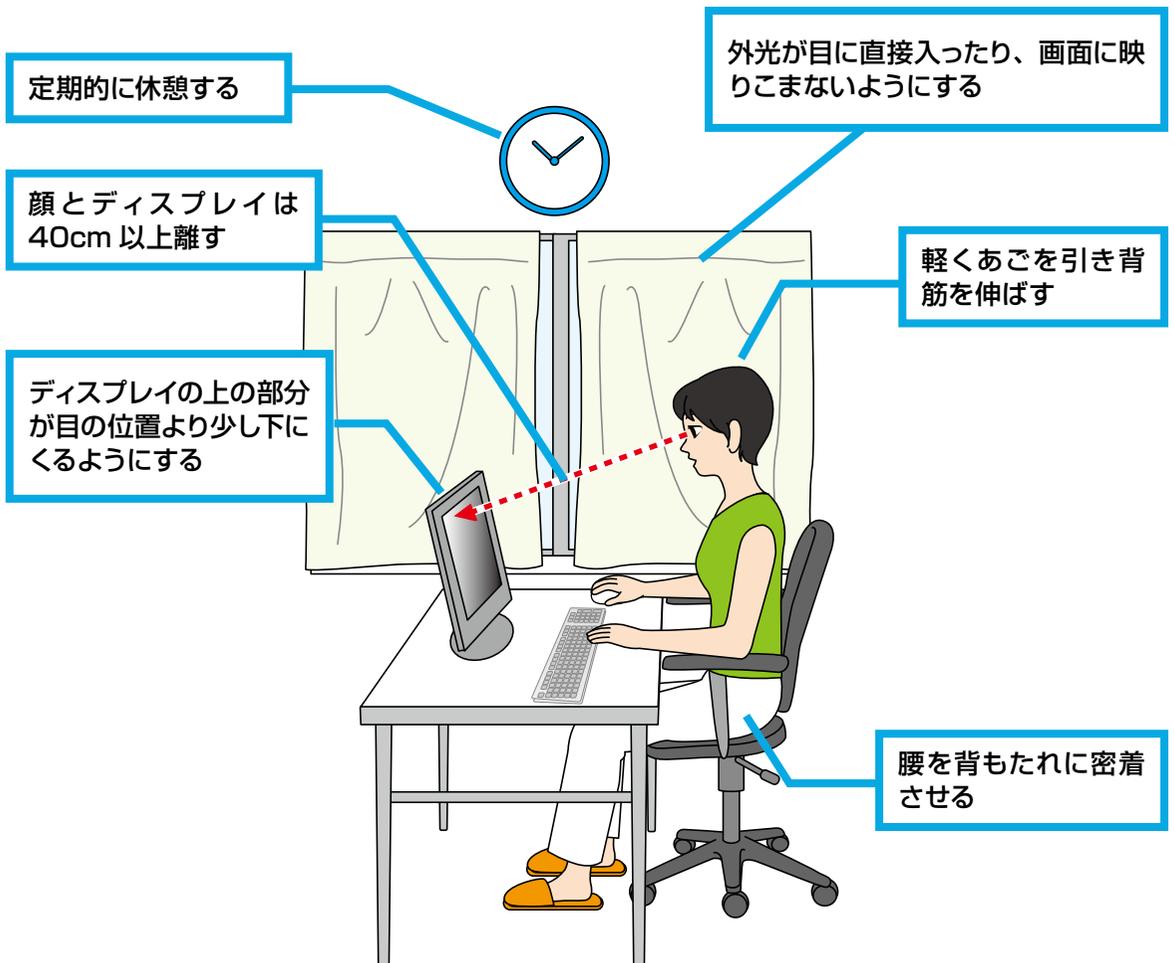


※ Windows Update について

インターネットに接続できる環境にあるときは、Windows や Internet Explorer の更新補助機能である Windows Update を実行してください。OS の発売後に発見された不具合を解消したり、各種ドライバーを更新することができます。特に、OS 関連でリリースされているサービスパックについてはインストールすることをお勧めします。

Windows Update への接続方法は、スタートボタンをクリックして立ち上がるメニューから「Windows Update」を選択するか、同じく「スタートボタン」→「検索」→「ファイルやフォルダ」を選択して「wupdmgr.exe」を入力して検索し、見つかったファイルをダブルクリックしてください。

健康のために



姿勢

- ▶軽くあごを引き、背筋を伸ばすようにしましょう。
- ▶腰を背もたれに密着させましょう。
- ▶腕や太ももは床と平行にしましょう。
- ▶足裏全体を床につけるようにしましょう。

キーボード マウスの操作

- ▶入力中に手首をあまり曲げすぎないようにしましょう。
- ▶マウスを動かす際は、手首だけを使わずに腕全体で動かすようにしましょう。
- ▶キーボードの入力中は、手首と手を宙に浮かせ、離れたキーを押すときに指を伸ばすのではなく腕全体を移動させるようにしましょう。
- ▶キーボードやマウスは軽いタッチ・クリックをしましょう。

使用時間

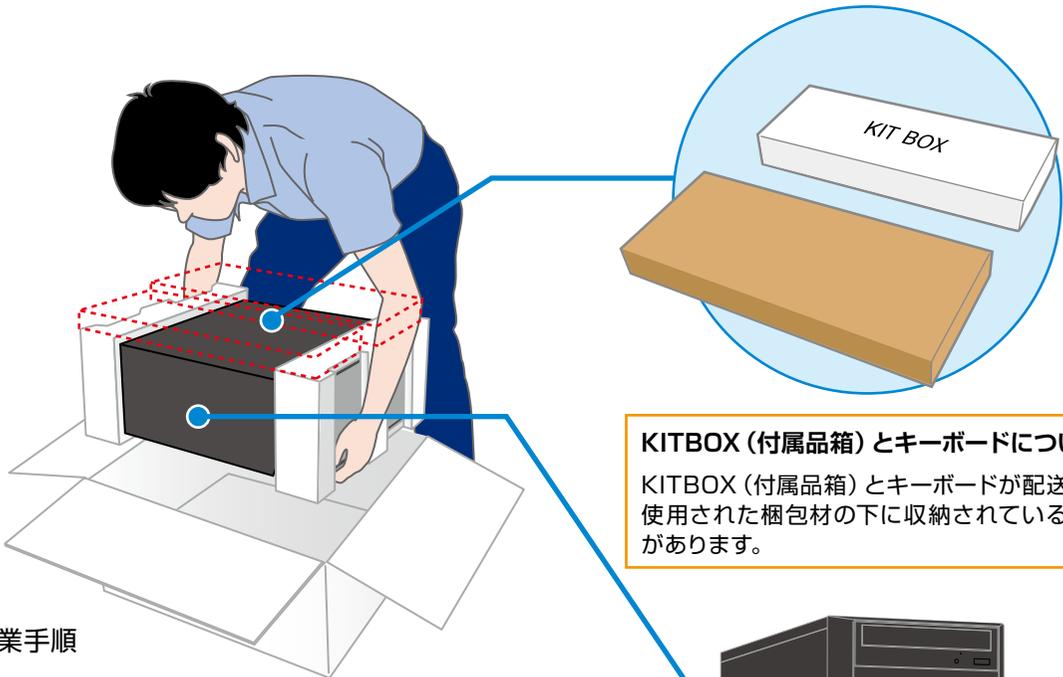
- ▶一時間に一回休憩を取り、遠くを見つめたり、ストレッチをしましょう。

ディスプレイ

- ▶顔とディスプレイは40cm以上離しましょう。
- ▶ディスプレイの上の部分が目の位置より少し下にくるようにしましょう。
- ▶ご利用中、外光が目には直接入ったり、画面に映りこまないようにしましょう。
- ▶ディスプレイは清潔にしましょう。

箱から取り出す

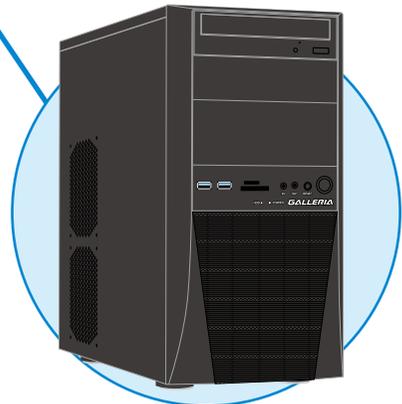
届いたパソコンを箱から取り出しましょう。
パソコンは広く安定した場所で取り出し、落としたりぶつけたりしないように注意してください。



KITBOX (付属品箱) とキーボードについて
KITBOX (付属品箱) とキーボードが配送時に使用された梱包材の下に収納されている場合があります。

作業手順

- ① ダンボールの上側を開封してください。
- ② 本体の上に同梱されている、KITBOX (付属品箱) とキーボードを取り出します。ご購入いただいたモデルにより、KITBOX の印刷がない、BOX が下側にある、BOX がない、などの場合があります。
- ③ 本体を取り出す際は側面から手を入れて、中の本体をしっかりと両手でつかんでください。
- ④ 保護袋に入っていますので、袋から出してください。



作業時に傷をつけてしまう場合がありますので、アクセサリや腕時計などは外してください。また、ベルトのバックルで傷つけてしまう場合もありますので注意してください。取り出すときは、緩衝材を持たずに本体を手でつかんで、注意しながら取り出してください。

梱包箱と緩衝材は輸送の際にご利用いただけます。
地球環境保護のため、再利用にご協力ください。

箱の中身を確認する

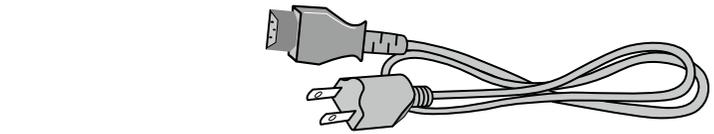
梱包を開けましたら以下のリストを参考に、付属品等がそろっているかご確認ください。
ご確認の際、万一破損していたり付属品が足りない場合は、**すぐにご購入店またはデジノ
スサポートセンターへご連絡ください。**

ハードウェア類

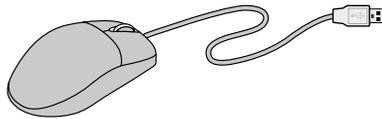


Diginos パソコン

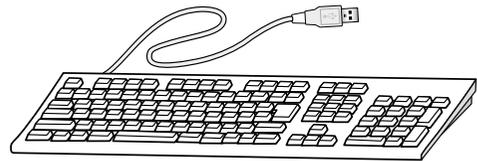
モデル・カスタマイズにより形式／形状が異なります



電源ケーブル



マウス



キーボード



未使用のケーブルやネジ類一式

構成上使用しない付属の接続ケーブル・ネジ類です。
内部にパーツの増設を行う時に使用します。

※ご購入いただいたモデルにより、付属品は異なります。

マニュアルとディスク類



ドライバー CD、マニュアル類
(モデルにより異なります)

Windows メディアについて

(OS インストールモデルのみ)



製品には Windows メディアは付属いたしません。
Windows の再インストールが必要な際は本書
73 ページ「Windows の初期設定」をご参照く
ださい。(モデルにより付属する物もございます)

箱の中身を確認する

保証シール

保証シールは Diginnos パソコンの背面や側面に貼付されています。
パソコンを設置すると製造番号を確認しづらくなりますのでパソコンを設置する前に確認してメモしておきましょう。

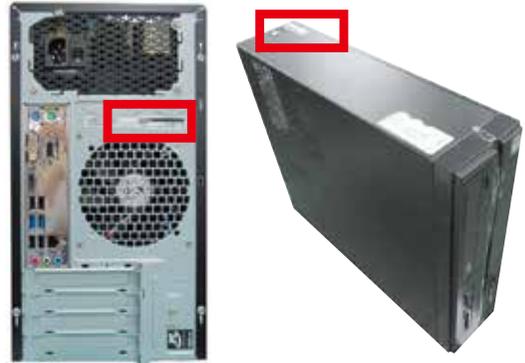


または



製造番号をメモしておきましょう

製造番号チェック									
						-			



ネジの種類

パソコンで一般的に使われているネジは、ミリネジ、インチネジ、セルフタッピングネジの3種類があり、それぞれネジ山のサイズが異なります。なお場所によって使われるネジは異なり、代用することはできません。

ミリネジ：CD/DVD ドライブ、フロッピードライブ、カードリーダー

インチネジ：マザーボード、ハードディスク、電源、ケースの蓋（ネジ留めする箇所）

セルフタッピングネジ：ケースファン

ネジ頭の形は色々ありますが、ネジ山のピッチ（サイズ）は規格で統一されています。増設を行うなどで足りなくなった場合は、お近くのホームセンターなどでも購入できますので、下記のサイズを参考にご購入ください。

ミリネジ：M3 × 5mm

インチネジ：No6-32UNC × 6mm

セルフタッピングネジ：5mm × 10mm



ミリネジ

インチネジ

セルフ
タッピング
ネジ

プロダクトキーについて

プロダクトキーとは

プロダクトキーとは Windows のライセンス認証に必要な英字と数字を組み合わせた 25 桁のコードです。このキーは Windows の初期設定時に入力を行うことにより、認証された正規の Windows を使用することができるようになります。

※ライセンス認証の方法は、下記のページをご確認ください。

- ・ Windows 7 の場合 : 本書 87 ページ
- ・ Windows 8.1 の場合 : 本書 93 ページ
- ・ Windows 10 の場合 : 本書 98 ページ

プロダクトキーの入力方法

プロダクトキーは、搭載されている Windows の種類により、パソコン本体にデータとして記録されているモデルと、パソコン本体の側面にラベル (COA ラベル) で貼付しているモデルがあります。

また、それぞれのモデルでプロダクトキーの入力方法が変わります。

■ Windows 10 / Windows 8.1 搭載モデル (OEM ライセンス認証 3.0 採用モデル)

Windows の初期設定時に、プロダクトキーは自動で入力されます。



プロダクトキーはパソコン本体にデータとして記録されています。初期設定時には、そのデータが自動で入力されるためプロダクトキーを入力する必要はありません。プロダクトキーを記載していたラベルの添付はありません。

■ Windows 7 搭載モデル

Windows の初期設定時に、プロダクトキーを手動で入力します。



パソコン側面に貼付されたラベルから、プロダクトキーを確認して手動で入力を行います。ラベル形状や貼付け場所は、以下の項目「ラベルの確認」をご参照ください。

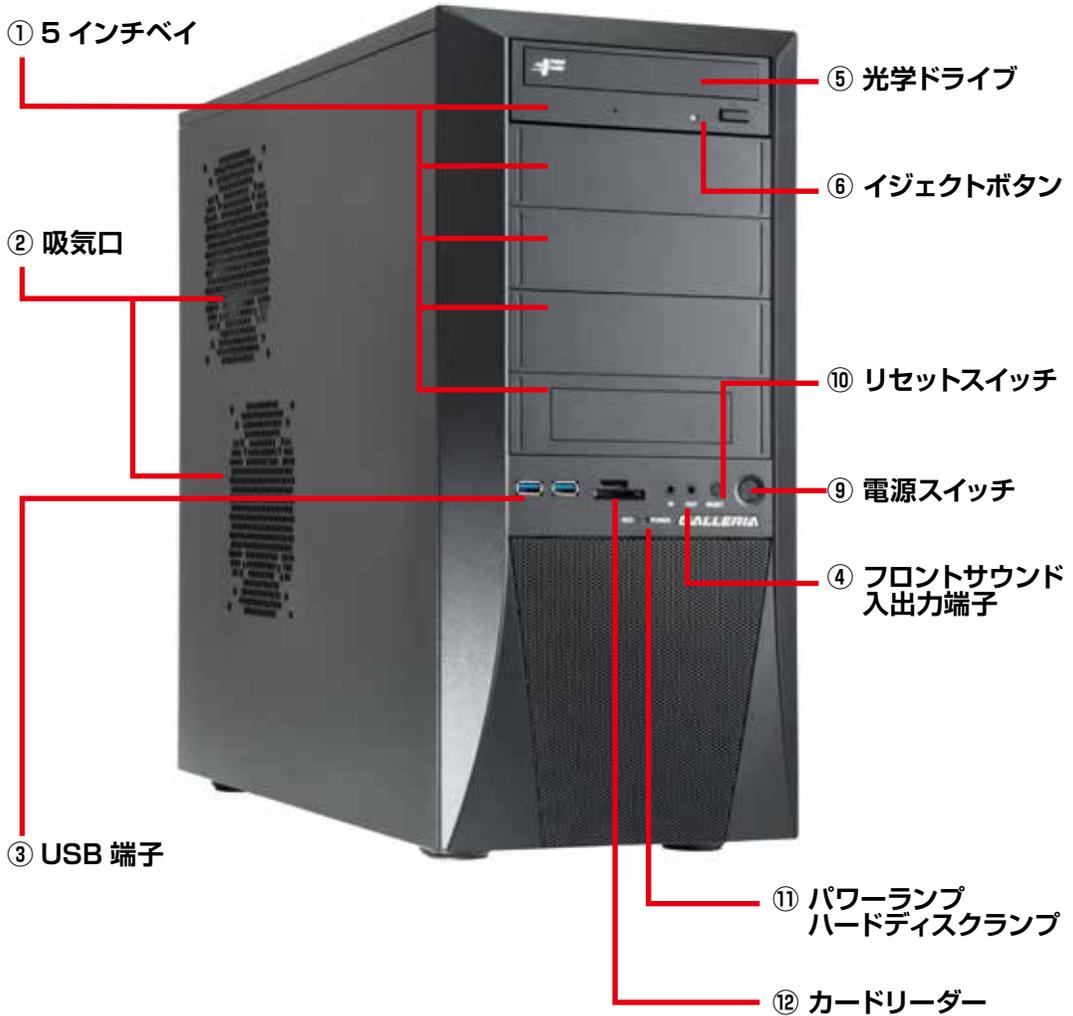
ラベル (COA ラベル) の注意 (添付されないモデルについて)

以前の Windows 搭載パソコンには、必ずプロダクトキーの記載されたラベル (COA ラベル) が必ず貼付されていましたが、Windows 8 以降の OS では OEM ライセンス認証 3.0 が採られている場合、ラベルは添付されていません。

各部の名称と接続方法

KT/KTM ミドルタワーケース

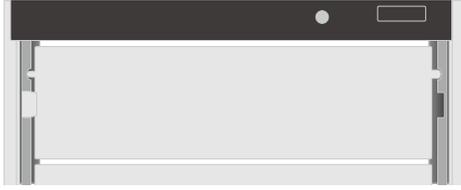
名称・接続方法 フロント（本体前面）



各部の名称と接続方法

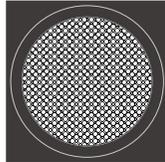
① 5 インチベイ

5 インチ型のドライブや機器を取り付けます。
(例：光学ドライブ)



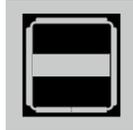
② 吸気口

外気を取り込みます。

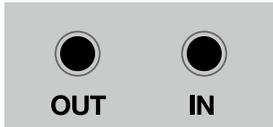


③ USB 端子

USB 対応機器を接続します。



④ フロントサウンド入出力端子



OUT：ヘッドホン出力コネクタ
スピーカーやヘッドフォンを接続してサウンドを出力します。
IN：マイク入力コネクタ
マイクを接続して音声を入力します。

⑤ 光学ドライブ

光学メディアの読み込みや書き込みを行います。

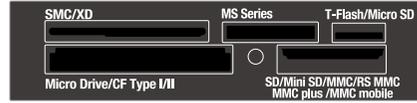
⑥ 光学ドライブイジェクトボタン

ディスクトレイを開閉します。



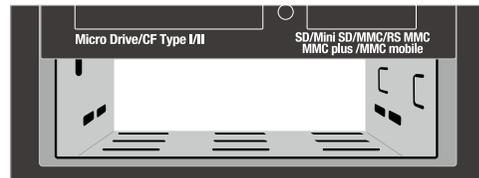
⑦ カードリーダー

デジタルカメラ等で使用する各種メモリーカードを挿入して、読み込みや書き込みを行います。



⑧ 3.5 インチベイ (オープンベイ)

3.5 インチ型のドライブや機器を取り付けます。
(例：フロッピードライブ、カードリーダー)



⑨ 電源スイッチ

電源のオン・オフを行います。

⑩ リセットスイッチ

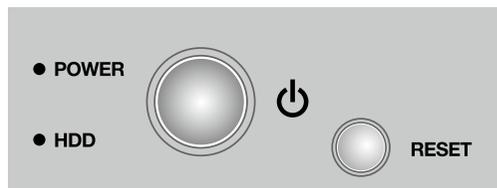
強制的に再起動されて、電源投入直後と同じ状態になります。



パソコン動作中にリセットスイッチを押した場合、ハードディスクに保存されていないデータは失われます。また、ハードディスクへのアクセス中にリセットスイッチを押すとハードディスク損傷の恐れがあるため、操作不能などの緊急時以外は極力押さないでください。

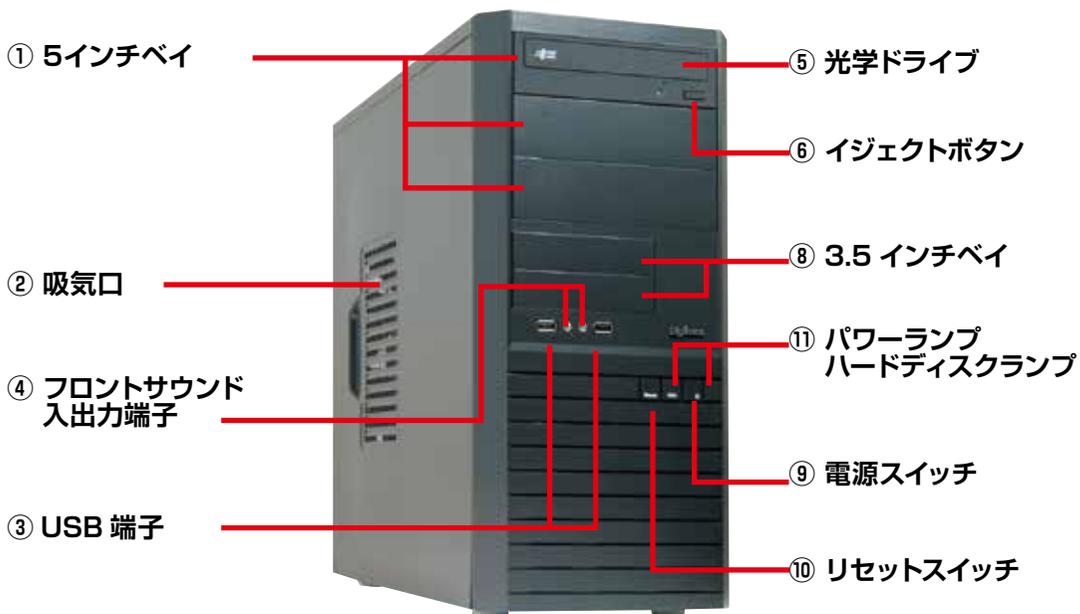
⑪ パワーランプ・ハードディスクランプ

POWER：電源がオンの状態で点灯します。
HDD：ハードディスクや光学ドライブへのアクセス時に点滅します。

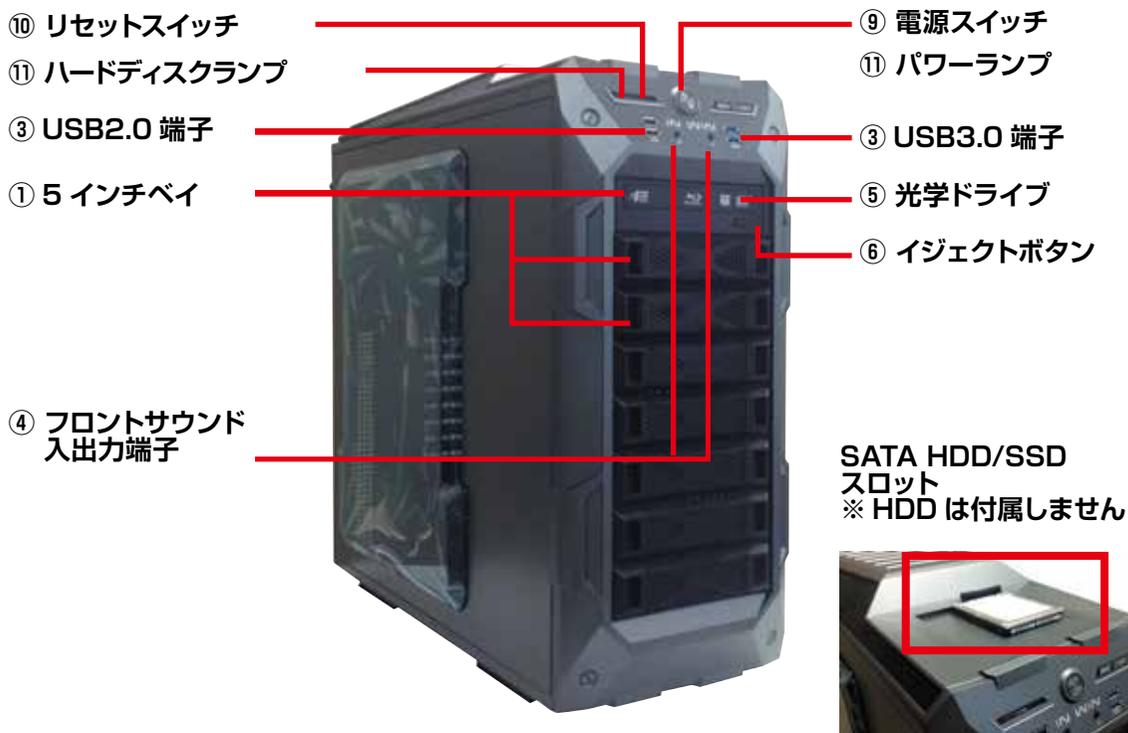


各部の名称と接続方法

EA041 ミドルタワーケース

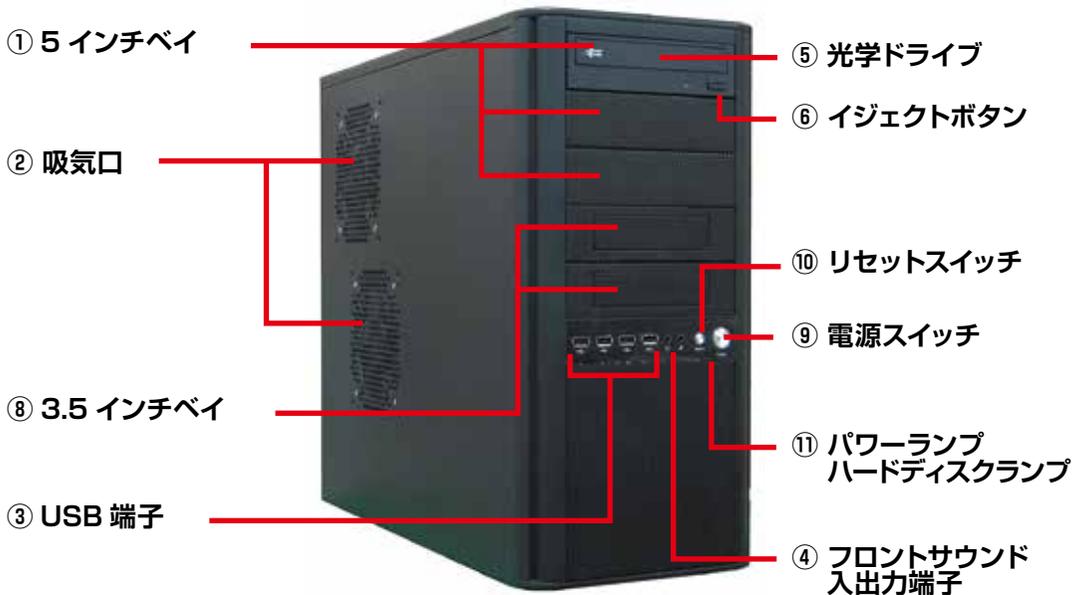


GR one フルタワーケース

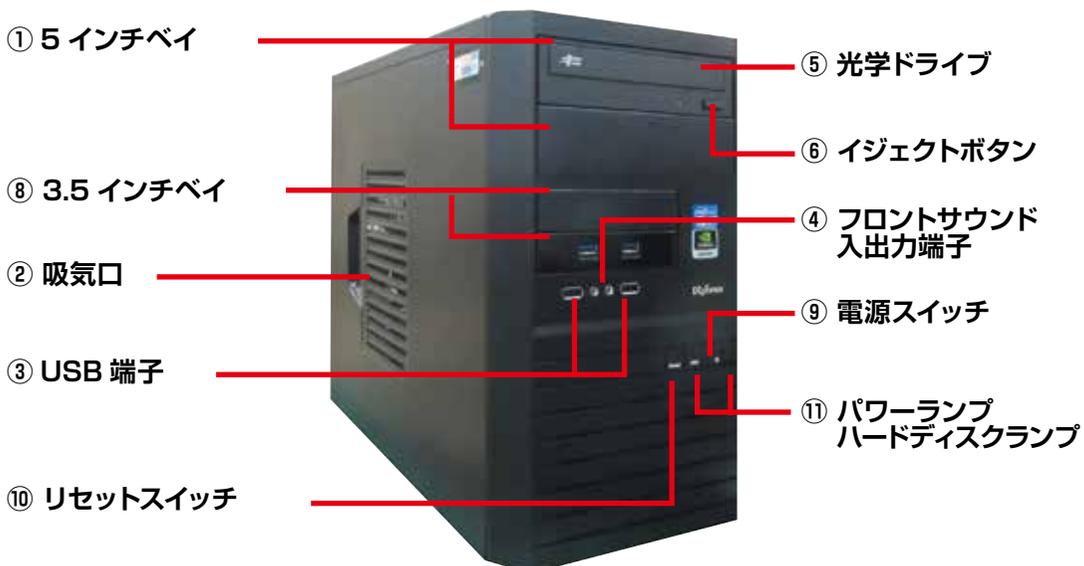


各部の名称と接続方法

SR598M フルタワーケース

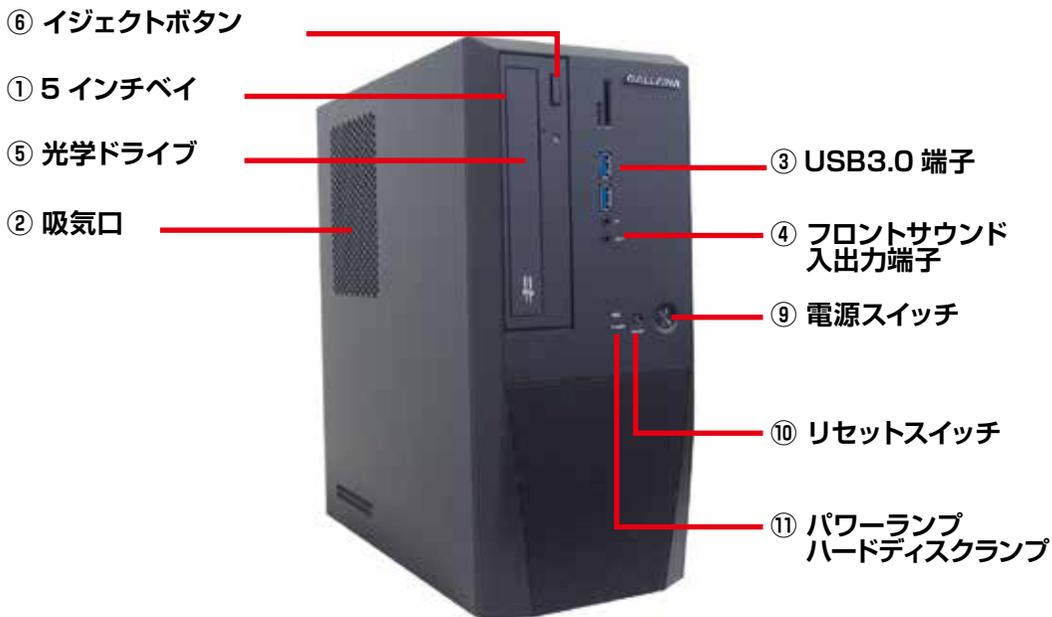


EMO41 ミニタワーケース

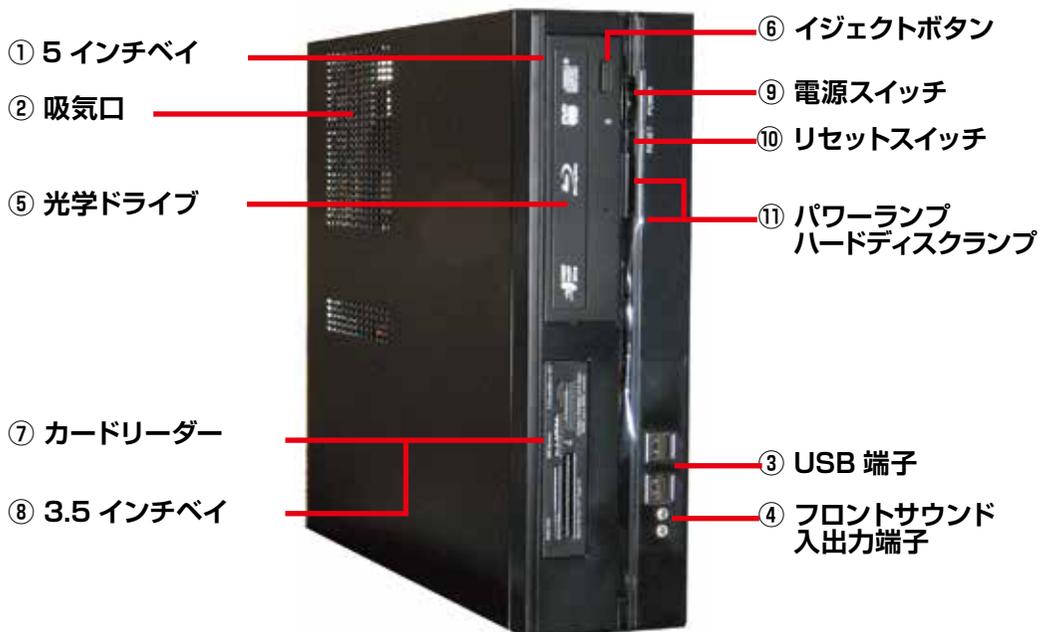


各部の名称と接続方法

KTS ケース



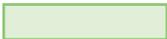
BL672 スリムケース

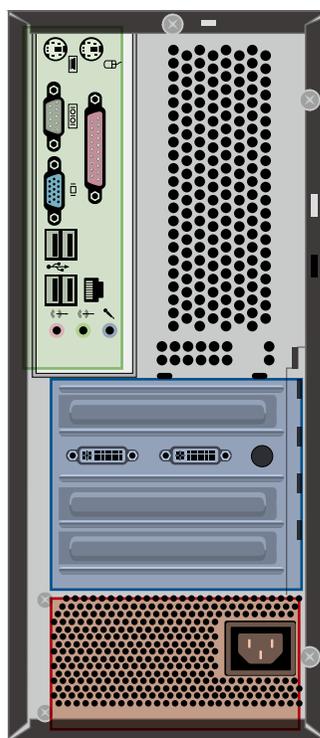
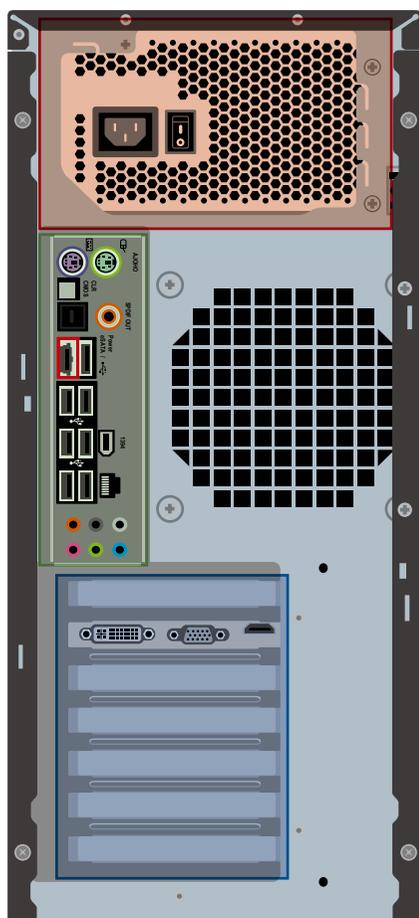


各部の名称と接続方法

パソコン背面のコネクタ等のエリア配置について

パソコンの背面にはディスプレイやキーボード・マウスなどの、周辺機器や電源ケーブルを接続します。接続する機器の特徴でエリア分けをすると、下記の3つのエリアに分けることができます。なお、パソコンによって電源エリアが上に配置されているケース（EMO41 ミニタワーケースなど）と下に配置されているケース（JD コンパクトケースなど）があります。

	電源エリア	電源ケーブルの接続、主電源スイッチ
	I/O パネルエリア	ディスプレイやキーボード・マウスなどの周辺機器
	拡張スロットエリア	ビデオカード・サウンドカード・キャプチャカードなど



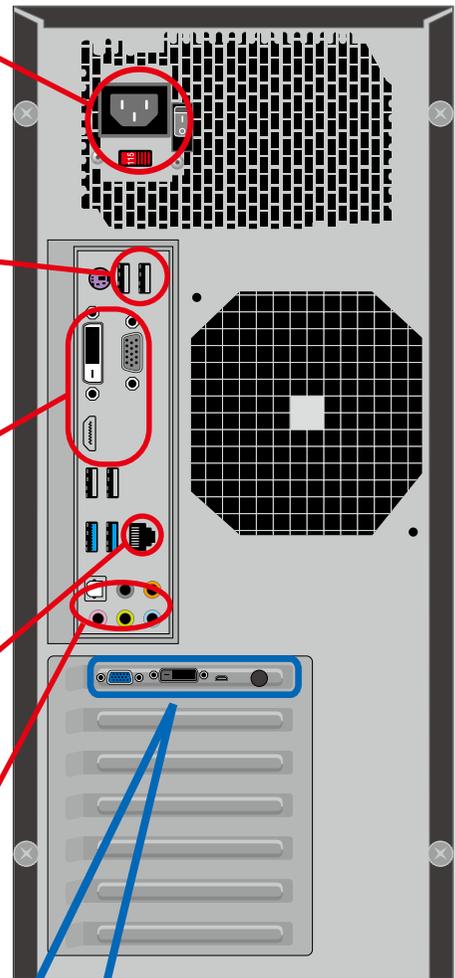
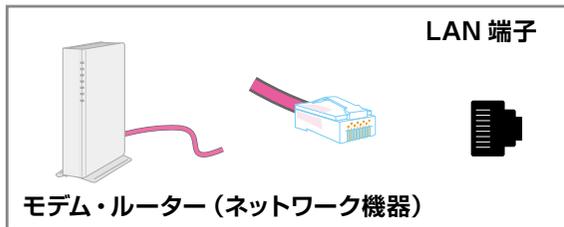
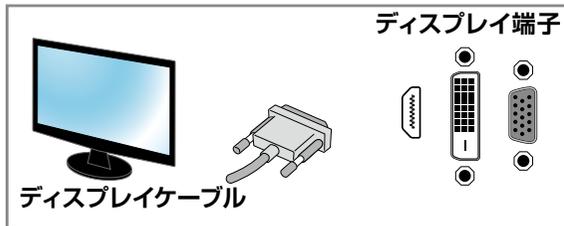
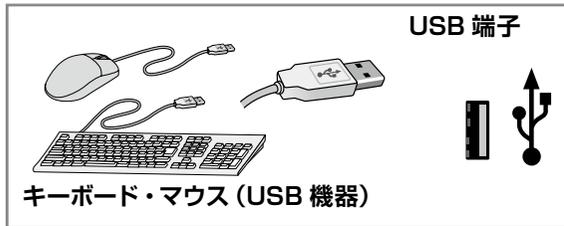
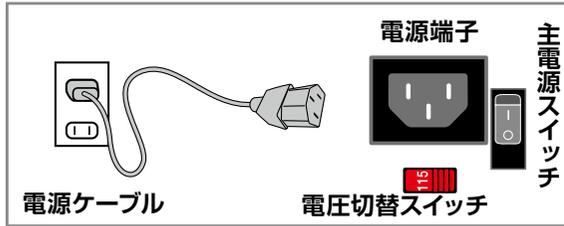
※パソコンのモデルにより、I/O パネルエリアの、ディスプレイコネクタ・USB コネクタ・LAN コネクタの配置が異なります。IEEE1394・S/PDIF・eSATA などの接続コネクタが搭載されている製品は、接続の際に付属のマザーボードのマニュアルをご確認ください。

各部の名称と接続方法

名称・接続方法（本体背面）

各コネクタと端子の接続方法を説明します。下記の順番で接続してください。

- ①ディスプレイケーブルを接続する→
- ②キーボード・マウス（機器）を接続する→
- ③ネットワーク機器（モデム・ルーター）を接続する→
- ④スピーカーを接続する→
- ⑤電源ケーブルを接続する



ビデオカードが搭載されている場合

ビデオカードが搭載されている場合には、ビデオカードのディスプレイ端子にディスプレイケーブルを接続してください。上部にあるディスプレイ端子に接続しても、画面は表示されません。

各部の名称と接続方法

ディスプレイを接続する (I/O パネルエリア・拡張スロットエリア)

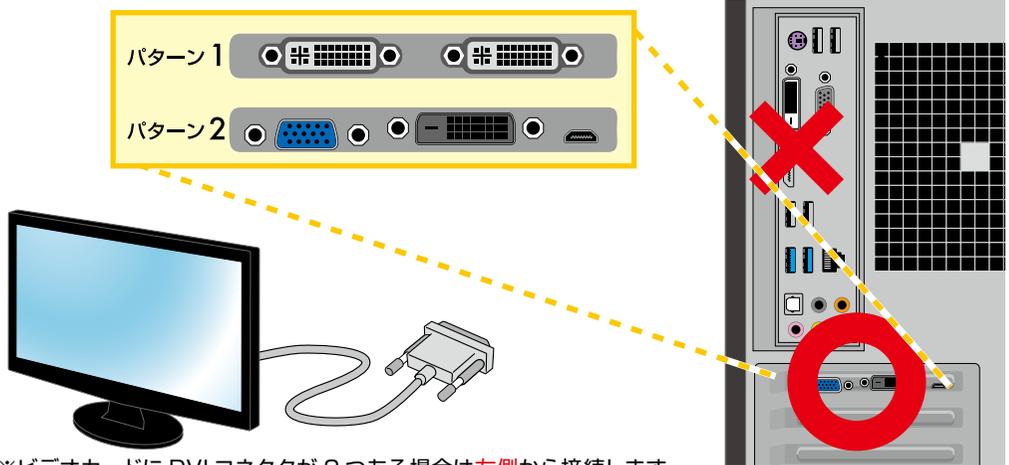
画面を表示するためにディスプレイを接続します。

※ビデオカードが搭載されている場合といない場合では、接続する場所が変わりますのでご注意ください。

※コネクタには向きがありますので、注意して取り付けてください。コネクタに付いているネジを回して固定します。

■ ビデオカードが搭載されている場合

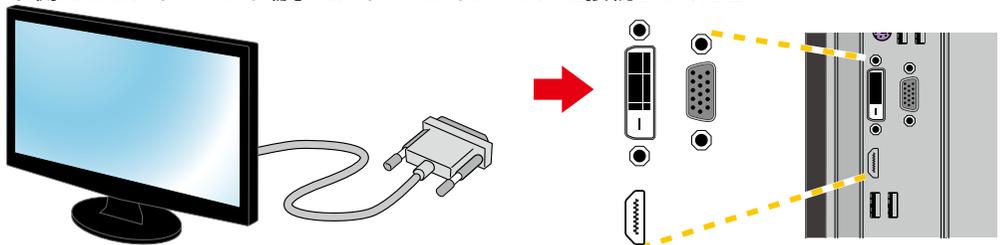
搭載されたビデオカードにディスプレイ端子があります。下図を参考にディスプレイケーブルを接続してください。マザーボード側にあるディスプレイ端子に接続した場合、画面は表示されません。



※ビデオカードに DVI コネクタが 2 つある場合は左側から接続します。

■ ビデオカードが搭載されていない場合

マザーボード側にあるディスプレイ端子にディスプレイケーブルを接続してください。



ディスプレイとパソコンのケーブル配線について

パソコンとディスプレイは一本のディスプレイケーブルで接続します。パソコンとディスプレイを接続する方法は複数ありますが同時には使用できません。パソコンとディスプレイ両方に適合する接続方式のディスプレイケーブルで接続してください。複数のディスプレイケーブルでパソコンとディスプレイを接続された場合、ディスプレイが正常に表示されませんのでご注意ください。



各部の名称と接続方法

■ ディスプレイとパソコンの接続方式

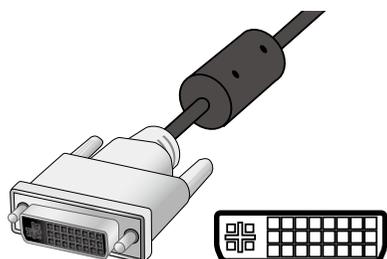
ディスプレイとパソコンの接続方式はアナログ接続の【D-Sub15 ピン】やデジタル接続の【DVI】【HDMI】等があります。接続する際はデジタル接続を優先して使用しましょう。

デジタル接続の方が最大解像度が大きく鮮明な画像で表示されます。

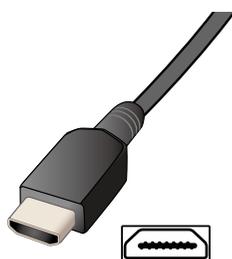
また、HDMI 接続の場合は同時に音声信号も出力され、HDMI の音声入力に対応したスピーカ搭載ディスプレイを接続すれば、ディスプレイから音声も出力されます。

※使用できる接続方式は、本体の構成によって異なります。

パソコンの主な接続方式



DVI ケーブル / DVI 端子



HDMI ケーブル / HDMI 端子

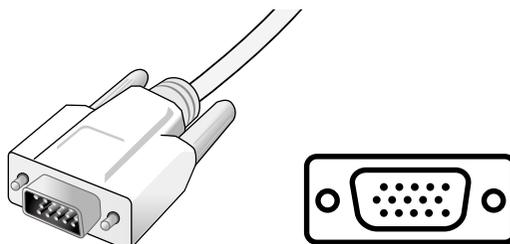


DisplayPort ケーブル / DisplayPort 端子

その他の接続方式



Mini HDMI ケーブル / Mini HDMI 端子



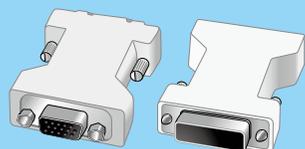
D-Sub15 ピンケーブル / D-Sub15 ピン端子

ワンポイント

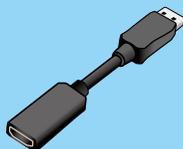
複数のディスプレイを使用する際に、接続できる端子が足りない場合があります。接続端子が足りない場合には、変換コネクタ / 変換ケーブルを使用して接続することができます。

※変換コネクタは様々な種類があり、コネクタのオスメスなどの違いもあります、必要な組み合わせをよく確認してください。

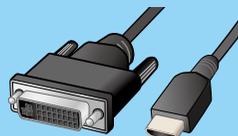
※パソコンによって接続できるディスプレイの数は決まっています、接続端子が複数台有っても同時に使用できる台数に制限のあるものがあります。接続できるディスプレイの台数を予め確認しましょう。



DVI - D-Sub15 ピン変換コネクタ



DisplayPort - HDMI 変換ケーブル



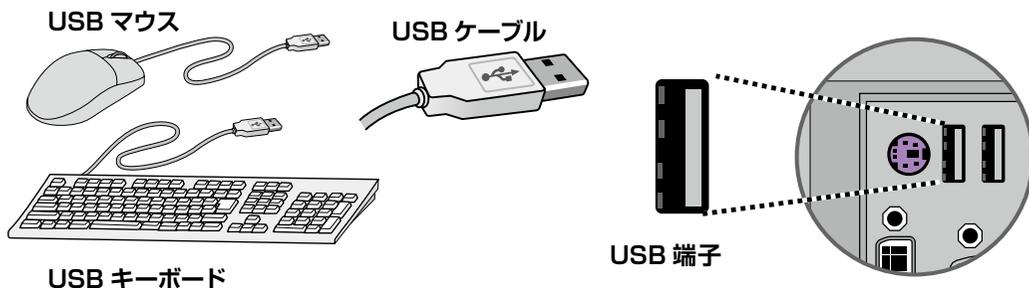
HDMI - DVI 変換ケーブル

各部の名称と接続方法

キーボード・マウス (USB 機器) を接続する (I/O パネルエリア)

パソコンを操作するためにキーボード・マウスを接続します。

■ キーボード・マウスの USB ケーブルを USB 端子へ接続します。



USB 接続する端子の注意

キーボード・マウスを USB 端子に接続する際は、USB2.0 の端子に接続を行ってください。USB3.0 の端子に接続した場合、正常に動作しないことがあります。



USB2.0 と USB3.0 の端子見分け方

端子の色を確認します、USB3.0 の端子は青色をしています。

※ USB2.0 の端子は構成により、複数の色があります。

(例：白色、黒色、赤色)



USB2.0 端子

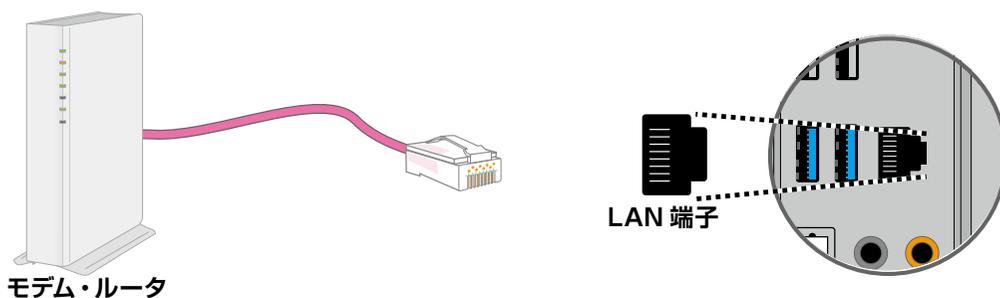


USB3.0 端子

ネットワークへ接続する (I/O パネルエリア)

インターネットに接続するためにネットワーク機器を接続します。

■ LAN ケーブルを LAN 端子に接続する。

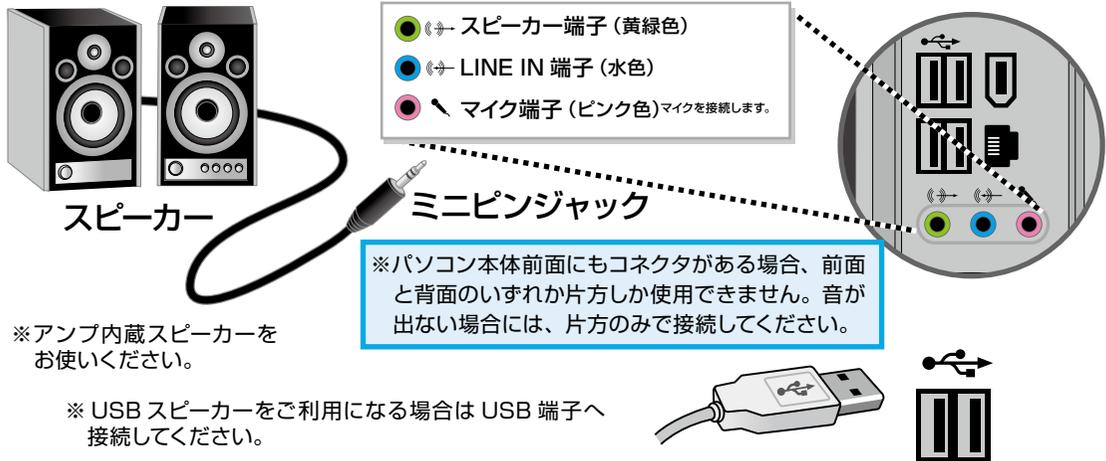


各部の名称と接続方法

スピーカーを接続する (I/O パネルエリア)

サウンド出力をするためにスピーカーを接続します。

■ スピーカーのケーブルをスピーカー端子へ接続します。



電源ケーブルを接続する (電源エリア)

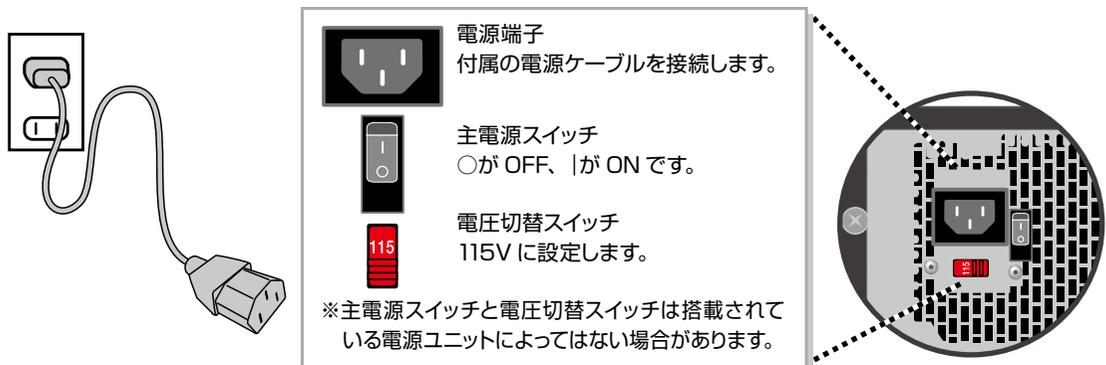
電源を供給するためにコンセントへ接続します。

■ 電源端子に電源ケーブルを接続します。

電圧切換スイッチが 115V 側になっていることを確認します。230V 側になっている場合はスライドさせ、必ず 115V 側に設定してください。

電源スイッチは、接続がすべて完了するまで OFF (「○」印がある側) にしておきます。接続がすべて完了したあとに ON (「|」印がある側) にしてください。

電源端子に電源ケーブルを接続する際、向きを合わせて取り付けてください。反対側のプラグは家庭用電源コンセントに接続します。



製品に同梱されている電源ケーブルをご利用ください。

同梱されている電源ケーブルは他の製品には使用しないでください。

タコ足配線は発熱・火災の原因となったり、電力の供給不足からパソコンの動作が不安定になる場合がありますので、家庭用電源コンセントから直接電源をお取りくださいますようお願いいたします。

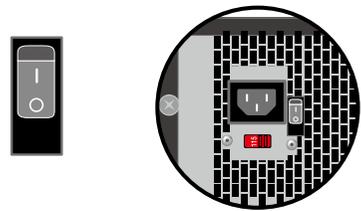
電源を入れる・電源を切る

パソコンの電源の入れ方は、次のとおりです。

- 1** ディスプレイやスピーカーなどの電源を入れます



- 2** パソコンの背面にある主電源スイッチをオン (|) にします



- 3** パソコンの電源スイッチを押して電源を入れます



- 4** 起動すると画面にマザーボードメーカーのロゴ画面か BIOS [UEFI] の起動画面が表示され、インストールされている OS が起動します



- 5** 初めてご利用する際は OS のセットアップ、または OS をインストールする必要があります

購入のモデルに合わせて、下記手順に沿って作業を行います。

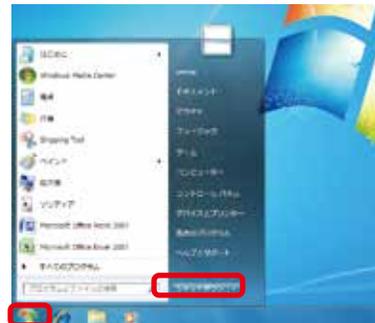
- OS 付属モデルをご購入の方
 - Windows 7 のセットアップ : 33 ページへ
 - Windows 8.1 のセットアップ : 36 ページへ
 - Windows 10 のセットアップ : 39 ページへ
- OS なしモデルをご購入の方
 - Windows 7 のインストール : 80 ページへ
 - Windows 8.1 のインストール : 88 ページへ
 - Windows 10 のインストール : 94 ページへ

電源を入れる・電源を切る

Windows 7 モデル 電源の切り方 (シャットダウン方法)

■ 通常時の電源の切り方

[スタートメニュー]をクリックして開き,[シャットダウン]をクリックして終了します。

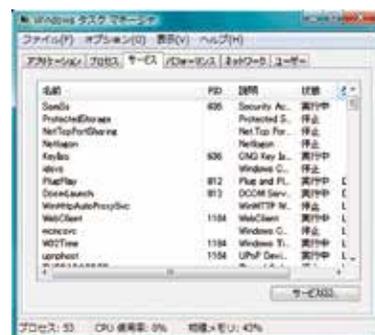


■ Windows 7 がフリーズして終了操作ができないとき

タスクマネージャーでフリーズしているソフトを強制終了します。

1 「タスクマネージャー」を表示します。

キーボードの [Ctrl] + [Shift] + [ESC] を同時に押し、[タスクマネージャー] を起動します。

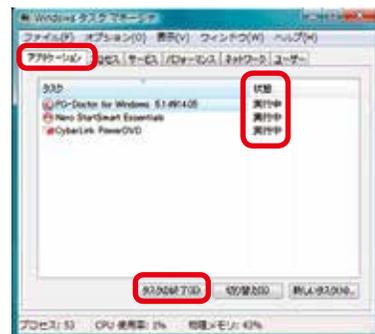


2 アプリケーションのタスク状態を確認します。

[応答なし]などの状態になっている場合は、その項目をクリックし、[タスクの終了]をクリックすると、そのプログラムを強制的に終了させることができます。

タスクマネージャーとは

現在起動されているプログラムの状態を確認したり、プログラムを強制的に終了させることができるソフトウェアです。一部ソフトのフリーズは強制終了することにより、Windows に復帰できる場合があります。



タスクマネージャーを起動できない場合は、電源が切れるまで電源スイッチを押し続けてパソコンを強制終了します。



パソコンの強制終了は、データやプログラムの破損や消失を起こす危険性があるため緊急時以外は実行しないでください。

電源を入れる・電源を切る

Windows 8.1 モデル 電源の切り方 (シャットダウン方法)

■ 通常時の電源の切り方

1 設定チャームを表示します。

①画面右上までカーソルを移動して「チャーム」を開きます。②[設定]をクリックします。



2 終了方法を選んで終了します。

「設定チャーム」の[電源]をクリックして、表示される終了方法から[シャットダウン]をクリックして終了します。



ワンポイント

[Windows キー + I キー] を同時押しすることでも「設定チャーム」を開くことができます。

■ Windows 8.1 がフリーズして終了操作ができないとき

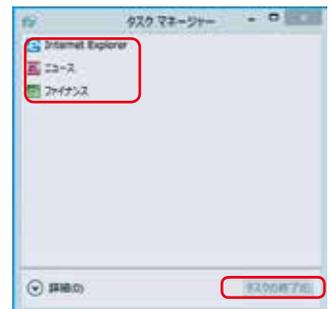
タスクマネージャーでフリーズしているアプリを強制終了します。

1 「タスクマネージャー」を表示します。

キーボードの [Ctrl] + [Shift] + [ESC] を同時に押し、[タスクマネージャー] を起動します。

2 指定のアプリのタスクを終了します。

[動作の止まってしまったアプリなどを指定して、[タスクの終了]をクリックすると、そのアプリを強制的に終了させることができます。



ワンポイント

タスクマネージャーの[詳細]をクリックすると、各アプリのCPU やメモリー等の使用率が表示されます。

タスクマネージャーを起動できない場合は、電源が切れるまで電源スイッチを押し続けてパソコンを強制終了します。

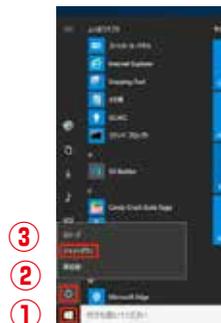
電源を入れる・電源を切る

Windows 10 モデル 電源の切り方 (シャットダウン方法)

■ 通常時の電源の切り方

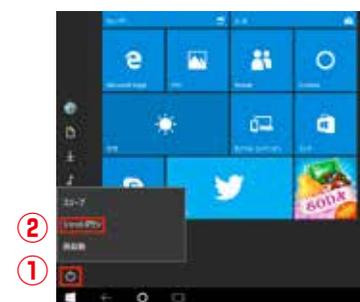
基本の操作方法

- ① [スタート] をクリックしてスタートメニューを開きます。
- ② [] をクリックして終了方法を表示します。
- ③ [シャットダウン] をクリックして終了します。



タブレットモードでの操作方法

- ① 画面面左下の [] 電源ボタンをクリックして終了方法を表示します。
- ② [シャットダウン] をクリックして終了します。



■ Windows 10 がフリーズして終了操作ができないとき

タスクマネージャーでフリーズしているアプリを強制終了します。

1 「タスクマネージャー」を表示します。

キーボードの [Ctrl] + [Shift] + [ESC] を同時に押し、[タスクマネージャー] を起動します。

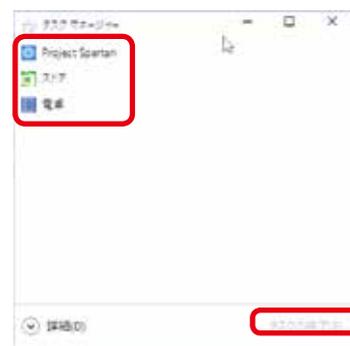
2 指定のアプリのタスクを終了します。

動作の止まってしまったアプリなどを指定して、[タスクの終了] をクリックすると、そのアプリを強制的に終了させることができます。

ワンポイント

タスクマネージャーの [詳細] をクリックすると、各アプリの CPU やメモリー等の使用率が表示されます。

タスクマネージャーを起動できない場合は、電源が切れるまで電源スイッチを押し続けてパソコンを強制終了します。



Windows 7 のセットアップ

Windows 7 のセットアップ

初めて起動した際には、ご利用環境を設定（セットアップ）する必要があります。
下記手順に沿ってセットアップし、パソコンを使用できる状態にしましょう。
セットアップには 10 分程度かかりますが、最後まで電源を切らずに設定を進めましょう。

1 「言語の設定」が表示されます

「国または地域」「時刻と通貨の形式」「キーボードレイアウト」の設定をします。通常は設定を変更する必要はありません。
設定が完了したら「次へ」をクリックします。



2 「新しいアカウントのユーザー名と、コンピューターをネットワーク上で識別するためのコンピューター名を入力してください。」が表示されます

例を参考にユーザー名とコンピューター名を入力し「次へ」をクリックします。

※ユーザー名、コンピューター名には日本語も使用できます。



3 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」が表示されます

パスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。

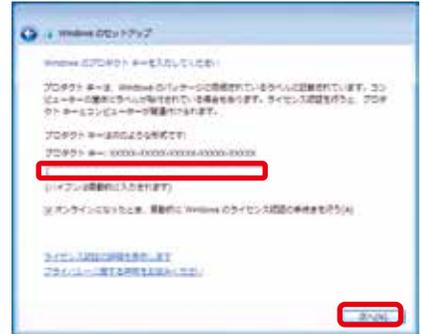
次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントを入力します。
その後「次へ」をクリックします。

※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。



Windows 7 のセットアップ

4 「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます プロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。

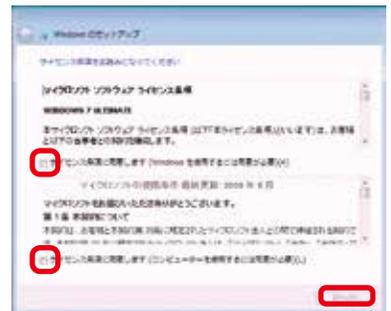


Windows 7 インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。(貼付位置は 17 ページ「ラベル貼付場所の確認」をご覧ください)

5 「ライセンス条項」が表示されます

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」「マイクロソフトの使用条件」を確認し、「ライセンス条項に同意します」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。

チェックを入れたら [次へ] をクリックします。



6 「コンピューターの保護とWindows の機能の向上が自動的に行われるように設定してください」が表示されます

「推奨設定を使用します」をクリックします。

※推奨設定以外でも先に進むことはできます。それぞれの内容は画面の [それぞれのオプションについての詳細情報を表示します] をクリックし、確認してください。



Windows 7 のセットアップ

7 「日付と時刻の設定を確認します」が表示されます

「タイムゾーン」「日付」「時刻」を確認します。設定が異なっている場合には、修正した後 [次へ] をクリックします。



8 これで Windows 7 のインストールは完了しました

「デスクトップの準備をしています」が表示されます。そのままの状態ですばらくお待ちください。Windows 7 のデスクトップ画面が表示されたらセットアップ完了です。



9 ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション)

Windows 7 インストール完了後、必ず 30 日以内にライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行ってください。詳しい認証方法は、87 ページ「ライセンス認証の方法」をご参照ください。

プロダクトアクティベーションとは？

- 「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows® 7」「Windows® 8.1」「Windows® 10」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。
- Windows 7 インストール後 30 日以内にライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行わないと Windows 7 が使えなくなります。

Windows 8.1 のセットアップ

Windows 8.1 セットアップ

初めて起動した際には、ご利用環境を設定（セットアップ）する必要があります。下記手順に沿ってセットアップし、パソコンを使用できる状態にしましょう。セットアップには 10 分程度かかりますが、最後まで電源を切らずに設定を進めてください。

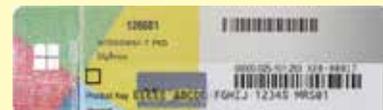
※プロダクトキーについて

弊社のパソコンではプロダクトキーはパソコン本体にデータとして記録されており、プロダクトキーの入力は求められません。

一部のモデルにつきましては、プロダクトキーをパソコン本体にて記録できないため、手動での入力が必要になります。

写真で示すプロダクトキーの入力画面が表示された場合、パソコン本体に添付されたラベルからプロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。

(詳しくは 15 ページ「プロダクトキーの確認」をご覧ください)



コインなどで、スクラッチを軽くこすってください。

1 「ライセンス条項」が表示されます

1「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」「マイクロソフトの使用条件」を確認して [同意します] をクリックします。



2 「パーソナル設定」が表示されます

Windows 8.1 スタイルのベース色の設定と、コンピューター名を入力して [次へ] をクリックします。



Windows 8.1 のセットアップ

3 「設定」が表示されます

「簡単設定を使う」をクリックします。各種設定を行いたい場合は「自分で設定する」を選択して、表示される内容に沿って設定を行ってください。

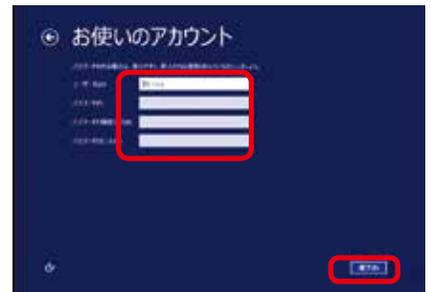


4-1 「お使いのアカウント」が表示されます

パソコンがインターネットに接続されていない場合

ユーザー名とパスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントです。その後「次へ」をクリックします。

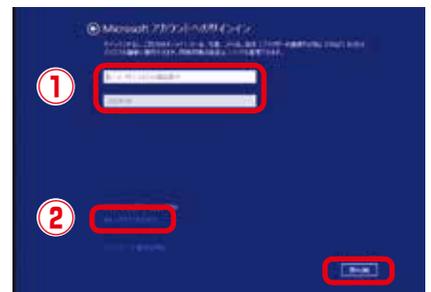
※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。



4-2 「Microsoft アカウントへのサインイン」が表示されます

パソコンがインターネットに接続されている場合

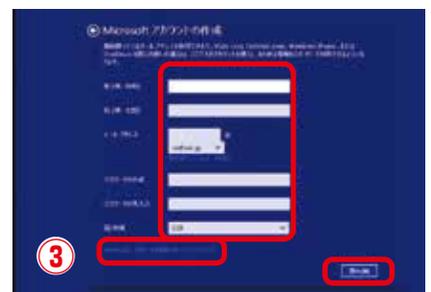
① Microsoft アカウントをお持ちの場合は、登録しているメールアドレスとパスワードを入力します。入力が終わりましたら、「次へ」をクリックします。



② Microsoft アカウントがない場合は、アカウントを作成します。「新しいアカウントを作る」をクリックします

「お名前」「メールアドレス」「パスワード」を入力します。「次へ」をクリックしてアカウント作成を進めます。

③ Microsoft アカウントを使用しない場合は、「Microsoft アカウントを使わずにサインインする。」をクリックすると、4-1「お使いのアカウント」が表示されます。



Windows 8.1 のセットアップ

5 これでWindows 8.1 のインストールは完了しました

設定作業が完了して、最終処理が完了すると Windows 8.1 が起動します。

起動時に表示される案内に沿ってマウスカーソルを画面右上の角に合わせます。

Windows 8.1 が起動すると画面右端にチャームが表示された状態で起動します。



6 ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション)

Windows 8.1 セットアップ完了後、すぐにライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行う必要があります。ライセンス認証はパソコンがインターネットに接続されると自動で行われます。

ネット環境がない場合は、手動にてライセンス認証を行う必要があります。作業方法は、93 ページ「ライセンス認証の方法」をご参照ください。

プロダクトアクティベーションとは?

「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows® 7」「Windows® 8.1」「Windows® 10」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。

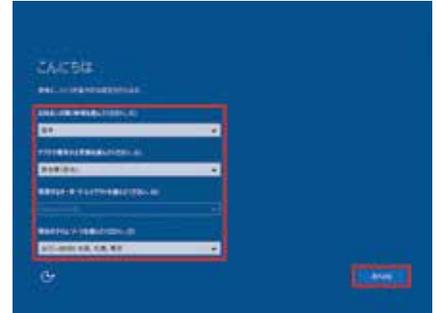
Windows 10 のセットアップ

Windows 10 セットアップ

初めて起動した際には、ご利用環境を設定（セットアップ）する必要があります。下記手順に沿ってセットアップしパソコンを使用できる状態にしましょう。セットアップには 10 分程度かかりますが、最後まで電源を切らずに設定を進めてください。

1 「こんにちは」が表示されます

「お住まいの国 / 地域」「アプリで優先する言語」「使用するキーボードレイアウト」「現在のタイムゾーン」を設定します。
通常は設定を変更する必要はありません。設定が完了したら [次へ] をクリックします。



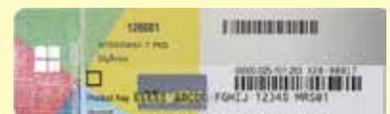
※ プロダクトキーについて

弊社のパソコンではプロダクトキーはパソコン本体にデータとして記録されており、プロダクトキーの入力は求められません。

一部のモデルにつきましては、プロダクトキーをパソコン本体にて記録できないため、手動での入力が必要になります。

写真で示すプロダクトキーの入力画面が表示された場合、パソコン本体に添付されたラベルからプロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。

(詳しくは 15 ページ「プロダクトキーの確認」をご覧ください)



コインなどで、スクラッチを軽くこすってください。

2 「ライセンス条項」が表示されます

「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項」を確認して [承諾する] をクリックします。



Windows 10 のセットアップ

3 「すぐに使い始めることができます」が表示されます

「簡単設定を使う」をクリックします。各種設定を行いたい場合は「カスタマイズ」を選択して、表示される内容に沿って設定を行ってください。



4-1 「このPC用のアカウントの作成」が表示されます

パソコンがインターネットに接続されていない場合

ユーザー名とパスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントです。その後「次へ」をクリックします。

※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。



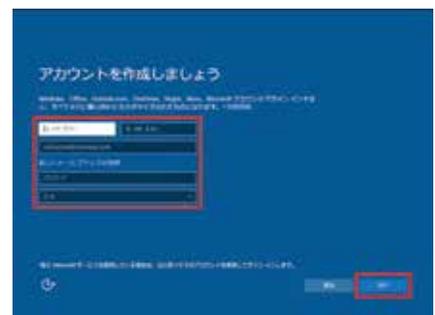
4-2 「自分用にセットアップする」が表示されます

パソコンがインターネットに接続されている場合

- ① Microsoft アカウントをお持ちの場合は、登録しているメールアドレスとパスワードを入力します。入力が終わりましたら、「サインイン」をクリックします。
- ② Microsoft アカウントがない場合は、アカウントを作成します。「作成しましょう」をクリックします。

「お名前」「メールアドレス」「パスワード」を入力します。「次へ」をクリックしてアカウント作成を進めます。

- ③ Microsoft アカウントを使用しない場合は、「この手順をスキップする」をクリックすると、5-1「このPC用のアカウント作成」が表示されます。



Windows 10 のセットアップ

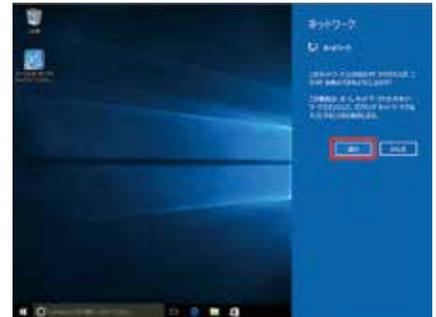
5 「はじめまして、Cortana と申します。」が表示されます

ここでは、[後で設定する] をクリックします。



6 これでWindows10 のインストールは完了しました

パソコンがインターネットに接続されている場合、ネットワーク上の他のパソコンが、このパソコンを検出できるように設定する画面が表示されます。必要に応じて設定します。ここでは、[はい] をクリックします。



設定作業が完了して、最終処理が完了すると Windows10 が起動します。



7 ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション)

Windows 10 セットアップ完了後、すぐにライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行う必要があります。

ライセンス認証はパソコンがインターネットに接続されると自動で行われます。ネット環境がない場合は、手動にてライセンス認証を行う必要があります。作業方法は、98 ページ「Windows 10 ライセンス認証の方法」をご参照ください。

プロダクトアクティベーションとは?

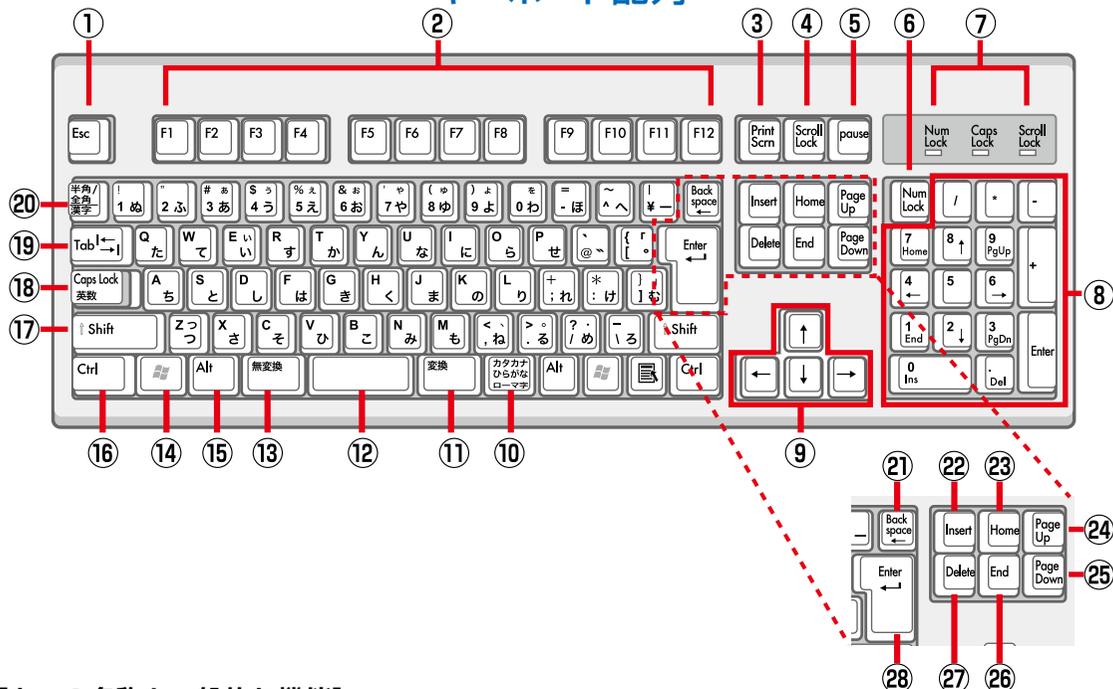
「Microsoft® Office」 「Windows® XP」 「Windows Vista®」 「Windows® 7」 「Windows® 8.1」 「Windows® 10」 などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。

キーボード・マウスの使い方

キーボードの使い方

日本語対応 109 日本語キーボードの説明をします。キーボードの接続方法は 27 ページ「キーボード・マウス (USB) を接続する (I/O パネルエリア)」をご参照ください。

キーボード配列



【キーの名称と一般的な機能】

①	ESC エスケープ	現在の作業を取り消します。
②	F1 ~ F12 エフ 1 ~ 12	特定の機能が割り当てられたキーです。 ソフトにより割り当てられる機能が異なります。
③	Print Screen プリントスクリーン	画面全体のイメージ (「スクリーンショット」) がキャプチャされ、クリップボードにコピーされます。 コピーしたイメージは、Microsoft ペイントなどの描画ツールに画像として貼り付けることができます。
④	Scroll Lock スクロールロック	④⑤キーは通常、使用しません。
⑤	Pause/Break ポーズブレイク	
⑥	Num Lock ナムロック	⑧テンキー入力の「数値入力用」と「カーソルキー用」を切り替えます。 「Num Lock」を有効にするとキーロック表示ランプの Num Lock が点灯します。 詳しくは⑧テンキー項をご参照ください。
⑦	キーロック 表示ランプ	下記キーの ON/OFF 状態を点灯 / 消灯で表示します。 Num Lock ランプ / Caps Lock ランプ / Scroll Lock ランプ
⑧	テンキー	数値入力用として 0 ~ 9 の数字、+ (加算)、- (減算)、* (乗算)、/ (除算)、小数点などが配置されています。 また、カーソルキー用として矢印キー、Home、End、Pg Up、Pg Dn キーなどが配置されています。 Num Lock キーをオンオフすることで、テンキー入力の「数値入力用」と「カーソルキー用」を切り替えます。

キーボード・マウスの使い方

⑨	↑ ↓ ← → カーソルキー	カーソルや選択項目を、矢印の方向に 1 スペース分または 1 行分移動します。あるいは、矢印の方向にウェブページをスクロールします。
⑩	カタカナ・ひらがな / ローマ字	日本語入力システムがオンのとき、Alt+「カタカナ・ひらがな / ローマ字」を押すと、ローマ字入力とかな入力が切り替わります。Shift+「カタカナ・ひらがな / ローマ字」を押すと、カタカナモードになります。解除するには、再度「カタカナ・ひらがな / ローマ字」キーを押します。
⑪	変換	日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を変換します。入力済みの文字を指定して変換します。
⑫	スペース	空白を入力します。また、日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を変換します。
⑬	無変換	日本語入力システムがオンのとき、入力した文字列を、「全角カタカナ」、「半角カタカナ」、「全角ひらがな」、に変換します。入力済みの漢字などを指定して、「全角カタカナ」、「半角カタカナ」、「全角ひらがな」に変換します。
⑭	Windows キー ウィンドウスキー	[スタート]メニューを開きます。また [Windows キー] と他のキーを同時に押すことによって、ショートカットとして操作します。
⑮	Alt オルトキー	他のキーと同時に押すことで、さまざまな機能を実行します。 参照：44 ページ Windows 共通ショートカット一覧
⑯	Ctrl コントロールキー	
⑰	Shift シフトキー	
⑱	Caps Lock キャップスロックキー	Caps Lock がオンになっているときは、アルファベットが大文字で入力されます。[Shift] と [Caps Lock] を同時に押すことで、Caps Lock をオンにします。[Caps Lock] をオンにすると、キーロック表示ランプの Caps Lock ランプが点灯します。解除するには、再度 [Shift] と [Caps Lock] を同時に押してください。
⑲	Tab タブキー	文章入力時に、カーソルを一定文字数だけ前方へ移動します。またフォームに記入する際、次のテキストボックスへ移動します。
⑳	半角 / 全角、漢字	日本語入力システムをオン・オフします。
㉑	Back Space バックスペースキー	カーソルの直前にある文字、または選択したテキストを削除します。
㉒	Insert インサートキー	挿入モードのオンとオフを切り替えます。挿入モードがオンの場合は、入力したテキストがカーソル位置に挿入されます。挿入モードがオフの場合は、入力したテキストが既存の文字列と置き換わります。解除するには、再度 [Insert] キーを押してください。
㉓	Home ホームキー	行の先頭、またはウェブページの最上部にカーソルを移動します。
㉔	Page Up ページアップキー	カーソルまたはページを 1 画面上へ移動します。
㉕	Page Down ページダウンキー	カーソルまたはページを 1 画面下へ移動します。
㉖	End エンドキー	行の末尾、またはウェブページの最下部にカーソルを移動します。
㉗	Delete デリートキー	カーソルの後にある 1 文字、または選択したテキストを削除します。
㉘	Enter エンターキー	入力内容を確定します。次の行の先頭へカーソルを移動します。ダイアログボックスで Enter キーを押すと、強調表示されたボタンを確定できます。

キーボード・マウスの使い方

Windows 共通ショートカット一覧

目的	キー操作
	「+」は同時に押します。 「⇒」は連続して押します。
[スタート]メニューの表示と非表示を切り替える	Windows キー
タスクバーの通知領域にフォーカスを設定する	Windows キー + B
デスクトップを表示する	Windows キー + D
エクスプローラを開く	Windows キー + E
ファイルまたはフォルダを検索する	Windows キー + F
ネットワークドメインに接続しているときにコンピューターをロックする。または、ネットワークドメインに接続していないときにユーザーを切り替える	Windows キー + L
すべてのウィンドウを最小化する	Windows キー + M
[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスを開く	Windows キー + R
ユーティリティ マネージャを開く	Windows キー + U
Windows ヘルプを表示する	Windows キー + F1
[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスを表示する	Windows キー + Pause/Break
最小化したウィンドウを復元する	Windows キー + Shift + M
選択した項目をコピーする	Ctrl キーを押しながら項目をドラッグ アンドドロップする
すべて選択する	Ctrl + A
コピーする	Ctrl + C
切り取り	Ctrl + X
貼り付け	Ctrl + V
元に戻す	Ctrl + Z
カーソルを前の段落の先頭に移動する	Ctrl + ↑ (上矢印)
カーソルを次の段落の先頭に移動する	Ctrl + ↓ (下矢印)
カーソルを次の単語の先頭に移動する	Ctrl + → (右矢印)
カーソルを前の単語の先頭に移動する	Ctrl + ← (左矢印)
複数の文書を同時に開くことができるプログラムで、作業中の文書を閉じる	Ctrl + F4
[スタート]メニューを表示する	Ctrl + Esc
ダイアログ内の次のタブに移動する	Ctrl + Tab
選択した項目へのショートカットを作成する	Ctrl + Shift キーを押しながら項目を ドラッグアンドドロップする
テキスト ブロックを強調表示する	Ctrl + Shift + 方向キー
ダイアログ内の前のタブに移動する	Ctrl + Shift + Tab
ウィンドウを最小化する	Alt + Space ⇒ N
ウィンドウを最大化する	Alt + Space ⇒ X
ウィンドウを元のサイズに戻す	Alt + Space ⇒ Enter
ウィンドウを切り替える	Alt + Tab
ウィンドウを閉じる	Alt + F4
ヘルプを表示する	F1
選択した項目の名前を変更する	F2
ファイルまたはフォルダを検索する	F3
コンピューターまたはエクスプローラでアドレス バーの一覧を表示する	F4
作業中のウィンドウを最新の情報に更新する	F5
ウィンドウ内またはデスクトップ上の画面要素を切り替える	F6
作業中のプログラムのメニュー バーをアクティブにする	F10

注意：一部のアプリケーションにおいて使用できない場合があります。

キーボード・マウスの使い方

Windows 8.1 追加ショートカット一覧

目的	キー操作 「+」 は同時に押します。
チャームバーと時計を表示する	Windows キー + C
[設定] チャームを開く	Windows キー + I
[デバイス] チャームを開く	Windows キー + K
[共有] チャームを開く	Windows キー + H
[設定] を選択して [検索] チャームを開く	Windows キー + W
[ファイル] を選択して [検索] チャームを開く	Windows キー + F
[アプリ] を選択して [検索] チャームを開く	Windows キー + Q
デスクトップを表示する	Windows キー + D
システムコマンドを表示する	Windows キー + X
アプリ履歴を切り替える	Windows キー + Tab
言語または入力方式を切り替える (複数の言語または入力が有効である場合)	Windows キー + スペースキー
現在のアプリのコマンドまたはオプションを開く (アプリで複数定義されている場合)	Windows キー + Z
ナレーターを開く	Windows キー + Enter
画面上の通知を切り替える	Windows キー + V
マルチディスプレイ環境で [スタート] 画面を移動させる	Windows キー + Page UP / Page Down
画面の向きのロックのオン / オフを切り替える (PC に画面方向の切り替え機能がある場合)	Windows キー + O
アプリをスナップするときに、画面上のアプリのフォーカスを切り替える	Windows キー + ' (アポストロフィ)
アプリをスナップするときに、スプリットを右に移動させる	Windows キー + . (ピリオド)
アプリをスナップするときに、スプリットを左に移動させる	Windows キー + Shift + . (ピリオド)
すべてのアプリを表示する	スタート画面で Ctrl + Tab
タイルを拡大 / 縮小	スタート画面で Ctrl + マウスのホイール
	スタート画面で Ctrl + + (プラス) / - (マイナス)

Windows 10 追加ショートカット一覧

目的	キー操作 「+」 は同時に押します。
アクション センターを開く	Windows キー + A
検索を開く	Windows キー + S
Cortana を呼び出す	Windows キー + Shift キー + C
タスク ビューを開く	Windows キー + Tab
仮想デスクトップを追加する	Windows キー + D
右側に作成した仮想デスクトップと切り替える	Windows キー + →
左側に作成した仮想デスクトップと切り替える	Windows キー + ←
使用中の仮想デスクトップを閉じる	Windows キー + F4

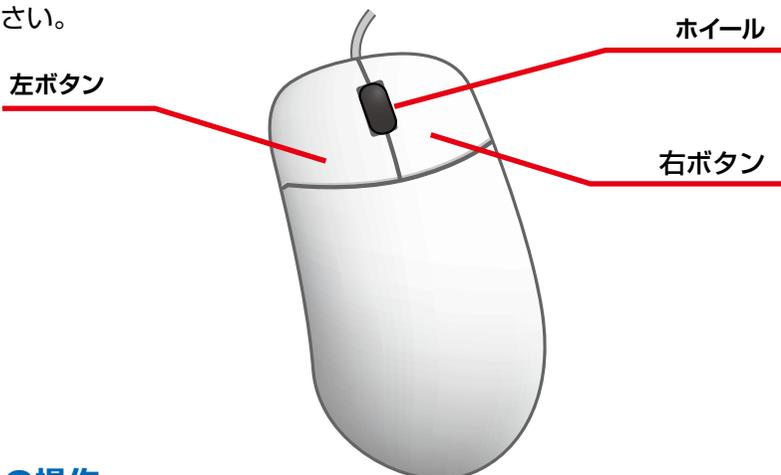
注意：一部のアプリケーションにおいて使用できない場合があります。

キーボード・マウスの使い方

マウスの使い方

ホイール付きマウスの説明をします。

マウスの接続方法は 27 ページ「キーボード・マウス (USB) を接続する (I/O パネルエリア)」をご参照ください。



■ マウスの操作

マウスを軽く握って操作すると、画面のマウスポインタが連動して動きます。



マウスポインタ

■ マウスボタン・ホイールの操作

クリック	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンを1回カチッと押すと選択されます
ダブルクリック	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、左ボタンを2回カチカチッと押すとソフトが起動したり実行されます。
右クリック	マウスポインタを画面上の対象物に合わせ、右ボタンを1回カチッと押すと関連したメニュー画面が表示されます。
ドラックアンドドロップ	マウスポインタを画面上の対象物に合わせて左ボタンをクリックし、左ボタンを押したままマウスカーソルを目的の場所まで移動して左ボタンを離します。
スクロール	ホイールを回すと選択されているウィンドウの表示が上下にスクロールします。

■ マウスの設定変更

マウスのプロパティを開きます。

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [マウス] → [マウスのプロパティ]

上のボタンタブからクリックの反応速度、ポインタオプションタブからポインタの移動速度を使いやすさに合わせて調節してください。調節が終わったら下の [OK] ボタンを押して設定します。

画面解像度の設定

接続したディスプレイや、使いやすさに合わせて画面解像度を設定しましょう。

Windows 7/8.1/10 での画面解像度設定

1 「コントロールパネル」を選択

Windows 8.1 / Windows 10 の場合

[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → デスクトップのカスタマイズ内の [画面解像度の調整] を選択し「ディスプレイ表示の変更」を表示します。

Windows 7 の場合

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → デスクトップのカスタマイズ内の [画面解像度の調整] を選択し「ディスプレイ表示の変更」を表示します。



2 ディスプレイ表示の変更

[解像度] プルダウンメニューを開き、つまみを上下に動かして変更します。変更が終わったら [OK] をクリックしてください。



3 「ディスプレイ設定」が表示されます

「このディスプレイ設定をそのままにしますか?」と質問が表示されますので、[変更を維持する] をクリックしてください。



ワンポイント

液晶ディスプレイで文字がにじむ

画面解像度を使用しているディスプレイの最大解像度に設定してください。液晶ディスプレイはそのディスプレイの最大解像度で使うことが推奨されています。

推奨以外の解像度で使うと、にじみなどの状態が見られる場合がありますので、ご注意ください。

※一部の製品は右表と異なる最大解像度の製品がございます。右表の通りに設定しても表示がにじむ場合は、製品の仕様書をご確認ください。

液晶ディスプレイ最大解像度早見表

ディスプレイサイズ	解像度
17～19 インチ	1280 × 1024(SXGA)
20～21 インチ	1600 × 1200(UXGA)
19 インチワイド	1440×900(WXGA+)
20～22 インチワイド	1680×1050(WSXGA+)
21.5～24 インチワイド	1920 × 1080(FHD)
24.1～27 インチワイド	1920 × 1200(WUXGA)

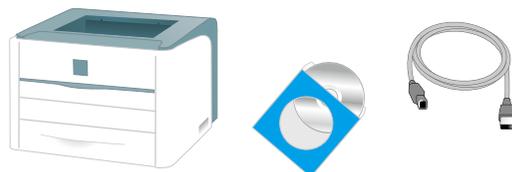
周辺機器の接続

各周辺機器の接続は、接続機器の取扱説明書を確認し作業手順に沿ってください。
取り付け作業の一例としてプリンターの接続方法を記載いたします。

 参考例であり、ご使用のプリンターにより作業内容が変化します。

1 必要なものを準備する

- プリンター
- ドライバー CD/DVD
- 接続ケーブル (USB ケーブル)

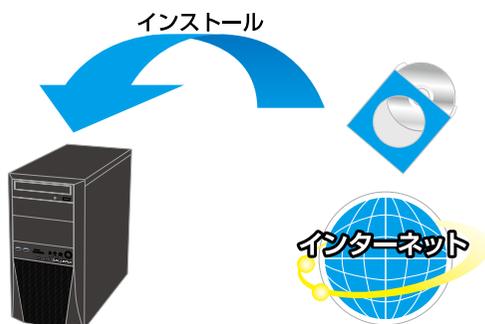


※製品に添付されているドライバー CD/DVD がご使用の OS に対応しているかご確認ください。

※ドライバー CD/DVD がない場合は、インターネットにて製造メーカーのウェブサイトからドライバーをダウンロードすることもできます。

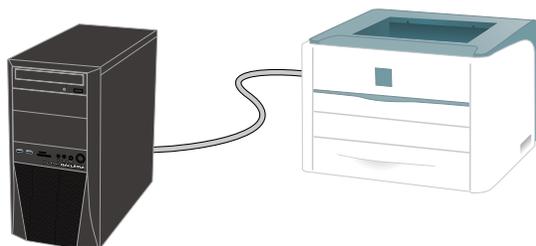
2 ドライバーのインストール

ドライバー CD/DVD をドライブに入れ、「SETUP.EXE」の実行または、自動再生から起動するメニューの操作に沿ってドライバーをインストールしてください。



3 プリンターの接続

プリンターを接続すると、デバイスが検出され接続及びドライバーが自動でインストールされます。
画面に表示があるときは、表示の手順に沿ってインストールしてください。



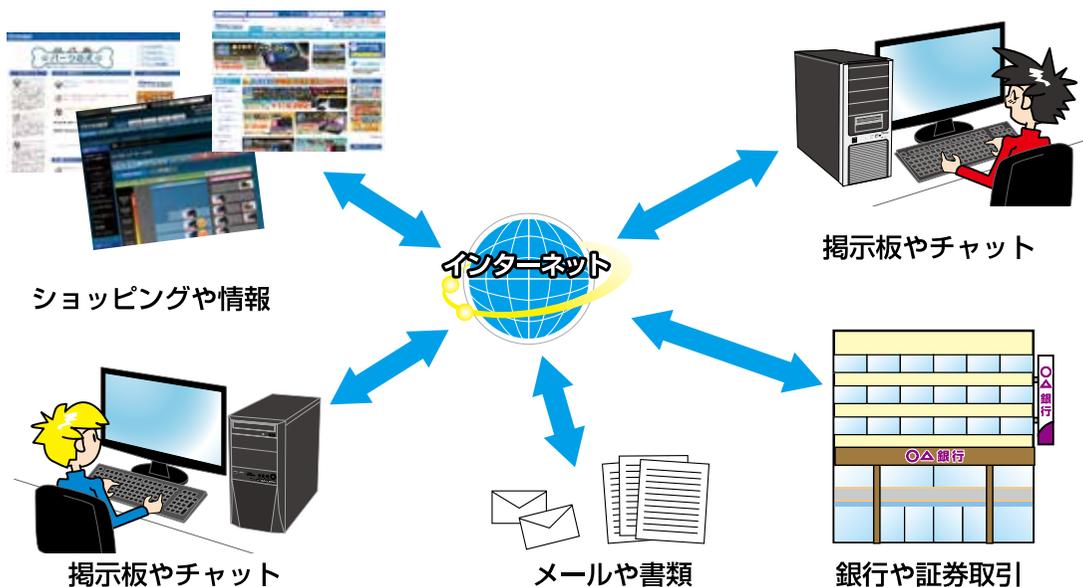
ワンポイント

周辺機器によっては、ドライバーのインストール前にパソコンへ接続すると正しく動作しないものがあります。
周辺機器を接続する際は付属されている取扱説明書をよく読み、正しい手順でドライバーをインストールします。

インターネット接続

インターネットとは

インターネットとは世界中のコンピューター同士を接続した巨大なネットワークです。インターネット上にはニュースや商品情報、サービス情報や様々な知識などの、あらゆる情報が公開されています。こうした情報はキーワードから検索することができるため、日常生活から専門分野まで幅広い知識を活用することができます。その他にメールをしたり、ショッピングをしたり、銀行振込や証券取引などを自宅に居ながら行うこともできます。また情報を見るだけでなく、掲示板やチャットでコミュニケーションをしたり、ウェブページやブログ（インターネットで公開する日記）を作成することで、自分から情報を発信することもできます。インターネットをうまく活用して、楽しいパソコンライフを送りましょう！



インターネットの種類

インターネットには様々な接続方法がありますので、ご利用環境に合わせて接続方法をご選択ください。

なお初めてインターネット接続される場合には回線工事が必要になりますが、建物によっては回線工事を行えない場合があります。事前に住宅管理会社などに確認をしましょう。

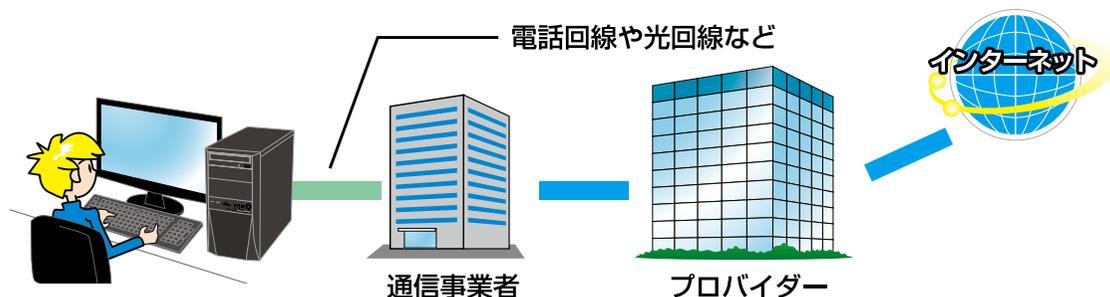
接続方法	通信速度	特徴
FTTH (光ファイバー)	速い	現状、一番安定して速いデータ通信が可能です。専用の光回線を引く必要があります。
ADSL	普通	電話回線を利用するためサービス提供エリアが広いです。中継局との距離が長いと、データ通信が遅くなります。
CATVインターネット	普通	ADSL に比べてデータ通信が安定しています。CATV (ケーブルテレビ) の専用線が必要です。

インターネット接続

プロバイダーと契約

インターネットに接続するには、プロバイダーと契約し、インターネット回線を開通させる必要があります。目的やご利用環境に合わせてプロバイダーと接続方法を選択しましょう。

接続方法や通信速度、料金等はプロバイダーによって異なります。詳しい内容は各プロバイダーに直接お問い合わせください。



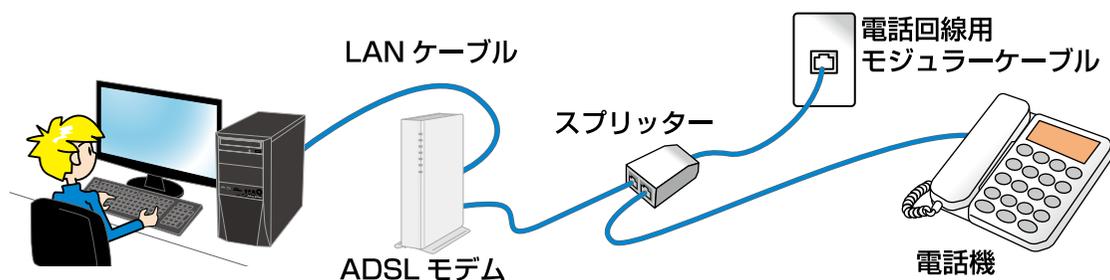
インターネットに接続する

プロバイダーと契約すると、インターネットへの接続に必要な ID やパスワード、メールアドレスなどの設定情報と、接続手順が記載された説明書がプロバイダーより提供されます。

プロバイダーの説明書を参考に接続設定をしてください。

例：ADSL 接続

(下記の接続例は一例であり、ご契約業者により接続方法が異なる場合があります)



インターネット接続

インターネットを使う上での注意

インターネットは便利な反面、コンピューターウイルスやスパイウェア、不正な接続によりパソコンが被害を受けたり、個人情報盗まれてしまう場合があります。

これらの被害に対してはセキュリティ対策を行って、自らを守る必要があります。Windows セキュリティセンターやセキュリティソフトなどを設定し、対策をしましょう。



インターネット接続

セキュリティ対策を行きましょう (アクションセンター)

Windows 7 の場合

アクションセンターから設定を変更することができます。

[スタート] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [アクションセンター] を選択して表示します。

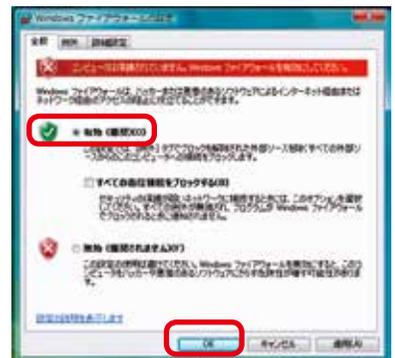
各項目がすべて有効になっていればセキュリティ対策が行われています。

有効になっていない場合は、右の写真で示される①・②・③をクリックして設定を有効にしてください。右の写真は無効状態のものです。



① ネットワークファイアウォール

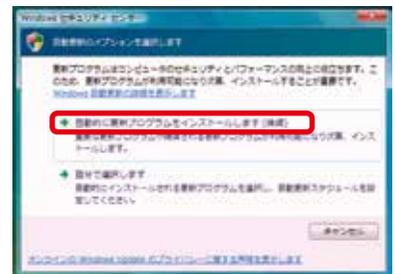
[今すぐ有効にする] をクリックすると、Windows ファイアウォールが有効になります。



② Windows Update

[今すぐ有効にする] をクリックすると「Windows Update のオプション選択をしてください」が表示されます。

[自動的に更新プログラムをインストールします] を選択して [OK] をクリックしてください。



③ ウイルス対策・マルウェア対策

Windows 7 にはコンピューターウイルスの対策ソフトは標準では用意されていません。

ウイルス感染を防ぐために、セキュリティソフトウェア (アンチウイルスソフトウェア) を導入し対策をしましょう。

セキュリティソフトウェアは無料のものと同販売されているものがあり、ソフトウェアによって機能が異なります。各種ソフトウェアを比較して、お客様のご利用形態に合ったものを導入して対策しましょう。

ワンポイント

Microsoft でも、無料ウイルス対策ソフト「Microsoft Security Essentials」が提供されています。下記のウェブサイトをご覧ください。

<https://support.microsoft.com/en-us/help/14210>

インターネット接続

■ Windows 8.1 の場合

アクションセンターから設定を変更することができます。

[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [アクションセンター] を選択して表示します。

各項目がすべて有効になっていればセキュリティ対策が行われています。

有効になっていない場合は、右の写真で示される①・②・③・④をクリックして設定し有効にしてください。右の写真は無効状態のものです。



① ネットワークファイアウォール

[今すぐ有効にする] をクリックすると、Windows ファイアウォールが有効になります。

② スパイウェアと不要なソフトウェアの対策、ウイルス対策

[今すぐ有効にする] をクリックすると、「Windows Defender」が表示され、[リアルタイム保護を有効にする] が設定されます。



③ Windows Update

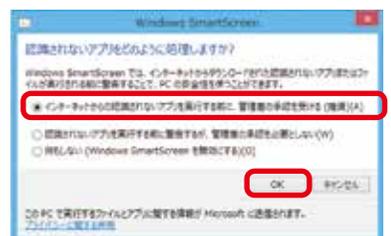
[今すぐ有効にする] をクリックすると、「Windows Update のオプション選択をしてください」が表示されます。[自動的に更新プログラムをインストールします] を選択してください。



④ Windows SmartScreen の有効化

[今すぐ有効にする] をクリックすると、「Windows SmartScreen の設定」画面が表示されます。

[インターネットからの認識されないアプリを実行する前に、管理者の承認を受ける] を選択して [OK] をクリックしてください。



インターネット接続

■ Windows 10 の場合

セキュリティとメンテナンスから設定を変更することができます。

[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [セキュリティとメンテナンス] を選択します。

表示された各項目がすべて有効になっていれば、セキュリティ対策が行われています。

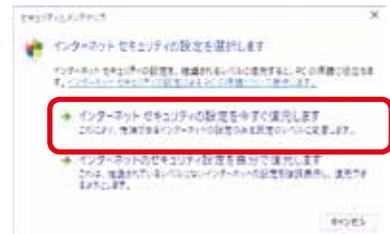
有効になっていない場合は、右の写真で示される①・②・③・④・⑤をクリックし設定し有効にしてください。右の写真は無効状態のもの



① インターネットセキュリティ設定

[設定の復元] をクリックすると、「インターネットセキュリティの設定を選択します」が表示されます。

「インターネットセキュリティの設定を今すぐ復元します」をクリックすることで、推奨のセキュリティ設定に復元することができます。



② スパイウェアと不要なソフトウェアの対策

[今すぐ有効にする] をクリックすると、Windows Defender の保護が有効になります。

③ ウイルス対策

[今すぐ有効にする] をクリックすると、Windows Defender の保護が有効になります。

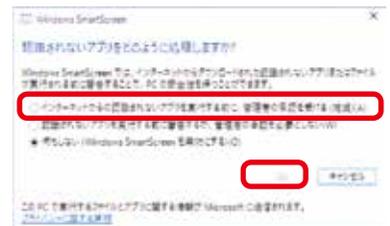
④ ネットワークファイアウォール

[今すぐ有効にする] をクリックすると、Windows ファイアウォールが有効になります。

⑤ Windows SmartScreen の有効化

[設定の変更] をクリックすると、「Windows SmartScreen」が表示されます。

「インターネットからの認識されないアプリを実行する前に、管理者の承認を受ける」を選択して「OK」をクリックします。



光学ドライブへの書き込み方法

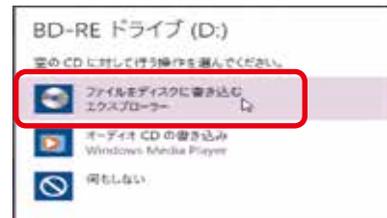
パソコンのデータ保存や音楽・映像メディアを作成することができます。

データの書き込みについて

この項目では、Windows 標準機能でのデータ書き込み方法を説明します。

1 書き込み作業の開始

- 空の CD-R/DVD-R のメディアをドライブに入れます。
- 「ディスクユーティリティ」が表示されます。
[データディスク (メディアと書類ボタン)] をクリックします。
下に表示された [CD] をクリックします。



2 ディスクの使用方法を選択します。

- 「USB フラッシュドライブと同じ用に使用する」
ライブファイルシステム形式で書込まれます。
データを気軽に追加したり削除したりできますが Windows
以外の機器で読み込めません。
- 「CD/DVD プレイヤーで使用する」
マスタ形式で書込まれます。互換性が高く Windows 以
外のプレイヤーなどでも読み込めます。



3 保存するファイルを選択します。

ドライブツールに保存したいファイルをドラッグアンドドロップして選択します。



4 書き込みを開始します。

- 「共有」タブをクリックして、「ディスクに書き込む」をクリックします。
- ディスクのタイトルや書き込み速度を決め「次へ」をクリックします。
- ディスクに書き込みが終わったら「完了」をクリックします。



購入時の構成により、ライティングソフトが添付されている場合があります。その際の詳しい操作方法は、ライティングソフトに付随するヘルプをご覧ください。

バックアップ方法

万一の故障に備えて、日頃からデータ（お客様が作られた画像やファイルなど）をバックアップ（保存）しましょう。ハードウェア的な故障に限らず、Windows が起動しない等のソフトウェア的なトラブルでも、データ消失の可能性があります。

Windows 7 でのバックアップ方法 (Windows Complete PCバックアップ)

Windows Complete PCバックアップは、OSドライブ全体や任意のドライブをバックアップすることができます。

1 「バックアップと復元」を起動します

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [バックアップの作成] をクリックします。



2 「バックアップと復元」が表示されます

「バックアップと復元」の左上にある [システムイメージの作成] をクリックします。



3 「バックアップをどこに保存しますか？」が表示されます

バックアップしたデータの保存場所を選択します。

バックアップしたデータを C ドライブと同じハードディスクに保存した場合、ハードディスクの不具合発生時に復元できない場合があります。

バックアップしたデータは、他のハードディスクやメディアに保存してください。



バックアップ方法

4 「バックアップの設定を確認します」が表示されます

設定を確認し問題がなければ [バックアップの開始] をクリックします。

ワンポイント

バックアップするドライブに「システムで予約済み (システム)」が表示されます。このドライブは Windows 7 のシステム用のドライブで、コンピューターでは確認できないドライブです。



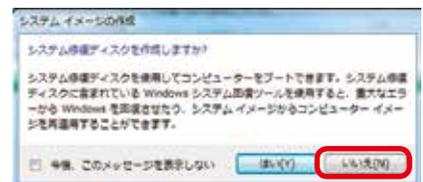
「バックアップを保存しています…」が表示されバックアップが開始されます。



5 「システム修復ディスクを作成しますか？」が表示されます

[はい] をクリックします。

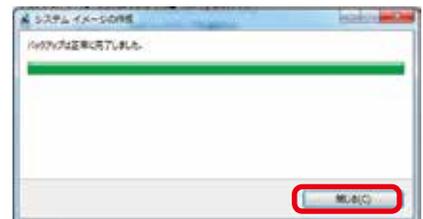
「バックアップをどこに保存しますか？」でバックアップデータを「ネットワークの場所上」に指定した場合は [はい] をクリックして修復ディスクを作成してください。



6 「バックアップは正常に完了しました。」が表示されます

[閉じる] をクリックします。
これでシステムのバックアップは完了です。

バックアップメディアやストレージを大切に保管してください。



バックアップ方法

Windows 7 での復元方法 (Windows Complete PCバックアップ)

1 「システムの回復オプション」を起動します

「システムの回復オプション」を起動するには 3 つの方法があります。状況にあった方法を選択してください。

詳細ブートオプションから起動

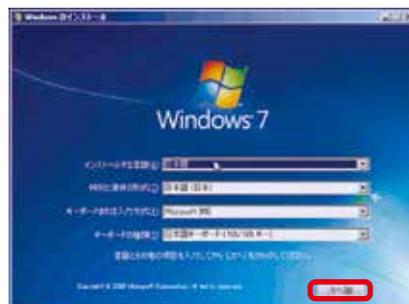
電源を入れた際に [F8 キー] をトントントンと断続的に押してください。

BIOS[UEFI] 画面のあとに「詳細ブート オプション」が表示されます。[コンピューターの修復] を選択してください。

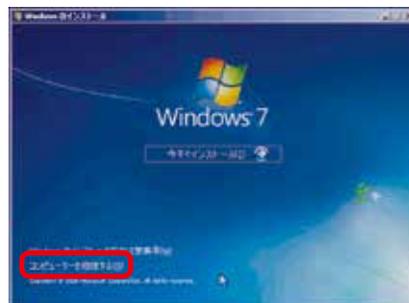


Windows 7 インストールディスクから起動

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して、[次へ]をクリックしてください。



[コンピューターを修復する] をクリックします。



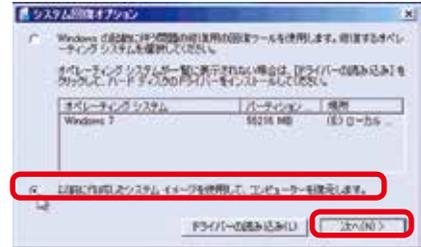
システム修復ディスクから起動

- システム修復ディスクを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動します。
- パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。
- 数秒で「Boot from CD」の 1 行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」(CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください) と表示されますので、Enter キーを押します。



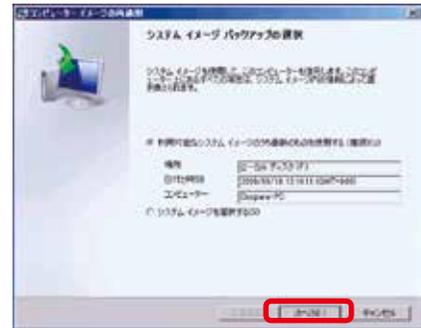
バックアップ方法

- 2 「システムの回復オプション」が表示されます
「以前に作成したシステムイメージを使用して、コンピューターを復元します。」を選択して[次へ]をクリックします。



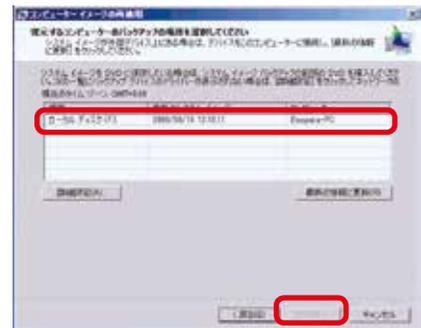
- 3 「システムイメージバックアップの選択」が表示されます
選択されているバックアップデータに問題がなければ[次へ]をクリックします。

変更したい場合は「システムイメージを選択する」を選択してください。



- 4 「復元するコンピューターのバックアップの場所を選択してください」が表示されます
復元するバックアップデータを選択して[次へ]をクリックします。

- ・バックアップデータがメディアや外部ストレージにある場合は接続して「最新の情報に更新」をクリックします。
- ・バックアップデータが「ネットワークの場所上」にある場合は「詳細設定」をクリックして、データの場所を指定してください。



- 5 「復元するシステムイメージの日数を選択してください」が表示されます
最新の日時を選択して[次へ]をクリックします。

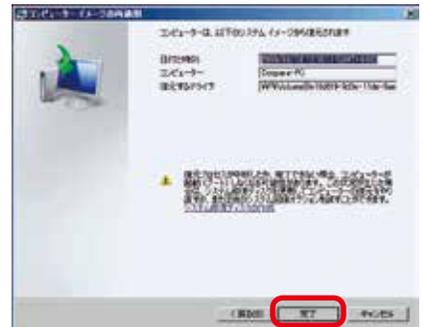


バックアップ方法

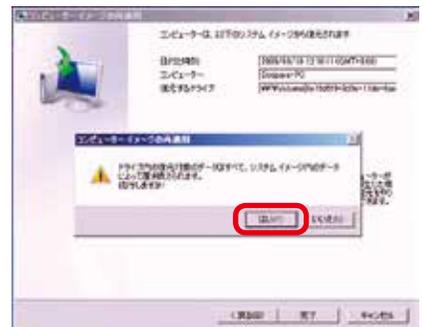
6 「他の復元方法を選択してください」が表示されます
[次へ] をクリックします。



7 「コンピューターは、以下のシステムイメージから復元されます」が表示されます
選択したバックアップデータに問題がなければ [完了] をクリックします。



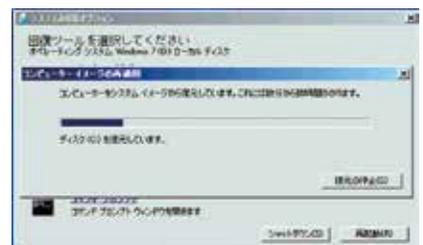
警告メッセージが表示されますので [はい] をクリックします。



8 「コンピューターをシステムイメージから復元しています。これには数分から数時間かかります。」が表示されます

復元が開始されました。復元が完了しましたらパソコンが再起動します。

再起動後、バックアップ対象が復元されていれば完了です。



バックアップ方法

Windows 8.1 でのバックアップ方法 (システムイメージバックアップ)

システムイメージバックアップは、システムドライブ全体や任意のドライブやメディアにバックアップすることができます。

1 「システムイメージバックアップ」を起動します

[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → [ファイルの履歴でファイルのバックアップコピーを保存] → [システムイメージバックアップ] をクリックします。



2 「バックアップをどこに保存しますか?」が表示されます

バックアップしたデータの保存場所を選択して、[次へ] をクリックします。

バックアップを保存する場所は、Cドライブ (システムドライブ) 以外を指定する必要があります。ドライブが用意できない場合でも DVD のライティングメディアなどで分割して保存をすることもできます。



3 「バックアップの設定を確認します」が表示されます

設定を確認し問題がなければ [バックアップの開始] をクリックします。

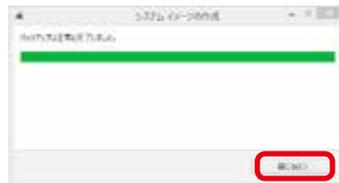
バックアップするドライブに「システムで予約済み (システム)」が表示されます。このドライブは Windows 8.1 のシステム用のドライブで、コンピューターでは確認できないドライブです。



バックアップ方法

4 「バックアップは正常に完了しました。」が表示されます

[閉じる] をクリックします。
これでシステムのバックアップは完了です。
バックアップメディアやストレージを大切に保管してください。



回復ドライブの作成方法

Windows 8.1に不具合が発生して「システムの回復オプション」が起動できない場合に備え、回復ドライブディスクを準備します。

回復ドライブの作成には、USBフラッシュメモリー（容量8G以上）が必要です。

ワンポイント

OS インストールメディアが付属するモデルをご購入いただいている場合、OS のインストールメディアから「システムの回復オプション」を起動することができます。

1 「高度な回復ツール」を起動します

[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → [ファイルの履歴でファイルのバックアップコピーを保存] → [回復] をクリックします。



2 「回復ドライブ」を作成します

USB フラッシュメモリーをスロットに接続し「回復ドライブの作成」を選択して、作成を開始します。作成開始後はメニューに沿って作業を行うことで、回復ドライブの作成は完了します。



作成した回復ディスクはなくさないように、ご注意ください。
また、回復ディスクは複数作成することができます。



バックアップ方法

Windows 8.1 での復元方法 (システムイメージバックアップ)

1 「システムの回復オプション」を起動します

「システムの回復オプション」を起動するには何種類かの方法があります。状況にあった方法を選択してください。

■ 回復ディスクからの起動

1. 回復ディスク (USB フラッシュメモリー) をスロットに接続して電源を入れ、回復ディスクからパソコンを起動します。
2. 回復ディスクから起動できない場合、BootConfiguration や BootMenu から、回復ディスク (USB フラッシュメモリー) から起動する設定を行います。
3. 回復ディスクから起動が始まると「キーボードレイアウトの選択」が表示されますので、[日本語] を選択します。



■ Windows 8.1 上からの起動

1. 「チャーム」を表示して [設定] をクリックします。
2. 表示された「設定」の項目から [PC 設定の変更] をクリックします。
3. 表示された「PC 設定」の項目から [保守と管理] をクリックします。
4. 表示された「保守と管理」の項目から [回復] を選択して、[今すぐ再起動する] をクリックします。



バックアップ方法

2 「コンピュータイメージの再適用」を起動します

[トラブルシューティング] → [詳細オプション] → [イメージでシステムを回復] → [Windows 8.1] をクリックします。



3 「コンピュータイメージの再適用」が表示されます

選択されているバックアップデータに問題がなければ [次へ] をクリックします。

変更したい場合は [システムイメージを選択する] を選択してください。



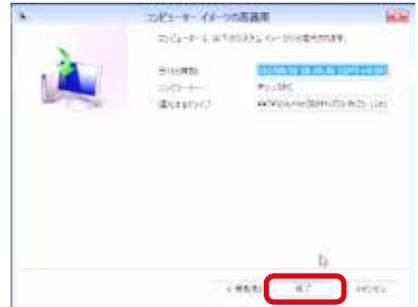
バックアップ方法

4 「他の復元方法を選択してください」が表示されます
[次へ] をクリックします。

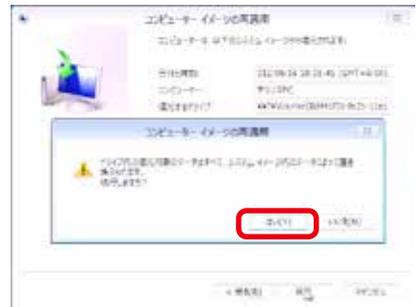


5 「コンピューターは、以下のシステムイメージから復元されます」が表示されます

選択したバックアップデータに問題がなければ [完了] をクリックします。



警告メッセージが表示されますので [はい] をクリックします。



6 「コンピューターをシステムイメージから復元しています。これには数分から数時間かかります。」が表示されます

復元が開始されました。復元が完了したらパソコンが再起動します。

再起動後、バックアップ対象が復元されていれば完了です。



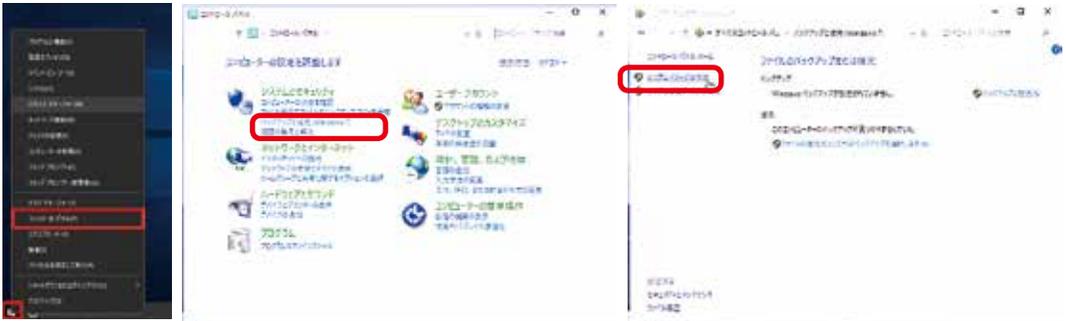
バックアップ方法

Windows 10 でのバックアップ方法 (システムイメージバックアップ)

システムイメージバックアップは、システムドライブ全体や任意のドライブやメディアにバックアップすることができます。

1 「システムイメージバックアップ」を起動します

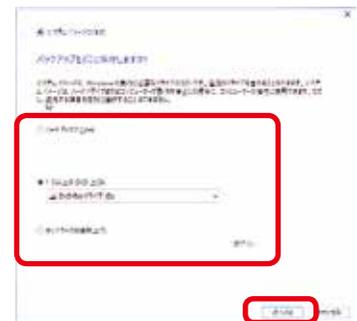
[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → [バックアップと復元 (Windows 7)] → [システムイメージの作成] をクリックします。



2 「バックアップをどこに保存しますか？」が表示されます

バックアップしたデータの保存場所を選択して、[次へ] をクリックします。

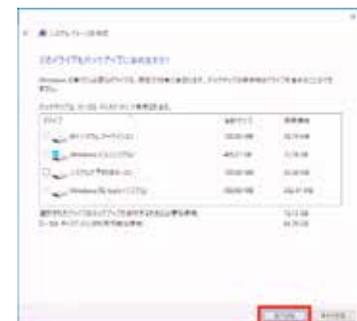
バックアップを保存する場所は、Cドライブ(システムドライブ)以外を指定する必要があります。ドライブが用意できない場合でもDVD等のライティングメディアなどで分割して保存をすることもできます。



3 「どのドライブをバックアップに含めますか？」が表示されます

一覧を確認し、[次へ] をクリックします。

バックアップするドライブに「EFI システムパーティション」が表示されます。このドライブは Windows 10 のシステム用のドライブで、コンピューターでは表示されないドライブです。



バックアップ方法

4 「バックアップの設定を確認します」が表示されます

設定を確認し問題がなければ [バックアップの開始] をクリックします。



5 「システム修復ディスクを作成しますか?」が表示されます

[はい] をクリックします。

※ Windows のインストールメディアを持っている場合や、以前作成している場合は必要ありません。

システム修復ディスクを作成しておく、Windows が起動できなくなった場合も、システム修復ディスクから起動してバックアップから、復元することが出来ます。



6 「システム修復ディスクの作成」が表示されます

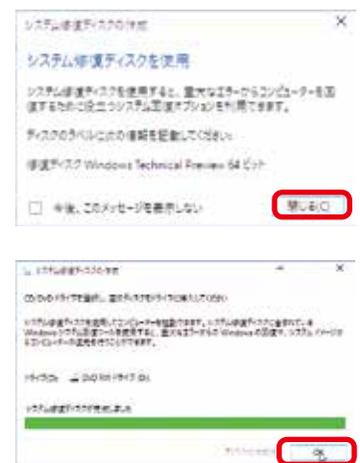
空の CD/DVD - R メディアを光学ドライブに挿入して [ディスクの作成] をクリックします。



7 システム修復ディスクの作成が完了します

システム修復ディスクの作成が完了すると「システム修復ディスクを使用」が表示されますので [閉じる] をクリックします。

次に [OK] をクリックしてシステム修復ディスクの作成を完了します。



バックアップ方法

- 8 「バックアップは正常に完了しました。」が表示されます
[閉じる] をクリックして、システムイメージ作成を完了します。



バックアップ方法

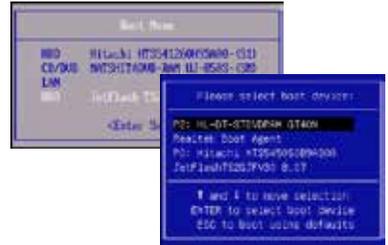
Windows 10 での復元方法 (システムイメージバックアップ)

1 「システムの回復オプション」を起動します

「システムの回復オプション」を起動するには何種類かの方法があります。状況にあった方法を選択してください。

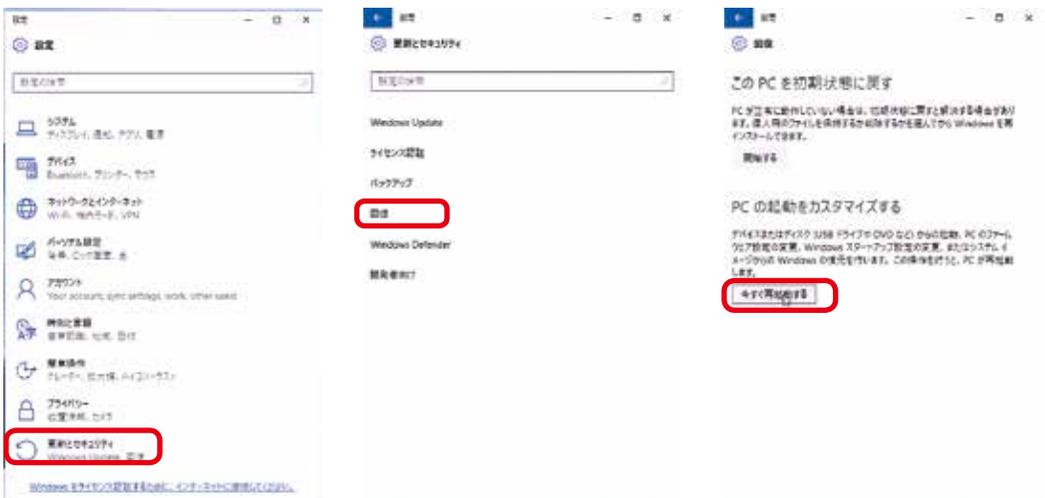
■ システム修復ディスクからの起動

1. システム修復ディスクを光学ドライブに挿入して電源を入れ、システム修復ディスクからパソコンを起動します。
2. システム修復ディスクから起動できない場合、BootConfiguration や BootMenu から、システム修復ディスク (光学ドライブ) から起動する設定を行います。
3. 回復ディスクから起動が始まりますと「キーボードレイアウトの選択」が表示されますので、[Microsoft IME] を選択します。



■ Windows 10 上からの起動

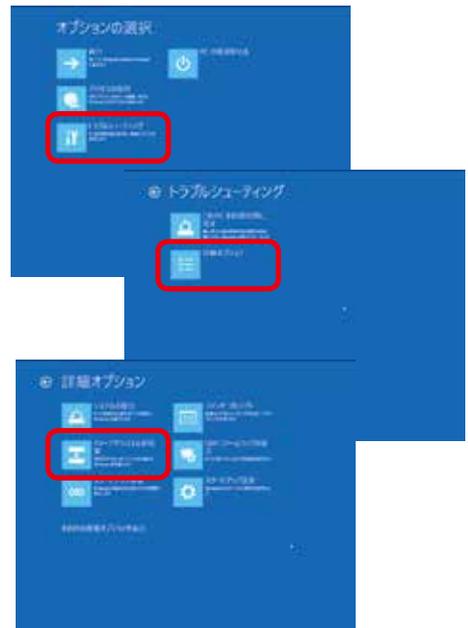
1. [Windows キー + I キー] を押して「設定」を開きます。
2. 設定の [更新とセキュリティ] をクリックします。
3. 更新とセキュリティの [回復] をクリックします。
4. 回復とセキュリティの [今すぐ再起動する] をクリックします。



バックアップ方法

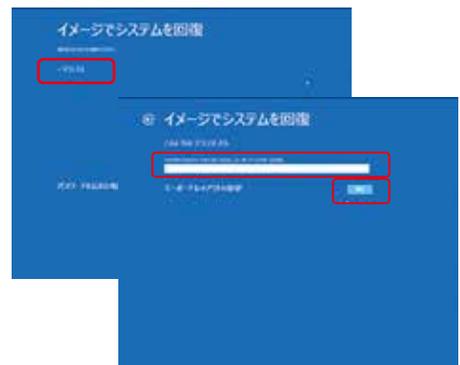
2 「コンピューターイメージの再適用」を起動します

[トラブルシューティング] → [詳細オプション] → [イメージでシステムを回復] → [※ご使用のアカウント] → [※アカウントのパスワード] をクリックします。



3 Windows のアカウントを選び、パスワードを入力します

管理者権限のあるアカウントをクリックします。次にパスワードを入力して「次へ」をクリックします。



4 「システム イメージ バックアップの選択」が表示されます

選択されているバックアップデータに問題がなければ「次へ」をクリックします。

変更したい場合は「システムイメージを選択する」を選択してください。



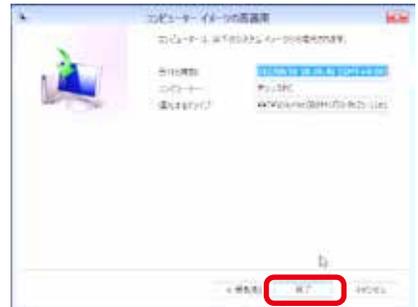
バックアップ方法

5 「他の復元方法を選択してください」が表示されます
[次へ] をクリックします。

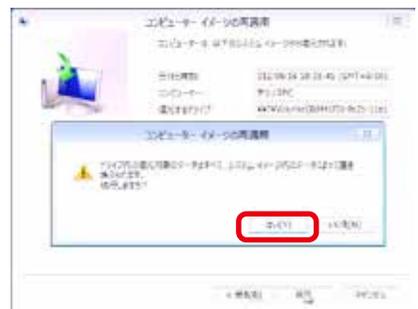


6 「コンピューターは、以下のシステムイメージから復元されます」が表示されます

選択したバックアップデータに問題がなければ[完了] をクリックします。



警告メッセージが表示されますので [はい] をクリックします。



7 「コンピューターをシステムイメージから復元しています。これには数分から数時間かかります。」が表示されます

復元が開始されました。復元を完了したらパソコンが再起動します。

再起動後、バックアップ対象が復元されていれば完了です。



OSインストール前の準備

ご購入時にOS（オペレーティングシステム）を選択されていないパソコンには、OSはインストールされていません。BIOS[UEFI] POST画面が表示されたあとそのまま時間がたつと「Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot Media in selected Boot device and press a key...」というメッセージが表示されます。この表示はドライブに OSがインストールされていない状態をBIOS[UEFI]が認識したためです。お客様で準備されているOSをインストールすることでパソコンが使用できる状態になります。

OSインストール前の準備

① プロダクトキーの確認

- OS インストールモデルでは、本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合、プロダクトキーはパッケージの裏面、または包装フィルムに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- 製品版は CD/DVD ケースに貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- プロダクトキーは再発行できませんのでパソコン本体に貼るなどして、なくさないように保管してください。貼付け位置は 17 ページ「ラベルの貼付け位置の確認」をご参照ください。

② 外付ハードディスクやプリンター、ウェブカメラなどの周辺機器は外して OS インストールしてください

マウス、キーボード以外の USB 機器やその他の周辺機器を接続したままインストールすると、以下のような不具合の原因となる場合があります。

- インストールに時間がかかる
- インストールに失敗する

このような不具合防止のため、USB 機器やその他の周辺機器を取り外す時は必ず本体の電源を切ってから取り外してください。

③ ディスプレイ・キーボード・マウスが本体に接続されているか確認してください

④ パソコンの BIOS[UEFI] の設定を DVD/CD-ROM から起動できるようにしておく必要があります

ご購入時の状態で DVD/CD-ROM から起動できる設定がされています。

CMOS クリアやバックアップ電池の交換をされた場合は、再設定してください。

OSインストール前の準備が整ったら

インストールの前準備が整いましたら、今回実行するインストール作業を確認し、指定ページをご参照ください。

- OS がインストールされていない方は 80 ページへ
- ご購入時の状態に戻したい方で
 - 「Windows 7 Diginnos かんたんリカバリー」搭載モデルは 74 ページへ
 - 「Windows 8.1 Diginnos かんたんリカバリー」搭載モデルは 76 ページへ
 - 「Diginnos かんたんリカバリー」非搭載モデルは 99 ページへ
 - 「Windows 10」搭載モデルは 78 ページへ
- ご使用の OS が うまく動かなくなった方は 105 ページへ

Windowsの初期化方法

Diginnos パソコンを初期化する方法は搭載 OS により変わります、ご使用 OS を確認して OS にあった初期化方法をご確認ください。

■ Diginnos かんたんリカバリー

Windows 7 搭載モデルのリカバリー方法 74 ページへ
Windows 8.1 搭載モデルのリカバリー方法 76 ページへ

■ プッシュボタンリセット

Windows 10 搭載モデルの初期化方法 78 ページへ

Diginnosかんたんリカバリーとは

リカバリーとは、リカバリー用データ領域に出荷時の OS データなどを保存し、必要な際にハードディスクの OS データ領域をフォーマット（初期化）し、保存されたリカバリー用データから Windows を出荷時の状態へ戻すことです。このリカバリーは下記のような原因でパソコンが起動しなくなった、動作が不安定になった場合に有効な方法です。

- コンピューターウイルスの感染
- ファイルの誤削除
- ソフトウェアのインストール・アンインストールを繰り返す



ハードウェアの障害が原因で不安定になったシステムに対しては、効果が得られない場合もあります

■ 「Diginnos かんたんリカバリー」搭載モデルの確認

一部モデルは以降に記載されたハードディスクからのリカバリーが搭載されていない場合があります。

搭載モデルの確認方法は以下のサイトよりご確認ください。

ウェブページ URL <http://www.dospara.co.jp/dgrecovery>

■ ハードディスク内のリカバリー用データは絶対に削除しないでください。

リカバリーのためのデータをハードディスク内に格納しています。このリカバリー用データ領域は約 11GB あります。

誤って消去することを防ぐため、リカバリー用データ領域は通常の方法では表示されません。

もしも、以下のような方法で、この領域を削除、変更またはデータの追加などをすると、リカバリーできないことがあります。

- ・市販のディスクユーティリティをお客様ご自身でインストールする
- ・Windows のディスク管理を使用する

リカバリー領域を変更された場合の復旧は有償となりまので、デジノスサポートセンターにご相談ください。

東京 03 - 4332 - 9193 (PHS・IP 電話からもこちらへ) / ナビダイヤル 0570 - 028 - 119



リカバリー用データ領域を通常の記憶領域として使用することはできません。

プッシュボタンリセットとは

プッシュボタンリセットとは、Windows を再インストールして不具合を解消する機能です。いくつかの機能の内、「リセット（すべてを削除して再インストール）」を使用し、インストールしたアプリやドライバー、保存したデータなどすべてを削除して、Windows を出荷時の状態へ戻します。このリカバリーは下記のような原因でパソコンが起動しなくなった、動作が不安定になった場合に有効な方法です。

- Windows を使用する中でパフォーマンスが低下した時
- ドライバーの更新やアプリのインストール後の不具合



ハードウェアの障害が原因で不安定になったシステムに対しては、効果が得られない場合もあります

Windowsの初期化方法

初期化前に

ご購入後に、増設または交換されたパーツや周辺機器はすべて取り外して元の状態に戻してください。特に、USB フロッピーディスクドライブや USB 接続の外付けハードディスク、外付け CD/DVD ドライブを接続した状態では、正常にリカバリしない場合があります。

■ 初期化を行うと、全てのデータが初期化されます

インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客様が作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。初期化を実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。



データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去される恐れがあります。



途中で電源を切るなどして、初期化を中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失してリカバリを実行できなくなる恐れがあります。

Windows 7搭載モデルのリカバリ方法

1 リカバリ作業を開始します

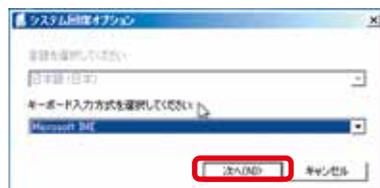
パソコンの電源を入れ、BIOS ログが表示されたときに「F 1キー」をリカバリが開始されるまでトントントンと断続的に押してください。



2 「キーボード入力方式を選択してください」が表示されます

[次へ] をクリックします。

※すでに選択されている言語とキーボード以外は指定しないでください。

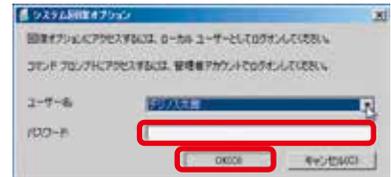


Windowsの初期化方法

3 「回復オプションにアクセスするにはローカルユーザーとしてログオンしてください」が表示されます

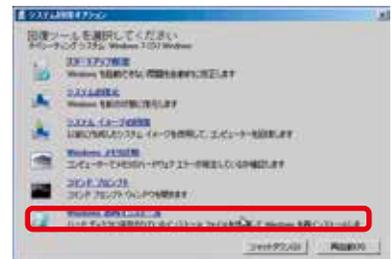
ユーザー名を選択してパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

※ Administrator 権限のあるユーザー名を選択してください。



4 「回復ツールを選択してください」が表示されます

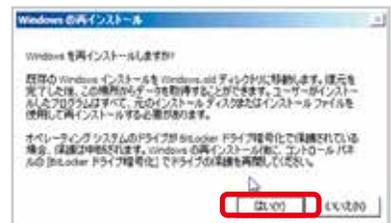
[Windows の再インストール] をクリックします。



5 「Windows を再インストールしますか？」が表示されます

[はい] をクリックしてリカバリーを開始します。
リカバリーが完了するとパソコンが再起動され Windows のセットアップ画面が表示されます。

リカバリー作業には 30 分～1時間前後の時間がかかります。



このリカバリー作業を行うと、ハードディスク内のデータは初期化され削除されます。

Windowsの初期化方法

Windows 8.1搭載モデルのリカバリー方法

1 「設定チャーム」を表示します

[Windows キー + I キー] を同時に押して、設定チャームを表示します。

設定チャームが表示されたら次に [PC 設定の変更] をクリックします。



2 「PC設定」が表示されます

「保守と管理」の項目を選択し、次に「回復」の項目を選択します。

「すべてを削除して Windows を再インストールする」にある [開始する] をクリックします。



3 「PC を初期状態に戻す」が表示されます

[次へ] をクリックして初期化作業を開始します。



4 ドライブの初期化方法が表示されます

[ファイルの削除のみを行う] をクリックしてください。
C ドライブのデータを完全に削除したい場合は [ドライブを完全にクリーンアップする] を選択してください。



リカバリー作業には 30 分～1時間前後の時間がかかります。初期化方法で [ドライブを完全にクリーンアップする] を選択した場合は、2～4 時間前後かかります。

Windowsの初期化方法

5 リカバリー方法の設定ができました

[初期状態に戻す] をクリックしてリカバリーを開始します。リカバリーが完了するとパソコンが再起動され、Windows のセットアップ画面が表示されます。



■ Windows が起動できない場合のリカバリー方法

Windows 8 以降では、3 回以上正常に起動できない場合は「システム回復オプション」が表示されます。その「システム回復オプション」からリカバリーを行うことができます。

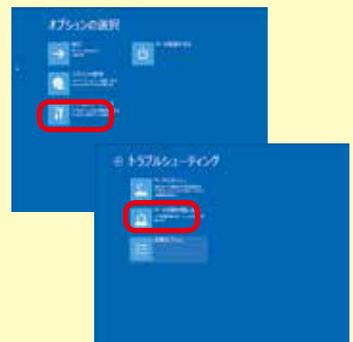
1 「回復」が表示されます

「詳しい修復オプションを表示します」を選択します。



2 「オプションの選択」が表示されます

「トラブルシューティング」を選択し、次に「PC を初期状態に戻す」の項目を選択します。



3 以降のリカバリー作業

以降のリカバリー作業は、76 ページ [「PC を初期状態に戻す」が表示されます] 以降をご参照ください。

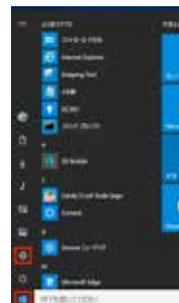
Windowsの初期化方法

Windows 10搭載モデルの初期化方法

1 「設定」を表示します

「スタート」をクリックして、メニューに表示される「設定」をクリックします。

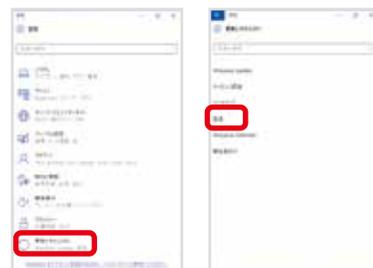
※ [Windows キー + I キー] を同時に押して設定を表示することができます。



2 「設定」が表示されます

「更新とセキュリティ」の項目を選択し、次に「回復」の項目を選択します。

「すべてを削除して Windows を再インストールする」にある [開始する] をクリックします。



3 「回復」が表示されます

「この PC を初期状態に戻す」にある [開始する] をクリックします。



4 「オプションを選んでください」が表示されます

「すべて削除する」をクリックします。



5 PC に 2 台以上の SSD または ハードディスクが接続されている場合は、「PC に複数のドライブがあります」が表示されます

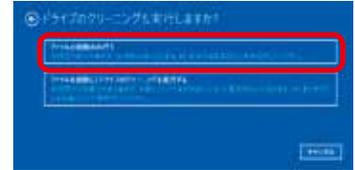
[Windows がインストールされているドライブのみ] をクリックします。



Windowsの初期化方法

6 「ドライブのクリーニングも実行しますか？」が表示されます

[ファイルの削除のみを行う]をクリックしてください。
Cドライブのデータを完全に削除したい場合は[ドライブを完全にクリーンアップする]を選択してください。



初期化作業には30分～1時間前後の時間がかかります。初期化方法で[ドライブを完全にクリーンアップする]を選択した場合は、約2～4時間かかります。

7 初期化方法の設定ができました

[初期状態に戻す]をクリックして初期化を開始します。
初期化が完了するとパソコンが再起動され、Windowsのセットアップ画面が表示されます。



■ Windowsが起動できない場合の初期化方法

Windows 10以降では、3回以上正常に起動できない場合は「システム回復オプション」が表示されます。その「システム回復オプション」から初期化を行うことができます。

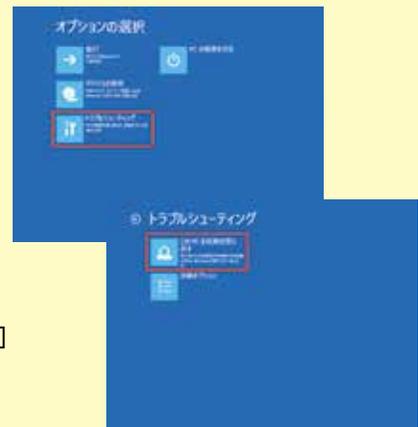
1 「回復」が表示されます

「詳しい修復オプションを表示する」を選択します。



2 「オプションの選択」が表示されます

「トラブルシューティング」を選択し、次に「このPCを初期状態に戻す」の項目を選択します。



3 以降の初期化作業

以降の初期化作業は、78ページ[「回復」が表示されます]以降をご参照ください。

Windows 7のインストール

OSをインストールされていない方は

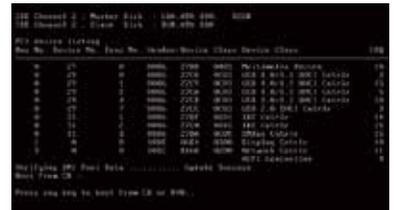
OS をインストールしパソコンを使用できる状態にします。

また、お客様にてインストール作業が難しい場合には、弊社において有償にて OS インストールの作業代行を承っております。詳しくはお買上げの店舗、またはデジノスサポートセンターにお問い合わせください。

1 Windows 7 インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます

無事にインストールメディアから起動できると、「Windows is loading files...」が表示され、下にステータスバーが表示されます。もし起動できなかった場合はインストールメディアを入れたまま再起動させます。

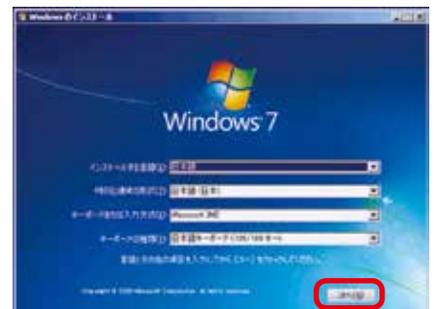
※ パソコンの構成によっては上記の方法で自動 CD ブート（起動）ができない場合があります。起動できない場合は、手動で CD ブートを行います。



- インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動させます。
- パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。
- 数秒で「Boot from CD」の1行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」（CD か DVD から起動するには、いずれかのキーを押してください）と表示されるので、Enter キーを押します。

2 しばらくすると「Windows のインストール」が表示されます

言語、時刻、キーボードの入力方法を指定して [次へ] をクリックします。



Windows 7のインストール

3 Windows 7 ロゴが表示されます
[今すぐインストール] をクリックします。

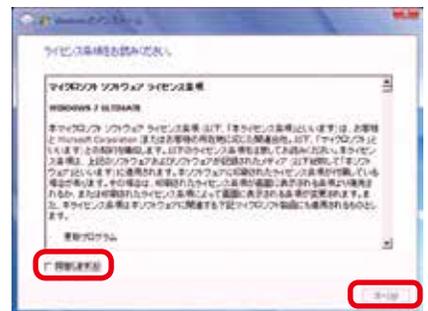


4 「開始しています」が表示されます
しばらくすると、画面が変わります。



5 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示されます
マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を確認し、
[同意します] のチェックボックスをクリックしてチェック
を入れます。

チェックを入れたら [次へ] をクリックします。



6 「インストールの種類」が表示されます
[新規インストール (カスタム)] を選択します。



Windows 7のインストール

7 「Windows のインストール場所を選択してください。」が表示されます

■ ドライブ全体を1つのパーティションとしてインストールする場合

Windows をインストールするドライブの未割り当て領域を選択して [次へ] をクリックします。

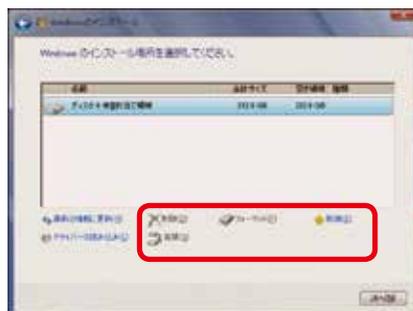


■ 複数のパーティションに分割してインストールする場合

【ドライブオプション (詳細)】 をクリックすると、[削除] [フォーマット] [新規] [拡張] が表示されます。



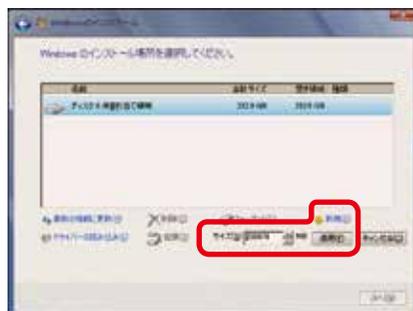
パーティションの削除やフォーマットを行うと既存のデータは消去されますのでご注意ください。



【新規】 をクリックすると「サイズ」が表示されます。

パーティションのサイズを指定して [適用] をクリックします。

パーティションの削除は、99 ページ「Windows 7 の再インストール②」をご参照ください。



分割したパーティションが表示されます。更に分割する場合は、未割り当て領域を選択し [新規] をクリックして、上記の作業を繰り返します。

パーティション分割が完了したら、Windows をインストールするパーティションを選択して [次へ] をクリックします。



「システムで予約済み(100MB)」のパーティションが作られる場合がありますが、Windows 7 のシステムに必要な領域です。



Windows 7のインストール

8 「Windows のインストール中…」が表示されます

インストール用ファイルをハードディスクにコピーします。

ファイルの展開、機能のインストール、更新プログラムのインストールと始まりしばらくすると、「コンピューターを再起動した後、セットアップを続行します」と表示され、再起動が開始されます。



再起動時は DVD-ROM から起動せず、ハードディスクから起動してください。



9 「新しいアカウントのユーザー名と、コンピューターをネットワーク上で識別するためのコンピューター名を入力してください。」が表示されます

例を参考にユーザー名とコンピューター名を入力し[次へ]をクリックします。

※ユーザー名、コンピューター名には日本語も使用できます。



Windows 7のインストール

10 「ユーザーアカウントのパスワードを設定します」が表示されます

パスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。

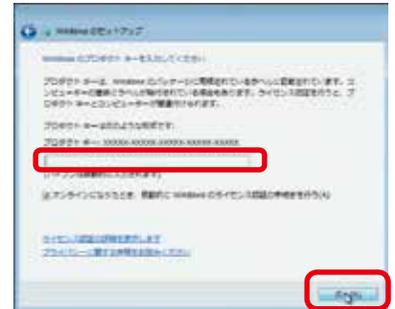
次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントを入力します。その後 [次へ] をクリックします。

※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。



11 「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます

プロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。



- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合はパッケージの裏面に貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- OS インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。（貼付位置は 17 ページ「ラベル貼付場所の確認」をご覧ください）

12 「コンピューターの保護とWindows の機能の向上が自動的に行われるように設定してください」が表示されます

[推奨設定を使用します] をクリックします。

※推奨設定以外でも先に進むことはできます。それぞれの内容は画面の [それぞれのオプションについて詳細情報を表示します] をクリックし、確認してください。



Windows 7のインストール

13 「日付と時刻の設定を確認します」が表示されます

「タイムゾーン」「日付」「時刻」が異なる場合には、修正した後「次へ」をクリックします。



14 「お使いのコンピューターの現在の場所を選択してください」が表示されます

現在インストールしているパソコンを主に使用する場所を選択してください。

自宅で使用の場合 [ホームネットワーク] をクリックしてください。



15 「Windows で設定の最終処理を実行しています」が表示されます

以上の設定で作業完了です。最終処理が完了しますと自動で再起動します。



Windows 7のインストール

16 これでWindows 7 のインストールは完了しました

必ず 30 日以内に「スタートメニュー」→「コンピューター」→ツールバーの「システムのプロパティ」を起動して、[自動ライセンス認証が始まるまで**日です。今すぐ行う場合にはここをクリックしてください]をクリックし、ライセンス認証(プロダクトアクティベーション)を行ってください。

※ 30 日を経過すると Windows 7 が機能制限モードに切り替わります。ライセンス認証を行うと機能制限モードは解除されます。

2 回目以降の起動時に、パスワード入力画面が表示されます。⑩にて入力したパスワードを入力し、Enter を押してください。

※パスワード未設定の場合は表示されません。



プロダクトアクティベーションとは？

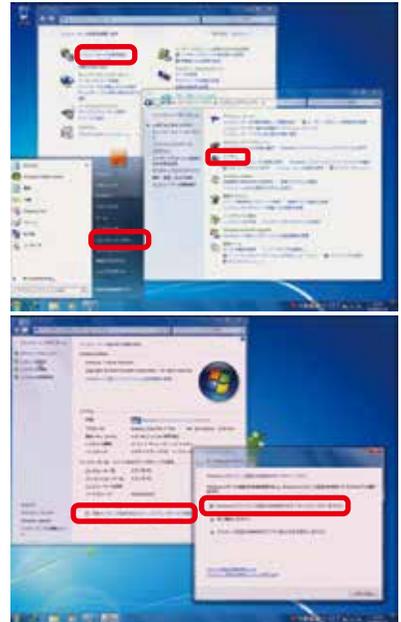
- 「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows® 7」「Windows® 8.1」「Windows® 10」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。
- Windows インストール後 30 日以内にライセンス認証 (プロダクトアクティベーション) を行わないと機能制限モードに切り替わります。
- ライセンス認証後でも「120 日以内に 10 種類の識別パーツ (CPU、メモリー、ハードディスク、ビデオカード、CD-ROM ドライブ、LAN カード、SCSI カードなど) が大幅に変更された場合」は再度ライセンス認証が必要になります。

Windows 7のインストール

Windows 7 ライセンス認証の方法

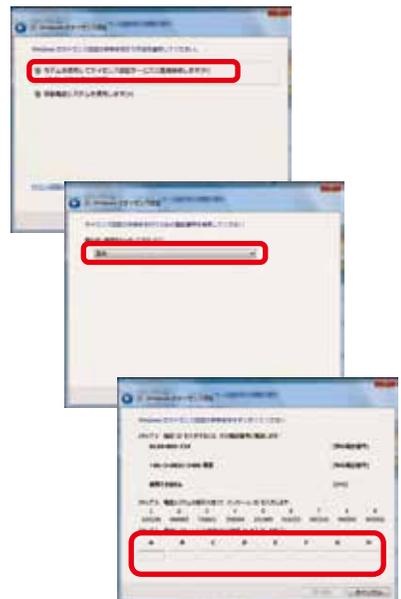
● インターネットに接続できる場合はインターネット経由で認証手続きを行います。

- ▼ Windows 7 を起動し、インターネットに接続できる状態で画面左下 [スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [システム] を起動して、下の段の [Windows のライセンス認証を XX 日以内に行ってください。今すぐ行う場合にはここをクリックしてください。] をクリックします。
- ▼ 「Windows のライセンス認証」の画面が表示されますので、[Windows のライセンス認証の手続きを今すぐオンラインで行います] をクリックします。
- ▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



● インターネットに接続できない場合は電話で認証手続きを行います。

- ▼ 「Windows のライセンス認証」の画面までは上記と同じ手順で進めた後、[ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します] をクリックします。
- ▼ [自動電話システムでライセンス認証をします] をクリックします。
- ▼ 「最も近い場所をクリックしてください」で [日本] を選択し [次へ] をクリックします。（[日本] は一覧の下部の方にあります）
- ▼ 表示されている電話番号に電話をします。
- ▼ 「インストール ID」を確認して進めます。
- ▼ ライセンス認証専用窓口から受け取った「確認 ID」を入力して [次へ] をクリックします。
- ▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



詳しくはマイクロソフトのウェブサイトをご覧ください。

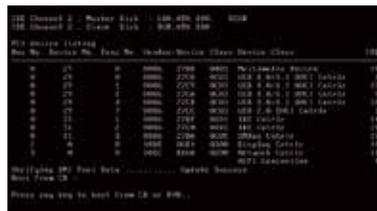
<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows7/Activating-Windows-7-frequently-asked-questions>

Windows 8.1 のインストール

1 Windows 8.1 インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動します

無事にインストールメディアから起動できると、「Windows is loading files...」が表示され、下にステータスバーが表示されます。もし起動できなかった場合はインストールメディアを入れたまま再起動します。

※ Diginnos パソコンの構成によっては上記の方法で自動 CD ブート（起動）ができない場合があります。起動できない場合は、手動で CD ブートをを行います。



- インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動します。
- パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。
- 数秒で「Boot from CD」の1行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」（CDかDVDから起動するには、いずれかのキーを押してください）と表示されますので、Enter キーを押します。

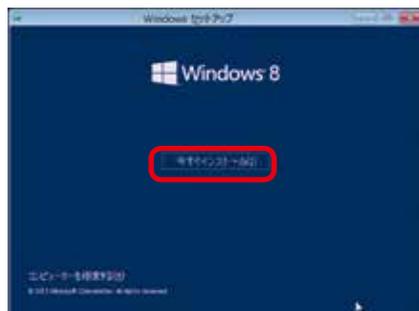
2 しばらくすると「Windows のセットアップ」が表示されます

言語、時刻、キーボードの入力方法を指定して [次へ] をクリックします。



3 Windows 8.1 ロゴが表示されます

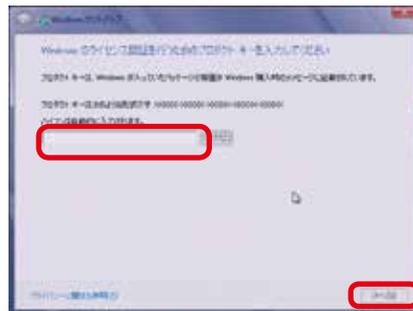
[今すぐインストール] をクリックします。



Windows 8.1 のインストール

4 「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます

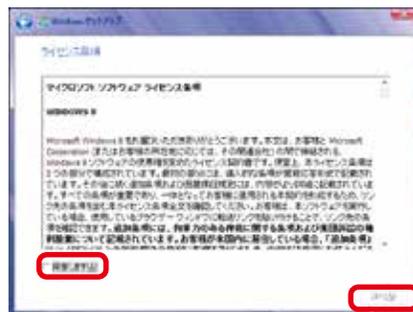
※プロダクトキーがパソコン本体データとして記録されているモデルではこのページは表示されません。プロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。(詳しくは 16 ページ「プロダクトキーの確認」をご覧ください)



- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合はパッケージ外装に貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- OS インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。(貼付位置は 17 ページ「ラベル貼付場所の確認」をご覧ください)

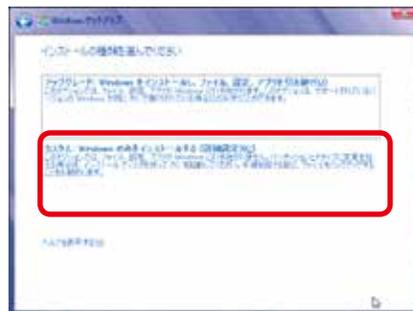
5 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」が表示されます

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項を確認し、[同意します] のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。チェックを入れたら [次へ] をクリックします。



6 「インストールの種類」が表示されます

「インストールの種類」が表示されます。[カスタム: Windows のみをインストールする] を選択します。



Windows 8.1 のインストール

7 「Windows のインストール場所を選択してください。」が表示されます

■ ドライブ全体を1つのパーティションとしてインストールする場合

Windows をインストールするドライブの未割り当て領域を選択して [次へ] をクリックします。



■ 複数のパーティションに分割してインストールする場合

[ドライブオプション (詳細)] をクリックすると、[削除] [フォーマット] [新規] [拡張] が表示されます。



パーティションの削除やフォーマットを行うと既存のデータは消去されますのでご注意ください。



[新規] をクリックすると「サイズ」が表示されます。

パーティションのサイズを指定して [適用] をクリックします。

パーティションの削除は、102 ページ「Windows 8.1 の再インストール②」をご参照ください。



分割したパーティションが表示されます。更に分割する場合は、未割り当て領域を選択し [新規] をクリックして、上記の作業を繰り返します。

パーティション分割が完了したら、Windows をインストールするパーティションを選択して [次へ] をクリックします。



「システムで予約済み (300MB)」のパーティションが作られる場合がありますが、Windows 8.1 のシステムに必要な領域です。



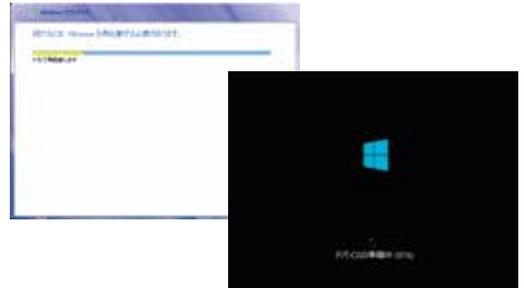
Windows 8.1 のインストール

8 「Windows のインストール中…」が表示されます

インストール用ファイルをハードディスクにコピーします。

ファイルの展開、機能のインストール、更新プログラムのインストールと始まり、しばらくすると、「コンピューターを再起動した後、セットアップを続行します」と表示され、再起動が開始されます。

再起動時は DVD-ROM から起動せず、ハードディスクから起動してください。



9 「パーソナル設定」が表示されます

Windows 8.1 スタイルのベース色の設定と、コンピューター名を入力して [次へ] をクリックします。



10 「設定」が表示されます

Windows の基本的な設定を行います。
[簡単設定を使う] をクリックします。



Windows 8.1 のインストール

11 「PCへのサインイン」が表示されます

ユーザー名とパスワードを入力します。パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回入力します。

次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘れた際に、表示されるヒントです。その後 [次へ] をクリックします。

※パスワードは未入力でも先に進めます（後から設定することが可能です）。



12 これでWindows 8.1 のインストールは完了しました

設定作業が完了して、最終処理が完了すると Windows 8.1 が起動します。

起動時に表示される案内に沿ってマウスカーソルを画面右上の角に合せます。

Windows 8.1 が起動すると画面右端にチャームが表示された状態で起動します。



13 ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション)

Windows 8.1 のライセンス認証につきましては、インターネット接続環境がある場合は、パソコンのインターネット接続を行うことで、自動的にライセンス認証が行われます。

インターネットに接続できない環境につきましては、本書 93 ページ「ライセンス認証の方法」をご参照ください。ライセンス認証が完了していないと、毎起動時と起動後 3 時間に 1 回、ライセンス認証の確認が表示されます。

プロダクトアクティベーションとは？

「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows® 7」「Windows® 8.1」「Windows® 10」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。

Windows 8.1 のインストール

Windows 8.1 ライセンス認証の方法

● インターネットに接続できる場合はインターネット経由で認証手続きを行います。

インターネット接続環境がある場合は、パソコンのインターネット接続を行うことで、自動的にライセンス認証が行われます。

● インターネットに接続できない場合は電話で認証手続きを行います。

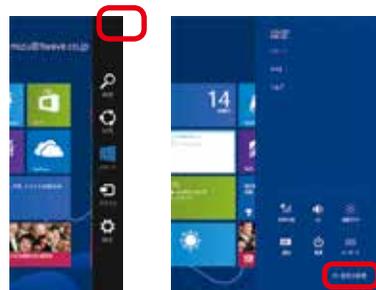
▼ [設定] を開きます。

方法 1

チャームを表示して (画面右上にマウスカーソルを合わせる)、設定をクリックします。

方法 2

[Windows キー + I キー] を押し設定を開きます。



▼ [PC 設定の変更] をクリックします。

「Windows のライセンス認証」の画面までは上記と同じ手順で進めた後、[ライセンス認証の手続きを行うその他の方法を表示します] をクリックします。



▼ [電話でのライセンス認証] をクリックします。

▼ 「最も近い場所をクリックしてください」で [日本] を選択し [次へ] をクリックします。
([日本] は一覧の下部の方にあります)



▼ 表示されている電話番号に電話をします。

▼ 「インストール ID」を確認して進めます。

▼ ライセンス認証専用窓口から受け取った「確認 ID」を入力して [次へ] をクリックします。

▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。

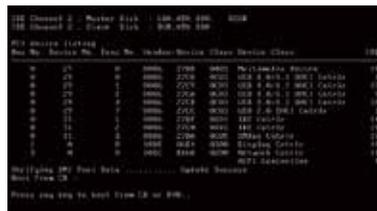


Windows 10 のインストール

1 Windows 10 インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動します

無事にインストールメディアから起動できると、「Windows is loading files...」が表示され、下にステータスバーが表示されます。もし起動できなかった場合はインストールメディアを入れたまま再起動します。

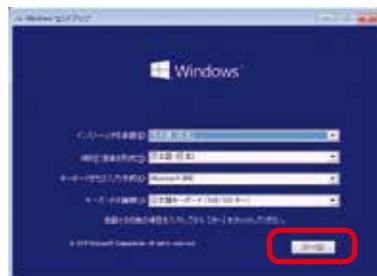
※ Diginnos パソコンの構成によっては上記の方法で自動 CD ブート（起動）ができない場合があります。起動できない場合は、手動で CD ブートをを行います。



- インストールメディアを入れた状態で電源を入れるかパソコンを再起動します。
- パソコンが起動するまでに画面には様々な文字や数字が表示されますが、しばらく待つと画面左下に「Boot from CD」という表示が出ます。
- 数秒で「Boot from CD」の1行下に、「Press any key to boot from CD or DVD」（CDかDVDから起動するには、いずれかのキーを押してください）と表示されますので、Enterキーを押します。

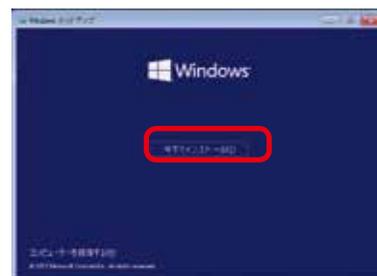
2 しばらくすると「Windows のセットアップ」が表示されます

言語、時刻、キーボードの入力方法などを指定して [次へ] をクリックします。



3 Windows のロゴが表示されます

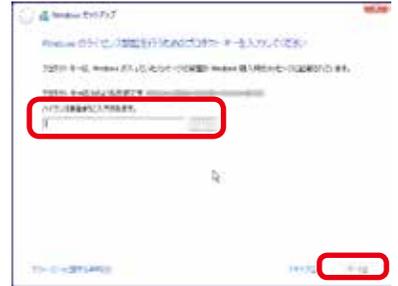
[今すぐインストール] をクリックします。



Windows 10 のインストール

4 「Windows のプロダクトキーを入力してください」が表示されます

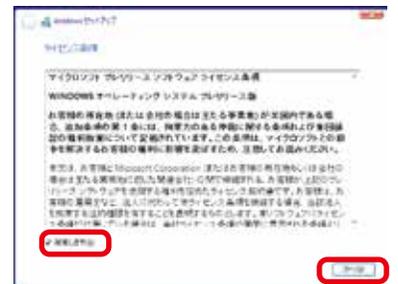
※プロダクトキーがパソコン本体データとして記録されているモデルではこのページは表示されません。プロダクトキーを入力して [次へ] をクリックします。(詳しくは 17 ページ「プロダクトキーの確認」をご覧ください)



- 別途 DSP 版の OS をご用意されている場合はパッケージ外装に貼られているシールに 25 桁の英数字で記載されています。
- OS インストールモデルでは本体に貼り付けてあるシールに 25 桁の英数字で記載されています。(貼付位置は 17 ページ「ラベル貼付場所の確認」をご覧ください)

5 「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項」が表示されます

マイクロソフトソフトウェアライセンス条項を確認し、[同意します] のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。チェックを入れたら [次へ] をクリックします。



6 「インストールの種類」が表示されます

「インストールの種類」が表示されます。
[カスタム: Windows のみをインストールする] を選択します。



Windows 10 のインストール

7 「Windows のインストール場所を選択してください。」が表示されます

■ ドライブ全体を1つのパーティションとしてインストールする場合

Windows をインストールするドライブの未割り当て領域を選択して [次へ] をクリックします。



■ 複数のパーティションに分割してインストールする場合

[新規] をクリックすると「サイズ」が表示されます。パーティションのサイズを指定して [適用] をクリックします。パーティションの削除は、104 ページ「Windows 10 の再インストール②」をご参照ください。



パーティションの削除やフォーマットを行うと既存のデータは消去されますのでご注意ください。



分割したパーティションが表示されます。更に分割する場合は、未割り当て領域を選択し [新規] をクリックして、上記の作業を繰り返します。パーティション分割が完了したら、Windows をインストールするパーティションを選択して [次へ] をクリックします。



「EFI システムパーティション (300MB)」のパーティションが作られる場合がありますが、Windows 10 のシステムに必要な領域です。



Windows 10 のインストール

8 「すぐに使い始めることができます」が表示されます

Windows の基本的な設定を行います。
[簡単設定を使う] をクリックします。



9 「このPC用のアカウント作成」が表示されます

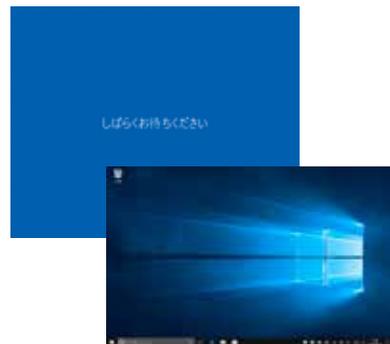
ユーザー名とパスワードを入力します。
パスワードの入力は間違えないように同じ文字列を2回
入力します。
次に、パスワードのヒントを入力します。パスワードを忘
れた際に、表示されるヒントです。その後 [次へ] をクリッ
クします。

※パスワードは未入力でも先に進めます (後から設定する
ことが可能です)。



10 これでWindows 10 のインストールは完了しました

設定作業が終わり、最終処理が完了すると Windows 10
が起動します。



11 ライセンス認証 (プロダクトアクティベーション)

Windows 10 のライセンス認証につきましては、インターネット接続環境がある場合は、パソコンのインターネット接続を行うことで、自動的にライセンス認証が行われます。
インターネットに接続できない環境につきましては、本書 98 ページ「ライセンス認証の方法」をご参照ください。ライセンス認証が完了していないと、毎起動時と起動後 3 時間に 1 回、ライセンス認証の確認が表示されます。

プロダクトアクティベーションとは?

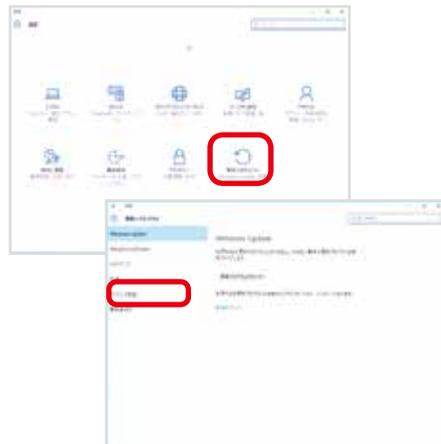
「Microsoft® Office」「Windows® XP」「Windows Vista®」「Windows® 7」「Windows® 8.1」「Windows® 10」などに不正利用を防ぐ目的で導入されているライセンス認証技術です。

Windows 10 のインストール

Windows 10 ライセンス認証の方法

● Windows のライセンス認証画面を表示します。

- ▼ Windows 10 を起動し [Windows キー + I キー] を押し「設定」を開きます。
- ▼ 「設定」の画面が表示されたら、[更新とセキュリティ] をクリックして開きます。
- ▼ 「更新とセキュリティ」の画面が表示されたら、「ライセンス認証」をクリックして開きます。

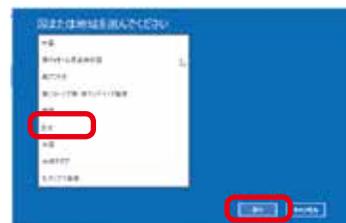


① インターネットに接続できる場合はインターネット経由で認証手続きを行います

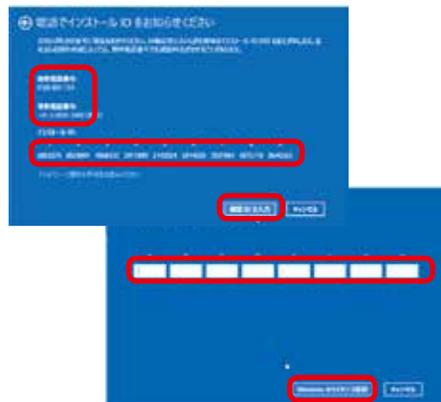
- ▼ 「Windows のライセンス認証」に表示されている「ライセンス認証」をクリックしてライセンス認証を開始します。

② インターネットに接続できない場合は電話で認証手続きを行います。

- ▼ 「Windows のライセンス認証」に表示されている「電話でのライセンス認証」をクリックしてライセンス認証を開始します。
- ▼ 「国または地域を選んでください」で [日本] を選択し [次へ] をクリックします。 ([日本] は一覧の下部の方にあります)



- ▼ 表示されている電話番号に電話をします。
- ▼ 「インストール ID」を確認して進めます。
- ▼ ライセンス認証専用窓口から確認 ID を受け取ります。
- ▼ 確認 ID を入力して [次へ] をクリックします。
- ▼ 以降は画面の手順に沿って認証手続きを進めてください。



Windows 7の再インストール

ご購入時の状態に戻したい方は

作業前の注意事項



再インストールを行う場合、ハードディスク内のデータは消えてしまいます。ハードディスクに必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを行ってください。バックアップ作業は、56 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

1 Windows 7のインストールメディアを挿入します

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

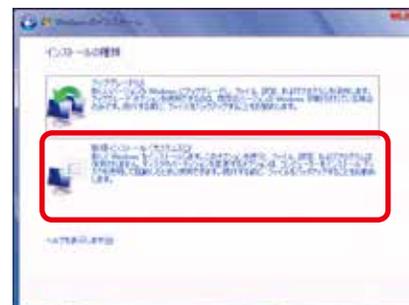
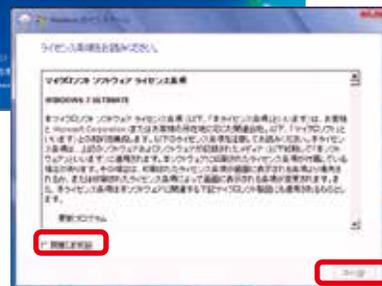
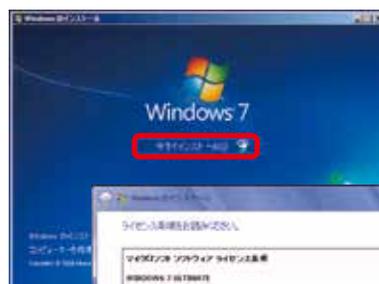
インストールメディアからパソコンを起動します。

「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。（キーの指定は特にありません。）

「Windows のインストール」が表示されます。

画面の手順に沿って「インストール場所を選択してください」が表示されるまで作業を進めてください。

詳しくは、80 ページ「Windows 7のインストール①～⑦」をご参照ください。



Windows 7 の再インストール

2 「インストール場所を選択してください」が表示されます

[ドライブオプション (詳細)] をクリックすると、[削除] [フォーマット] [拡張] が表示されます。

設定されているパーティションを削除して初期状態に戻し再インストールを開始します。

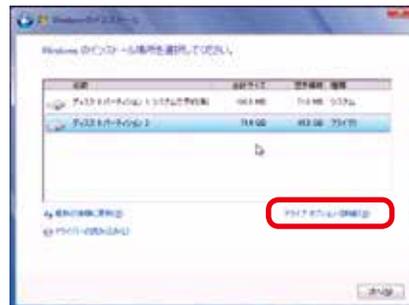
[パーティション1] を選択してください。パーティションを選択後、[削除] をクリックします。同様にパーティション2 を削除します。



パーティション1 はシステム用の領域です。OS 起動後の「コンピューター」等では表示されません。



パーティションを分割している場合は、パーティション2 以降が表示されます。同様に削除します。



完了しましたら [次へ] をクリックしインストールを開始します。

パーティション分割方法は、82 ページ「Windows 7 のインストール⑦」をご参照ください。

3 以降のインストール作業

以降のインストール作業は、83 ページ「Windows 7 のインストール⑧」以降をご参照ください。



Windows 8.1 の再インストール

ご購入時の状態に戻したい方は

作業前の注意事項



再インストールを行う場合、ハードディスク内のデータは消えてしまいます。ハードディスクに必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを行ってください。バックアップ作業は、61ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

1 Windows 8.1 のインストールメディアを挿入します

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

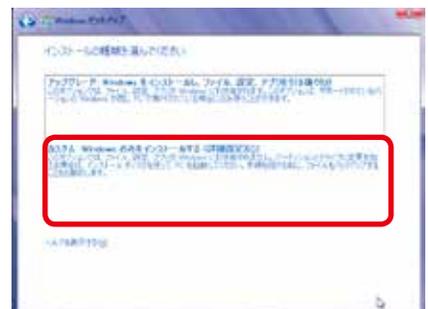
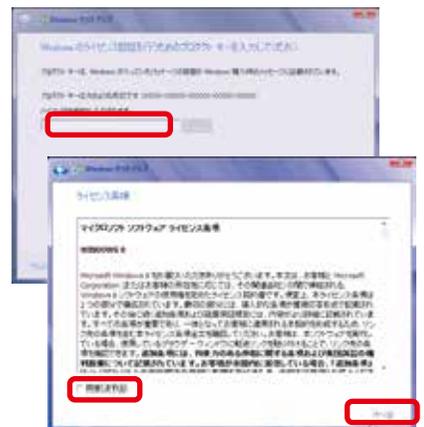
インストールメディアからパソコンを起動します。

「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)

「Windows のインストール」が表示されます。

画面の手順に沿って「インストール場所を選択してください」が表示されるまで作業を進めてください。

詳しくは、88 ページ「Windows 8.1 のインストール①～⑥」をご参照ください。



Windows 10 の再インストール

ご購入時の状態に戻したい方は

作業前の注意事項



再インストールを行う場合、ハードディスク内のデータは消えてしまいます。ハードディスクに必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを行ってください。バックアップ作業は、66 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

1 Windows 10 のインストールメディアを挿入します

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

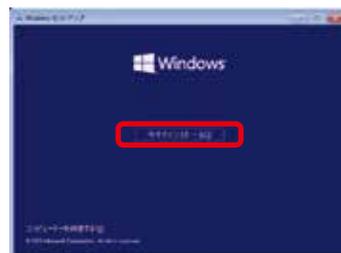
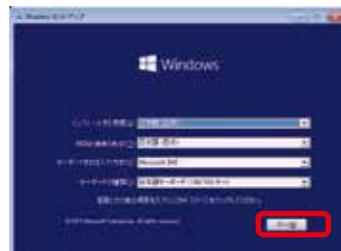
インストールメディアからパソコンを起動します。

「Press any key to boot from CD or DVD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)

「Windows のインストール」が表示されます。

画面の手順に沿って「インストール場所を選択してください」が表示されるまで作業を進めてください。

詳しくは、94 ページ「Windows 10 のインストール①～⑤」をご参照ください。



Windows 10 の再インストール

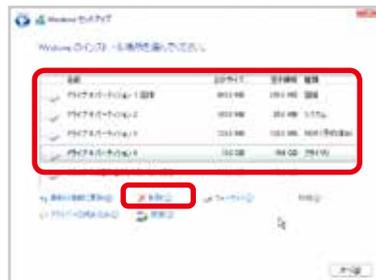
2 「インストール場所を選択してください」が表示されます

設定されているパーティションを削除して初期状態に戻し再インストールを開始します。

[パーティション] を選択してください。パーティションを選択後、[削除] をクリックします。同様に残りのパーティションを削除します。

⚠ パーティション1~3 はシステム用の領域です。OS 起動後の「コンピューター」等では表示されません。

⚠ パーティションを分割している場合は、パーティション5以降が表示されます。同様に削除します。



完了しましたら [次へ] をクリックしインストールを開始します。

パーティション分割方法は、96 ページ「Windows 10 のインストール⑦」をご参照ください。



3 以降のインストール作業

以降のインストール作業は、97 ページ「Windows 10 のインストール⑧」以降をご参照ください。



Windows 7 のスタートアップ修復

スタートアップ修復は、システムファイルが見つからなかったり破損しているなど、特定の問題を修正できる Windows 7 の回復ツールです。

こうした問題があると、Windows は正しく起動しない可能性があります。スタートアップ修復を実行すると、パソコンの問題がスキャンされ、パソコンが正常に起動できるように問題の解消が試行されます。

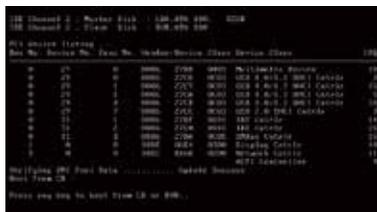
ワンポイント

ハードディスク内のデータは作業中に何らかの原因により消えてしまう場合があります。必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを取りましょう。バックアップ作業は56ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

1 インストールメディアからの起動

インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

インストールメディアからパソコンを起動します。「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)



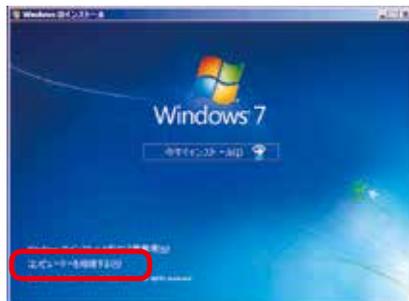
2 Windows のインストールが表示されます

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して [次へ] をクリックします。



3 「コンピューターを修復する」を選択します

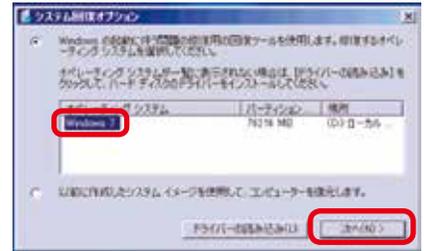
[コンピューターを修復する] をクリックします。



Windows 7 のスタートアップ修復

4 「システム回復のオプション」が表示されます

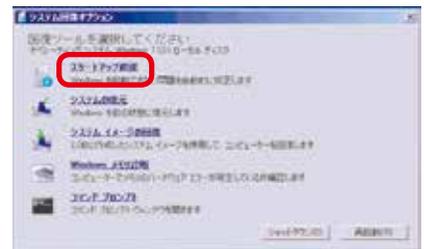
ダイアログ ボックスが表示されたら、目的のオペレーティング システムをクリックし、[次へ] をクリックします。



5 「回復ツールを選択してください」が表示されます

[スタートアップ修復] をクリックします。修復が開始されると、問題を修正するため選択を求めるメッセージが表示される場合があります。

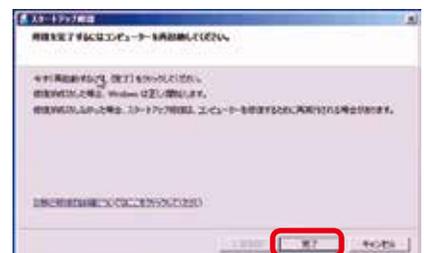
また、必要に応じて自動的に再起動する場合があります。



6 「修復を完了するにはコンピューターを再起動してください。」が表示されます

[完了] をクリックし、パソコンを再起動します。また、スタートアップ修復を行っても、パソコンの状態が改善できない場合は、Windows 7 を購入時の状態に戻すため、Windows 7 の再インストールを行ってください。

作業方法は、99 ページ「Windows 7 の再インストール」をご参照ください。



Windows 8.1 の自動修復

自動修復は、システム ファイルが見つからなかったり破損しているなど、特定の問題を修正できる Windows 8.1 の回復ツールです。こうした問題があると、Windows は正しく起動しない可能性があります。自動修復を実行すると、パソコンの問題がスキャンされ、パソコンが正常に起動できるように問題の解消が試行されます。

ワンポイント

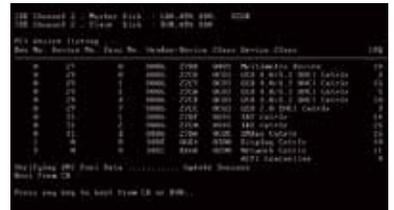
ハードディスク内のデータは作業中に何らかの原因により消えてしまう場合があります。必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを取りましょう。

バックアップ作業は61ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

1 インストールメディアからの起動

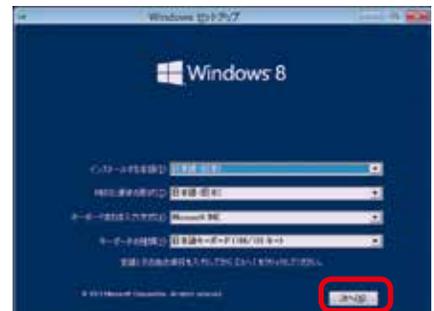
インストールメディアを光学ドライブに挿入し、パソコンを再起動します。

インストールメディアからパソコンを起動します。「Press any key to boot from CD」というメッセージが表示された場合は、キーボードの任意のキーを押します。(キーの指定は特にありません。)



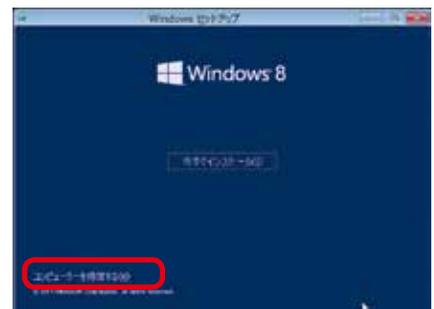
2 Windows のインストールが表示されます

ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して [次へ] をクリックします。



3 「コンピューターを修復する」を選択します

[コンピューターを修復する] をクリックします。



Windows 8.1 の自動修復

4 「オプションの選択」が表示されます

トラブルシューティングをクリックします。



5 「トラブルシューティング」が表示されます

[詳細オプション] をクリックします。

この画面から、下記の操作も行うことができます。

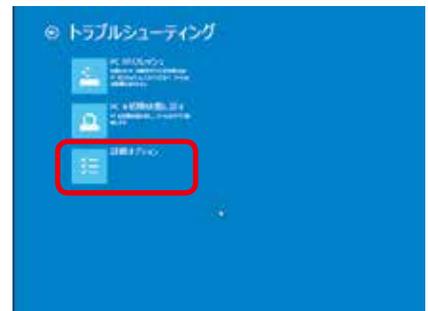
【PC のリフレッシュ】

この操作を行うと、個人設定や個人のデータ、Windows ストアからインストールされたアプリなどはそのままに、OS の再インストールが行われます。

※デスクトップアプリは削除されます。リフレッシュが終わりましたら、必要なデスクトップアプリの再インストールを行ってください。

【PC を初期状態に戻す】

この操作を行うと、システムドライブのデータは削除され OS の再インストールが行われます。



6 「詳細オプション」が表示されます

「自動修復」をクリックします。修復が開始されると、問題を修正するため選択を求めめるメッセージが表示される場合があります。また、必要に応じて再起動を行う場合があります。

この画面から、下記の操作も行うことができます。

【システムの復元】

PC に記録された復元ポイントを使って Windows を復元します。

【イメージでシステムを回復】

システムイメージのファイルを使って Windows を回復します。



Windows 10 のスタートアップ修復

スタートアップ修復は、システムファイルが見つからなかったり破損しているなど、特定の問題を修正できる Windows 10 の回復ツールです。こうした問題があると、Windows は正しく起動しない可能性があります。スタートアップ修復を実行すると、パソコンの問題がスキャンされ、パソコンが正常に起動できるように問題の解消が試行されます。

ハードディスク内のデータは作業中に何らかの原因により消えてしまう場合があります。必要なデータがある場合はあらかじめバックアップを取りましょう。バックアップ作業は 66 ページ「バックアップ方法」をご参照ください。

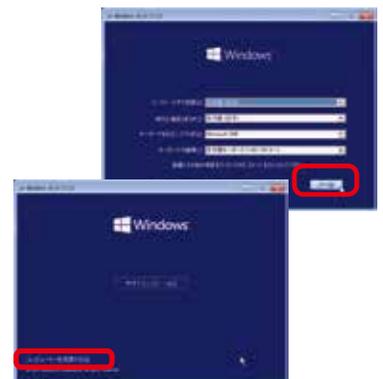
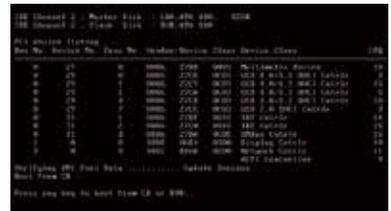
スタートアップ修復はインストールメディアやシステム修復ディスク、回復ドライブから起動して行うことができます。インストールメディアの付属しないパソコンをご購入いただいている場合は、システム修復ディスクや、回復ドライブを事前に作成して、ご準備ください。

1 「スタートアップ修復」を起動します

「スタートアップ修復」を起動するには何種類かの方法があります。状況にあった方法を選択してください。

■ インストールメディアからの起動

1. インストールメディアを光学ドライブに挿入して再起動し、インストールメディアからパソコンを起動します。
2. インストールメディアから起動できない場合、BootConfiguration や BootMenu で、光学ドライブから起動する設定を行います。
3. Windows セットアップが表示されるので、ご利用される言語、時刻、キーボードの入力方法、キーボードの種類を指定して [次へ] をクリックします。
4. [コンピューターを修復する] をクリックします。



■ システム修復ディスクからの起動

1. システム修復ディスクを光学ドライブに挿入して電源を入れ、システム修復ディスクからパソコンを起動します。
2. システム修復ディスクから起動できない場合、BootConfiguration や BootMenu で、光学ドライブから起動する設定を行います。
3. システム修復ディスクから起動が始まると「キーボードレイアウトの選択」が表示されますので、[Microsoft IME] を選択します。



Windows 10 のスタートアップ修復

2 「オプションの選択」が表示されます

トラブルシューティングをクリックします。



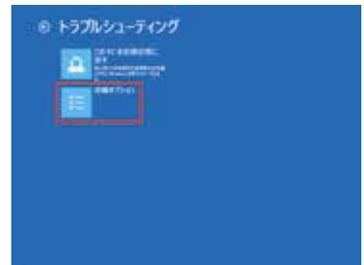
3 「トラブルシューティング」が表示されます

【詳細オプション】をクリックします。

この画面から、下記の操作も行うことができます。

【PCを初期状態に戻す】

この操作を行うと、システムドライブのデータは削除されOSの再インストールが行われます。



4 「詳細オプション」が表示されます

「スタートアップ修復」をクリックします。修復が開始されると、問題を修正するために選択を求めるメッセージが表示される場合や、再起動を求められる場合には、メッセージの内容に沿ってご対応願います。

この画面から、下記の操作も行うことができます。

【システムの復元】

PCに記録された復元ポイントを使ってWindowsを復元します。

【イメージでシステムを回復】

システムイメージのファイルを使ってWindowsを回復します。



5 「スタートアップ修復」が表示されます

修復するWindowsを選択して、スタートアップ修復を開始します。



回復ドライブを作成する / 使用する

Windows に不具合が発生してデジノスカんたんリカバリーやシステムの回復オプションが起動できない場合に備え、「回復ドライブ」を事前に作成しましょう。もしもの際に回復ドライブから起動する事でシステムの回復オプション Windows の再インストールなどを行って、パソコンの改善作業をすることができます。

- Windows の改善作業だけでなく、予め準備した Windows のバックアップイメージを「回復ドライブ」を使用して復元を行なう事ができます。Windows のバックアップイメージの作成方法は、66 ページ「Windows 10 でのバックアップ方法」をご参照ください。
- OS インストールメディアが付属するモデルをご購入いただいている場合、OS のインストールメディアから「システムの回復オプション」を起動することができます
- OS インストールメディアが付属しないモデルをご購入いただいている場合回復ドライブから Windows の再インストールを行うことができます

回復ドライブの作成準備

回復ドライブを作成するときは、それぞれの下記の記憶媒体を用意してください。

回復ドライブ：USB フラッシュメモリー / USB 接続ハードディスク

※ Windows 8.1：4GB 以上、Windows 10：8GB 以上の物

Windows 8 の回復ドライブの作成方法

1 「高度な回復ツール」を起動します

[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → [ファイルの履歴でファイルのバックアップコピーを保存] → [回復] をクリックします。



2 「回復ドライブ」を作成します

USB フラッシュメモリーをスロットに接続し「回復ドライブの作成」を選択して、作成を開始します。作成開始後はメニューに沿って作業を行うことで、回復ドライブの作成は完了します。



作成した回復ディスクはなくさないように、ご注意ください。
また、回復ディスクは複数作ることができます。

回復ドライブを作成する / 使用する

Windows 10 の回復ドライブの作成方法

1 「高度な回復ツール」を起動します

[Windows キー + X キー] → [コントロールパネル] → [ファイルの履歴でファイルのバックアップコピーを保存] → [回復] をクリックします。



2 「回復ドライブ」を作成します

USB フラッシュメモリーをスロットに接続し「回復ドライブの作成」を選択して、作成を開始します。作成開始後はメニューに沿って作業を行うことで、回復ドライブの作成は完了します。

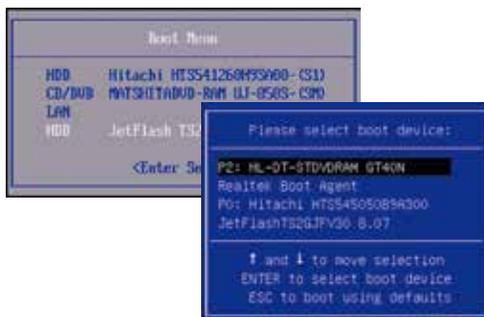


作成したシステム修復ディスクはなくさないようにご注意ください。
また、回復ディスクは複数作成することができます。

回復ドライブの起動方法

Windows に不具合が発生して「システムの回復オプション」が起動できない場合に、予め作成した「システム修復ディスク / 回復ドライブ」から起動して、「システムの回復オプション」を行います。

- ・「システム修復ディスク / 回復ドライブ」を挿入 / 接続を行いパソコンを起動します。
「システム修復ディスク / 回復ドライブ」から起動できない場合は、BootConfiguration や BootMenu で起動ドライブを、光学ドライブや USB フラッシュメモリーに設定して起動します。



回復ドライブを作成する / 使用する

回復ドライブの機能説明

ここでは Windows10 の回復オプションで表示される項目内容を説明します。

1 キーボードレイアウトを選択します

キーボードレイアウトを選択します。



2 オプションの選択

- ① 続行
回復オプションを終了して、Windows を起動します。
- ② デバイスの使用
光学メディアや USB フラッシュメモリーなどから再起動します。
- ③ トラブルシューティング
トラブルシューティングを開きます。
- ④ PC の電源を切る
パソコンの電源を切ります。



3 トラブルシューティングの選択

- ① PC を初期状態に戻す
Windows の初期化を行います。
Windows がインストールされているドライブのデータを消去し、パソコンを購入時の状態に戻します。
- ② 詳細オプション
詳細オプションを開きます。



4 詳細オプションの選択

- ① システムの復元
パソコンに記録された復元ポイントを使って復元を行います。
- ② イメージでシステムを回復
バックアップイメージを使って復元します。
※バックアップイメージを事前に作成する必要があります。
- ③ スタートアップ修復
Windows の起動時に発生する問題を診断して修復を行います。
- ④ コマンドプロンプト
コマンドプロンプトを起動して、作業を行うことができます。
- ⑤ UEFIファームウェアの設定
再起動してマザーボードのUEFI (BIOS) の設定画面を表示します。
- ⑥ スタートアップ設定
Windows のスタートアップ動作を変更します。
[その他の修復オプションを表示] をクリックします。
- ⑦ 以前のビルドに戻す
Windows を以前のビルドに戻します。



デバイスドライバーのインストール

本項では Diginnos パソコンに付属しているデバイスドライバー CD からのインストール例を記載しています。ご購入のモデルやカスタマイズ内容により表示が異なりますが、基本的に同様の手順にてインストールを行いますので、ご参照ください。

各デバイスドライバーは下記の順番でインストールを行います。

① マザーボードのドライバー

マザーボードには各種機能があるため、複数のドライバーをインストールする必要があります。インストールを行う際は、ドライバー CD を起動して表示されるメニューのドライバーを、上から順番にインストールを行ってください。

② ビデオカードのドライバー (ビデオカード搭載モデルの場合)

ビデオドライバー

③ その他のドライバー

(購入時にサウンドカードの追加など、カスタマイズを指定された場合のみ)

再起動時の注意



- ・必ずドライバーをインストールすることに再起動を行ってください。再起動の要求が出ないものも有りますが、手動で再起動を行ってください。
- ・ドライバー CD を光学ドライブにセットした状態で起動すると、Windows が起動できない場合があります。起動できなかった場合は、ドライバー CD を光学ドライブから取り出した状態で起動してください。

ワンポイント

下記の例を参考に必要なドライバー CD を確認してください。
(付属するドライバー CD は、ご購入いただいた機種により異なります)

マザーボードドライバー CD			
【ASRock P55DE3】	【FOXCONN A7G-MS】	【MSI X58Pro】 (Windows XP 用)	【MSI X58Pro】 (Windows Vista 用)
			
ビデオカードドライバー CD		アプリケーション CD	
【PALIT GeForce】	【MSI Radeon】	【LG アプリケーション】	【PC-Doctor アプリケーション】
			

デバイスドライバーのインストール

[X79A-GD65(8D) 等] MSI 社製マザーボードのドライバーインストール例

1 インストールメニューが表示されます

マザーボードドライバー CD を光学ドライブにセットします。CD が自動再生され、ドライバーのインストールメニューが表示されます。

下記の手順に沿ってそれぞれのドライバーをインストールします。



2 Intel チップセットドライバーのインストール

[Intel INF Update] をクリックします。

↓
[次へ] をクリックすると、製品使用許諾契約書が表示されますので良くお読みのうえ、[はい] をクリックします。

↓
[次へ] をクリックするとドライバーのインストールを開始します。

↓
ドライバーのインストールが完了したら「はい、コンピューターを今すぐ再起動します。」を選択、[完了] をクリックして、パソコンを再起動させます。

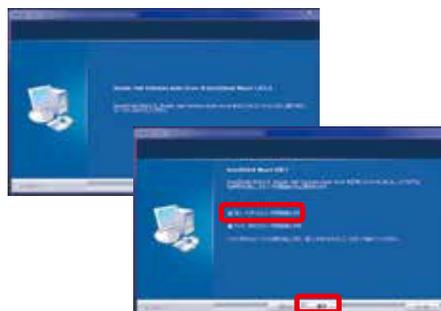


3 Sound ドライバーのインストール

[Realtek HD Audio Driver] をクリックします。

↓
[次へ] をクリックして、ドライバーのインストールを開始します。

↓
ドライバーのインストールが完了したら「はい、コンピューターを今すぐ再起動します。」を選択、[完了] をクリックして、パソコンを再起動させます。



4 LAN ドライバーのインストール

[Realtek PCI Network Driver] をクリックします。

↓
[次へ] をクリックして先へ進み、[インストール] をクリックしてドライバーのインストールを開始します。

↓
ドライバーのインストールが完了したら「はい、コンピューターを今すぐ再起動します。」を選択、[完了] をクリックして、パソコンを再起動させます。



デバイスドライバーのインストール

【P8H61-M 等】 ASUS 社製マザーボードのドライバーインストール例

1 インストールメニューが表示されます

マザーボードドライバー CD を光学ドライブにセットします。
CD が自動再生され、ドライバーのインストールメニューが表示されます。

下記の手順に沿ってそれぞれのドライバーをインストールします。



2 Intel チップセットドライバーのインストール

[INF Driver] をクリックします。



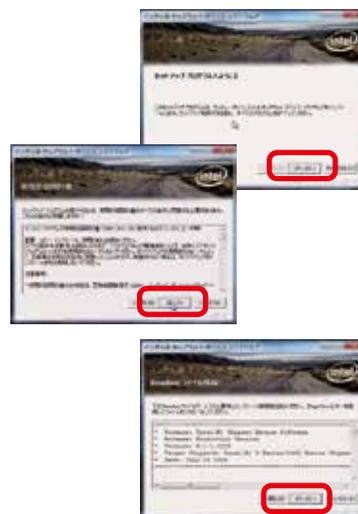
[次へ] をクリックすると、製品使用許諾契約書が表示されますので良くお読みのうえ、[はい] をクリックします。



[次へ] をクリックして、ドライバーのインストールを開始します。



ドライバーのインストールが完了したら「はい、コンピュータを今すぐ再起動します。」を選択、[完了] をクリックして、パソコンを再起動させます。



3 Sound ドライバーのインストール

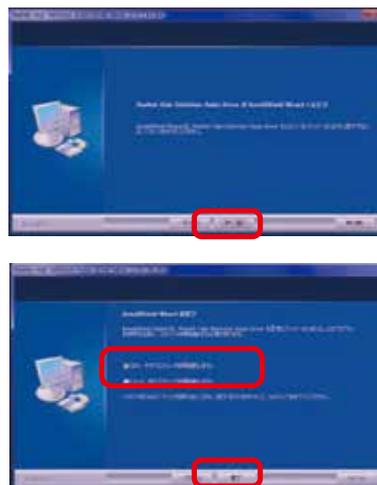
[HD Audio Driver and Application] をクリックします。



[次へ] をクリックして、ドライバーのインストールを開始します。



[[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択、[完了] をクリックして再起動させます。



デバイスドライバーのインストール

4 LAN ドライバーのインストール

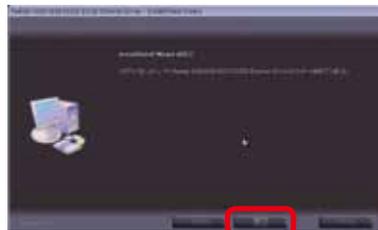
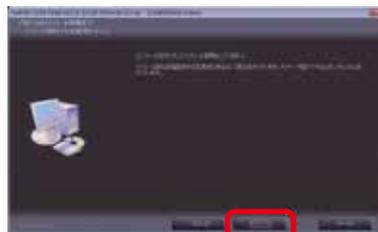
[LAN Driver] をクリックします。



[次へ] をクリックして先に進み [インストール] をクリックしてドライバーのインストールを開始します。



ドライバーのインストールが完了しましたら [完了] をクリックして、ウィンドウを閉じてください。



デバイスドライバーのインストール

[FM2A75M-DGS 等] ASRock 社製 AMD マザーボードのドライバーインストール例

1 インストールメニューが表示されます

マザーボードのドライバー CD を光学ドライブにセットします。CD が自動再生され、ドライバーのインストールメニューが表示されます。

下記の手順に沿ってそれぞれのドライバーをインストールします。



2 AMD チップセットドライバーのインストール

[AMD Chipset Driver] をクリックします。

↓
Catalyst のセットアップが開始されます。

[Earthsim] のチェックを外し、[Next] をクリックしてインストールを開始します。

↓
インストール先フォルダの設定は変更せずに、[Install] をクリックします。

↓
「インストールマネージャを表示する言語の選択」が表示されます。[日本語 (Japanese)] を選択して [次へ] をクリックします。

↓
「実行する操作」から [インストール] をクリックします。

↓
「インストーラへようこそ」が表示されます。
[カスタム] を選択、[次へ] をクリックします。

↓
インストールのカスタマイズが表示されます。
[Free Games Offer, Desk...] [Free Games Offer, STEAM] のチェックを外し [次へ] をクリックします。

↓
エンドユーザーライセンス契約書が表示されます。
内容をお読みのうえ [受け付ける] をクリックします。

↓
インストールが開始され、インストールが完了すると「終了」が表示されます。[終了] をクリックしてパソコンを再起動させます。



デバイスドライバーのインストール

3 Sound ドライバーのインストール

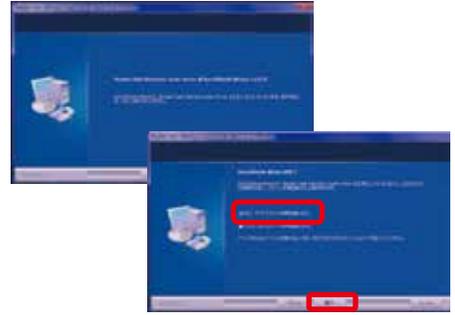
[Realtek HD Audio Driver] をクリックします。



[次へ] をクリックして、ドライバーのインストールを開始します。



[はい、今すぐコンピューターを再起動します。] を選択、
[完了] をクリックして再起動させます。



4 LAN ドライバーのインストール

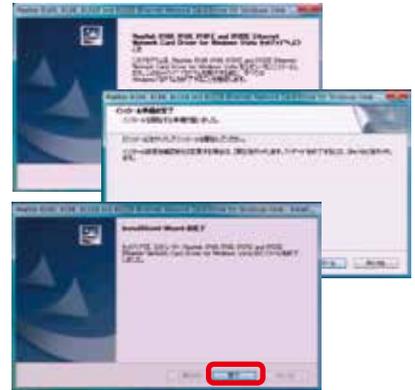
[Realtek 811X LAN Driver] をクリックします。



[次へ] をクリックして先に進み [インストール] をクリックしてドライバーのインストールを開始します。



ドライバーのインストールが完了しましたら [完了] をクリックして、ウィンドウを閉じてください。



[nVIDIA GeForce 等] ビデオカードのドライバーインストール例

一例として PALIT 社のインストールを紹介します。

ビデオカードのドライバー CD を光学ドライブにセットします。

CD が自動再生され、ドライバーのインストールメニューが表示されます。



[Install Drivers] をクリックします。



インストールの手順に沿って作業を進めてください。



インストール完了後、ソフトの手順に沿って OS を再起動させます。



ワンポイント

ビデオカードのドライバーを選択する際は、下記の3点について確認しましょう。

- ・ Windows の種類 (8、7、Vista、XP)
- ・ Windows のシステムの種類 (32bit または 64bit)
- ・ ビデオカードのグラフィックスプロセッサシリーズ

例：GeForce600 シリーズ：GeForceGTX690 ～ GT610

GeForce500 シリーズ：GeForce580 ～ GT520

RadeonHD7xxx シリーズ：RadeonHD7970 ～ HD7750

各種ソフトウェアのインストール手順

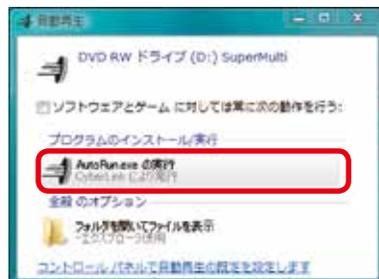
付属する代表的なソフトウェアのインストール手順について説明します。

DVD 再生ソフト及び CD・DVD ライティングソフトのインストール

例として「Power DVD・Nero 7 Essentials」のインストールについて説明します。

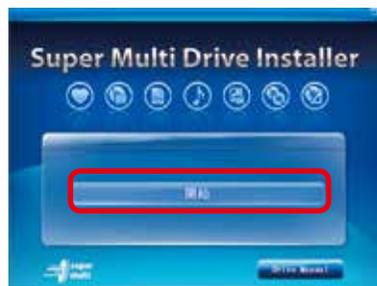
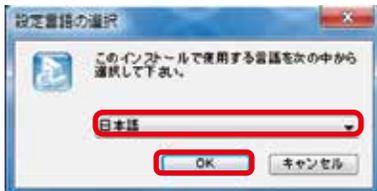
1 インストールメニュー画面が表示されます

- ・インストール CD をドライブに入れます。
(Power DVD・Nero の記載がある CD)
- ・メディアを認識すると「自動再生」のウィンドウが開きますので、[AutoRun.exe の実行] をクリックしてください。インストールメニュー画面が表示されます。



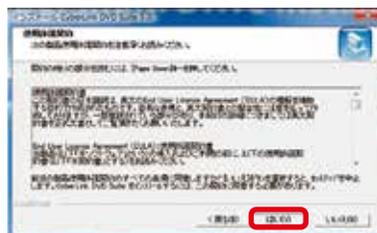
2 インストールを開始します

- ・[開始] をクリックしてください。
- ・設定言語の選択が表示されます。[日本語] を選び[OK] をクリックしてください。



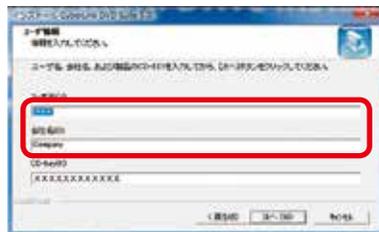
3 「使用許諾契約」が表示されます

内容をお読みのうえ [はい] をクリックしてください。



4 「ユーザー情報」が表示されます

- ・「ユーザー名」を入力してください。
- ・「会社名」を入力してください。(個人使用などの場合は会社名以外で結構です。空欄のままでは[次へ]がクリックできません)
- ・「CD-key/ シリアル番号」は変更せず、そのまま [次へ] をクリックしてください。



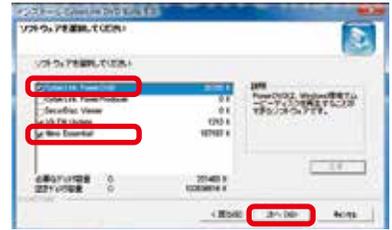
商品によって「CD-key/ シリアル番号」の入力が必要な場合があります。その場合は CD-ROM レーベル面、CD ケースまたは説明書に貼付されているシールに記載の「CD-key/ シリアル番号」を入力してください。

各種ソフトウェアのインストール手順

5 「ソフトウェアを選択してください」が表示されます

インストールするソフトウェアを選択します。

- ・ [Cyberlink Power DVD] のチェックを入れてください。
- ・ [Nero Essential] のチェックを入れてください。
- ・ インストールするソフトウェアの選択が完了したら、[次へ] をクリックしてください。



6 「セットアップステータス」が表示されます

[Cyberlink Power DVD] のインストールが開始されセットアップステータスが表示されます。

インストールが完了すると、「Nero Essential」のインストールが開始されます。



7 「Nero 7 Essentials インストールウィザードへようこそ」が表示されます

[次へ] をクリックしてください。



8 「ライセンス許諾条項」が表示されます

内容をお読みのうえ [ライセンス承諾条項に同意します] にチェックを入れてください。

その後、[次へ] をクリックしてください。



各種ソフトウェアのインストール手順

9 「顧客情報」が表示されます

- ・「ユーザー名」を入力してください。
- ・「組織」を入力してください。(必須ではありません)
- ・「CD-key/ シリアル番号」は変更せず、そのまま[次へ]をクリックしてください。



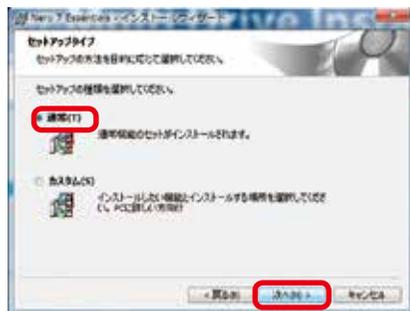
商品によって「CD-key/ シリアル番号」の入力が必要な場合があります。その場合は CD-ROM レーベル面、CD ケースまたは説明書に貼付されているシールに記載の「CD-key/ シリアル番号」を入力してください。



10 「セットアップタイプ」が表示されます

セットアップの種類を選択します。

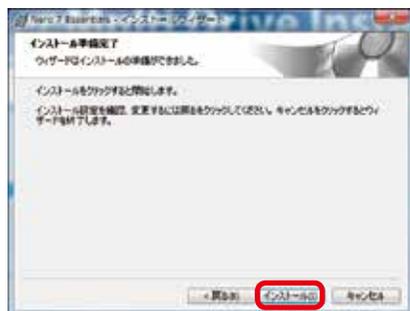
[通常] を選択して、[次へ] をクリックしてください。



11 「インストール準備完了」が表示されます

インストールを開始します。

[インストール] をクリックしてください。



12 「インストールウィザード完了」が表示されます

インストールが完了しましたので、[完了] をクリックしてください。

インストールが完了すると、再起動を求められますので再起動を行ってください。



各種ソフトウェアのインストール手順

PC-Doctor インストール

お買い求めのパソコンにインストールメディアが付属していない場合は、
<http://www.dospara.co.jp/pc-doctor/> よりダウンロードすることができます。

1 PC-Doctor のインストールを開始します

- ・インストール CD を光学ドライブに入れます。
(水色の PC-Doctor と書かれた CD です)
- ・メディアを認識すると「自動再生」のウィンドウが開きますので、[setup menu.exe の実行] をクリックしてください。
[PC-Doctor セットアップ Diginnos ユーザーズマニュアル] メニューが起動します。
- ・メニュー内の「PC-Doctor for Windows をインストール」を、クリックしてインストールを開始します。



2 「PC-Doctor for Windows セットアップウィザード」が表示されます

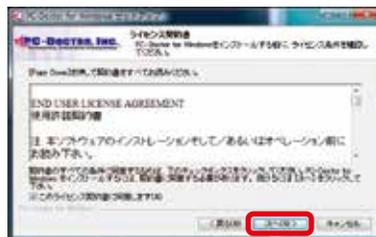
[次へ] をクリックしてください。



3 「ライセンス契約書」が表示されます

内容をお読みのうえ [このライセンス契約書に同意します] のチェックを入れてください。

その後、[次へ] をクリックしてください。



4 「PC-Doctor for Windows セットアップウィザードは完了しました」が表示されます

- ・このまま、PC-Doctor を実行する場合は [PCDoctor for Windows の実行] のチェックを入れた状態で [完了] をクリックして完了してください。

※画面右下に表示されています PC-Doctor のアイコンをクリックすることで、起動する事もできます。



Diginnos パソコンのカバーの開け方

「Diginnos パソコン」内部の作業をする場合

- 内部電子部品の破損を防ぐため、電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いて20秒以上たってから作業を行ってください。
- ケースの角や内部の尖ったところ等でけがをしないよう、必ず防護用手袋を着用し、注意して作業を行ってください。
- 電源を切った直後はパソコン内部に高温になっているパーツがあるため、十分冷めてから作業を行ってください。
- 内部電子部品の破損を防ぐため、ケースなどの金属部分に手を触れて、静電気を逃がしてから作業を行ってください。
- 金属の接点部分には触れないようにしてください。皮脂等が付着することにより、接触不良の原因となります。
- 作業中は電子部品の破損しないよう、注意して作業を行ってください。どんなに小さな部品でも破損すると作動しません。
- 一度に複数の増設は行わず、一つずつ行ってください。

Diginnosパソコンの保証について

Diginnosパソコンの保証は、通常・延長保証あるいはパソコン保険加入に関わらずご購入時の構成であることを原則としております。お客様側で内部構成の変更をされた状態では弊社保証、及び保険適用対象外となります。検証修理をご用命の際には、ご購入時の構成に戻したうえでご依頼ください。

増設・交換作業時の注意

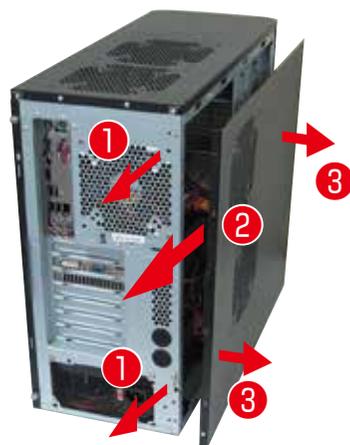
作業中の手違いや過失でパーツやパソコン本体が故障してしまった場合は保証対象外となります。

自分ではできないと感じたら、無理をせずにお買い上げいただいたドスパラ店舗、またはコールセンターまでご相談ください。

※ただし、別途パソコン保険に加入されている商品については作業中の手違いや過失でも保証対象となる場合があります。

KT/KTM ミドルタワーケースのカバーの開け方

- ① パソコンを背面から見て、向かって右側にあるネジを2本外します。
- ② パソコンを背面から見て、向かって右側にあるパネルを背面側へ1～2cm スライドさせます。
- ③ スライドさせたパネルを外側に外します。



Diginnos パソコンのカバーの開け方

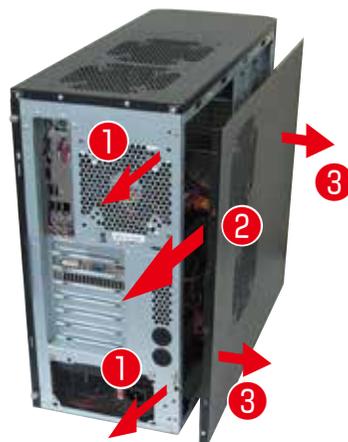
GR one フルタワーケースのカバーの開け方

- ① パソコンを背面から見て、向かって右側にあるネジを2本外します。
- ② パソコンを背面から見て、向かって右側にあるパネルを外側に開きます。
- ③ 開いたパネルを背面側へ外します。



SR598M ミドルタワーケースのカバーの開け方

- ① パソコンを背面から見て、向かって右側にあるネジを2本外します。
- ② パソコンを背面から見て、向かって右側にあるパネルを背面側へ1～2cm スライドさせます。
- ③ スライドさせたパネルを外側に外します。



EA041/EM041 ケースのカバーの開け方

- ① パソコンを背面から見て、向かって右側にあるネジを2本外します。
- ② パソコンを背面から見て、向かって右側にあるパネルを背面側へ1～2cm スライドさせます。
- ③ スライドさせたパネルを外側に外します。



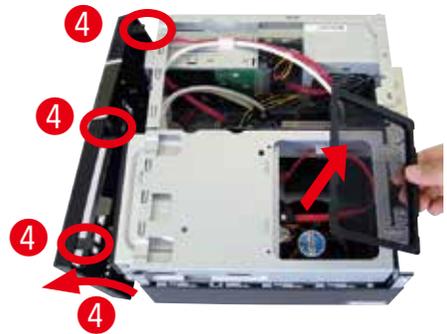
Diginnos パソコンのカバーの開け方

KTS ケースのカバーの開け方

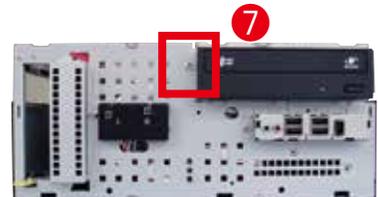
- ① ケース側面の吸気口のある面を上に向けて倒してください。
- ② 背面、上側にあるネジを 2 本外します。
- ③ 吸気口のあるパネルを側面側 (I/O パネルの方) へ 1cm ほどスライドさせた後上に外します。



- ④ フロントパネルの側面 (上側) にある、3ヶ所の爪を外し前面に傾けます。
- ⑤ 傾けた後、フロント方向にずらして外します。
- ⑥ プラスチック製のフィルターを取り外します。



- ⑦ フロント側前面の光学ドライブの左横のネジを外します。

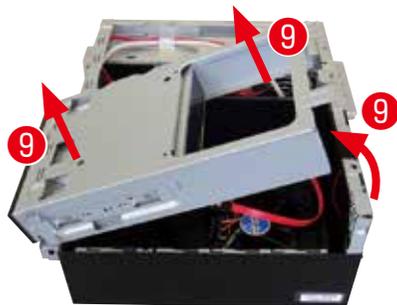


- ⑧ 光学ドライブに接続されているケーブルを外します。



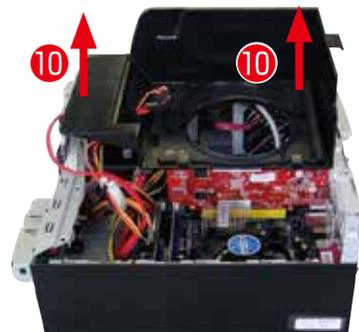
Diginnos パソコンのカバーの開け方

- ⑨ 光学ドライブを固定しているユニットの後ろ側を引き上げて、右の画像と同じ角度でユニット全体を上方向に引き上げて取り外してください。



- ⑩ CPU 周りをカバーしているプラスチックのトレーを上方向に外します。

※プラスチックトレーはモデルにより取り付けられていない場合もございます。



トレーの小窓から引き出されたケーブルが、光学ドライブに接続されています。トレーを外す時にケーブルの取り回しにご注意ください。



ワンポイント

⑨で組外したユニットを組付ける際は、組外した際の角度でユニット前方側の金具(右写真参照)を3ヶ所はめてから後ろ側を下ろします。



BL672 ケースのカバーの開け方

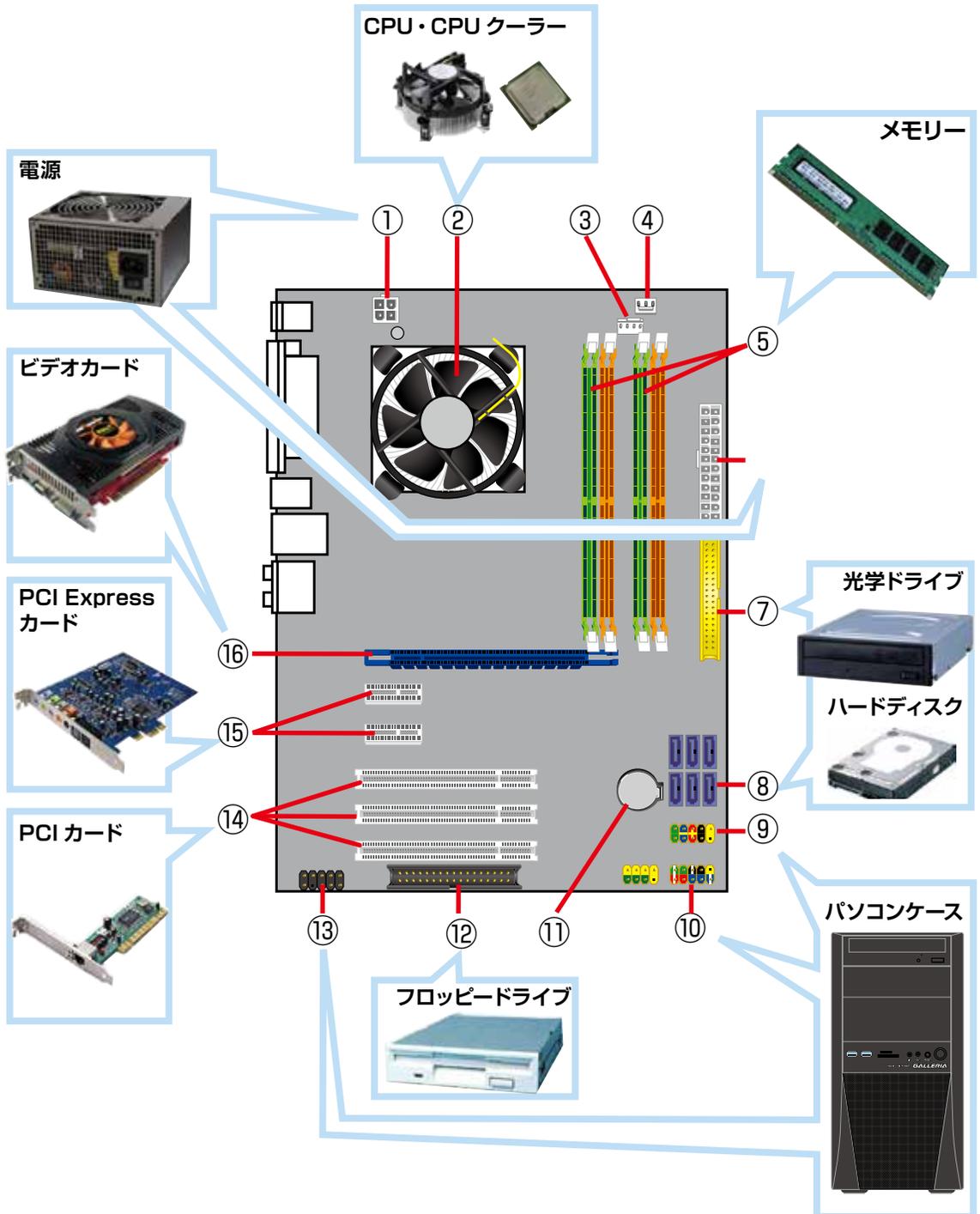
- ① ケース側面の吸気口のある面を上に向けて倒します。
② 背面のネジを4本外します。
③ 吸気口のあるパネルを背面側(I/O パネルの方)へ1～2cmほどスライドさせます。
④ スライドさせたパネルを上側に外します。



内部構成の説明

マザーボードの構成・コネクタについて

下記のマザーボード構成は一例になります。購入時の構成によりマザーボードは変更されますのでご了承ください。



内部構成の説明

① 4ピン電源コネクタ

CPUへ電源供給するための補助電源ケーブルを接続するコネクタです。

※モデルにより8ピン電源コネクタの場合があります。



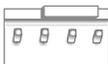
② CPUクーラー

CPUを冷却するためのヒートシンクとファンで構成されています。



③ CPUファンコネクタ

CPUクーラーのファンを接続するためのコネクタです。



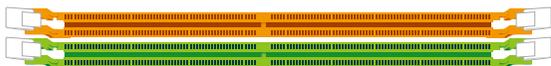
④ システムファンコネクタ

ケース内の換気をするためのファンを接続するコネクタです。



⑤ メモリスロット

メインメモリーを接続するためのコネクタです。



⑥ 24ピン電源コネクタ

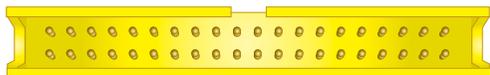
ATX電源のメインコネクタを接続するためのコネクタです。



⑦ IDEコネクタ

IDE接続の内蔵ハードディスクや光学ドライブを接続するためのコネクタです。

別称：PATA(パラレルATA)コネクタ



⑧ SATAコネクタ

S-ATA(シリアルATA)接続の内蔵ハードディスクや光学ドライブを接続するためのコネクタです。



⑨ USBコネクタ

内蔵タイプのカードリーダーやUSBブラケットを接続するためのコネクタです。



⑩ 前面パネルコネクタ

電源スイッチ、リセットスイッチ、電源LED、ハードディスクLED、内蔵スピーカーなどを接続するためのコネクタです。



⑪ BIOS[UEFI]バックアップ電池

CMOSに変更を加えた内容を保持するためのボタン電池です。



⑫ FDDコネクタ

フロッピーディスクドライブを接続するためのコネクタです。



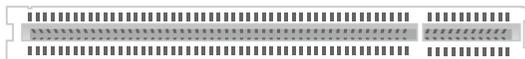
⑬ フロントオーディオコネクタ

本体ケースに付属のマイク端子とスピーカー端子を内部接続するためのコネクタです。



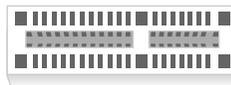
⑭ PCIカードスロット

PCI接続の拡張カードを接続するためのスロットです。



⑮ PCI Express × 1 カードスロット

PCI Express × 1タイプの拡張カードを接続するためのスロットです。



⑯ PCI Express × 16 カードスロット

(ビデオカード)

PCI Express × 16タイプの拡張カードを接続するためのスロットです。主にビデオカードに使用します。



ドライブベイの説明

Diginnos パソコンは、次の図で示されるドライブベイにドライブ等を増設または交換をすることができます。ただし、購入時の構成により使用済みドライブベイの個数が変わり、実際に増設できる数は異なります。

増設の準備をする前に、ドライブベイの状態を確認しましょう。

ドライブベイの状態確認を行う際には、接続先のコネクタや電源ケーブルの接続部分の形状や長さ、具体的な作業方法も確認しましょう。

KT ミドルタワーケース

5 インチベイ× 5 台 (初期 2 台使用済)
3 台増設可能

3.5 インチオープンベイ× 0 台

3.5 インチシャドウベイ× 5 台 (初期 1 台使用済)
4 台増設可能

カバーの開け方は124 ページ「KT/KTM ケース
のカバーの開け方」をご参照ください。



KTM ミニタワーケース

5 インチベイ× 2 台 (初期 1 台使用済)
1 台増設可能

3.5 インチオープンベイ× 0 台

3.5 インチシャドウベイ× 2 台 (初期 1 台使用済)
5 台増設可能

カバーの開け方は124 ページ「KT/KTM ケース
のカバーの開け方」をご参照ください。



ドライブベイの説明

GRone フルタワーケース

5 インチベイ× 3 台 (初期 1 台使用済)
2 台増設可能

3.5 インチシャドウベイ× 8 台 (初期 1 台使用済)
7 台増設可能

カバーの開け方は 125 ページ「GR one フルタワーケースのカバーの開け方」をご参照ください。



SR598M ミドルタワーケース

5 インチベイ× 5 台 (初期 1 台使用済)
4 台増設可能

3.5 インチオープンベイ× 0 台
※ 5 インチ > 3.5 インチベイ変換付属× 2 個

3.5 インチシャドウベイ× 6 台 (初期 1 台使用済)
5 台増設可能

カバーの開け方は 125 ページ「SR598M ケースのカバーの開け方」をご参照ください。



EA041 ミドルタワーケース

5 インチベイ× 3 台 (初期 1 台使用済)
2 台増設可能

3.5 インチオープンベイ× 2 台
1 台増設可能

3.5 インチシャドウベイ× 4 台 (初期 1 台使用済)
3 台増設可能

カバーの開け方は 125 ページ「EA041/EM041 ケースのカバーの開け方」をご参照ください。



ドライブベイの説明

EM041 ミニタワーケース

5 インチベイ× 2 台 (初期 1 台使用済)
1 台増設可能

3.5 インチオープンベイ× 2 台
2 台増設可能

3.5 インチシャドウベイ× 2 台 (初期 1 台使用済)
1 台増設可能

カバーの開け方は 125 ページ「EA041/EM041 ケースのカバーの開け方」をご参照ください。



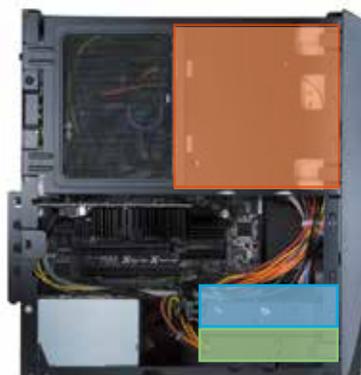
KTS コンパクトケース

5 インチベイ× 1 台 (初期 1 台使用済)
増設できません

3.5 インチオープンベイ× 0 台

3.5 インチシャドウベイ× 2 台 (初期 1 台使用済)
増設できません

カバーの開け方は 126 ページ「KTS ケースのカバーの開け方」をご参照ください。



BL672 スリムケース

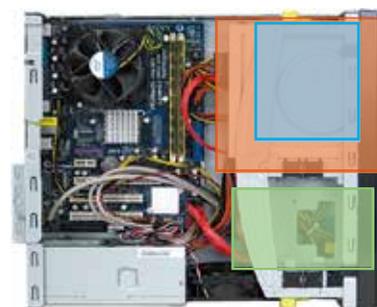
5 インチベイ× 1 台 (初期 1 台使用済)
増設できません

3.5 インチオープンベイ× 1 台
1 台増設可能

3.5 インチシャドウベイ× 1 台 (初期 1 台使用済)
増設できません

※ 3.5 インチオープンベイの下段に、3.5 インチシャドウベイがありますが、ハードディスクの厚さにより搭載できない場合があります。

カバーの開け方は 127 ページ「BL672 ケースのカバーの開け方」をご参照ください。



3.5 インチシャドウベイは
5 インチベイの下にあります

メモリーの増設方法

メモリーの種類について

現在、市場にあるメモリーは大きく分けて DDR2、DDR3、DDR4 SDRAM の3種類です。

DDR2、DDR3、DDR4 のメモリーに互換性はありませんのでご注意ください。また、搭載されている OS・マザーボードによって利用可能なメモリーは異なります。マザーボードのスロット数や搭載可能なメモリーの最大容量を調べたうえで、現在接続されているメモリーと同じ規格・同じ転送速度のメモリーを準備しましょう。参考までに、メモリー名・メモリーバスの表記を記載します。

DDR2 SDRAM

メモリー名	メモリーバスの表記
PC2-3200	DDR2-400
PC2-4300	DDR2-533
PC2-5300	DDR2-667
PC2-6400	DDR2-800
PC2-8500	DDR2-1066

DDR3 SDRAM

メモリー名	メモリーバスの表記
PC3-6400	DDR3-800
PC3-8500	DDR3-1066
PC3-10600	DDR3-1333
PC3-12800	DDR3-1600

DDR4 SDRAM

メモリー名	メモリーバスの表記
PC4-12800	DDR4-1600
PC4-14900	DDR4-1866
PC4-17000	DDR4-2133
PC4-19200	DDR4-2400
PC4-21333	DDR4-2666
PC4-25600	DDR4-3200
PC4-34100	DDR4-4266

種類の見分け方

メモリーには、メモリースロットとの接続部分や左右の側面に切り欠きが入っています。DDR2 SDRAM、DDR3 SDRAM ではこの切り欠きの位置が異なるため、種類や方向を間違えて接続してしまうことはありませんが、間違えた状態で無理に接続すると破損の危険がありますのでご注意ください。



DDR2 SDRAM



DDR3 SDRAM



DDR4 SDRAM

メモリーの再大容量について

メモリーの最大容量は、使用する OS のバージョンおよびパソコン本体内にあるマザーボードの最大容量のうち、どちらか少ないほうで決まります。(表をご参照ください)

マザーボードの最大容量はマザーボードの種類により異なります。詳細はマザーボードメーカーのウェブサイトをご参照ください。

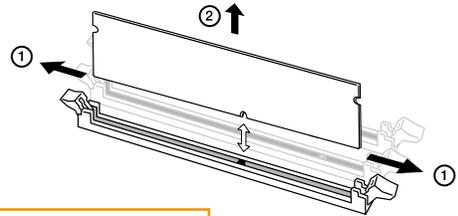
Windows 7	32bit	各エディション	4GB
	64bit	HomePremium	16GB
		Professional	192GB
		Ultimate	192GB
Windows 8.1	32bit	各エディション	4GB
	64bit	無印	128GB
		Pro	512GB
Windows 10	32bit	各エディション	4GB
	64bit	無印	128GB
		Pro	2TB

メモリーの増設方法

メモリーの取り外し方法

- ① メモリースロットの両側にあるクリップを外側へ押し開きます。
- ② メモリーが上に持ち上がってきますので、両端を持ち慎重に引き出します。このとき無理に力を加えないでください。破損の原因となります。

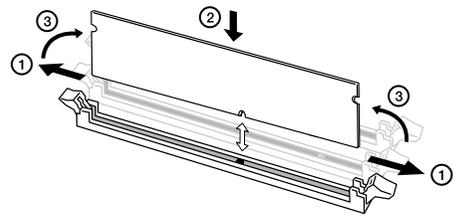
※片側だけのクリップでメモリーが固定されている製品もあります。



メモリーの取り付け

- ① メモリースロットの両側にあるクリップを開いておきます。
- ② メモリーの切り欠きとメモリースロットの突起の向きを確認し、両端をつまむように持ってコネクタの溝へ差し込み、真上から親指でメモリーを押し込むようにして取り付けます。
- ③ クリップをメモリーの両側へはめ込みます。このとき無理に力を加えないでください。破損の原因となります。

※片側だけのクリップでメモリーが固定されている製品もあります。



メモリー取り付け時のご注意

正しく接続されていないと、メモリーやマザーボードを破損させ、発火などの事故につながる場合があります。メモリーを接続するときは次の点にご注意ください。



- メモリーを逆向きに接続しないようご注意ください。特に DDR2 SDRAM メモリーや、DDR3 SDRAM メモリーは、メモリーの向きを確認するための切り欠きが 1ヶ所しかありませんのでご注意ください。
- メモリーをしっかりと接続するには、強く力を入れる必要があります。メモリーの向きをよく確認し、垂直に接続するようにしてください。

ハードディスクの増設方法

ハードディスクを増設するための準備・事前確認事項

ここでは2台目のハードディスクを追加する場合の取り付け方法を説明します。

● 作業前バックアップと増設ハードディスクの準備

大切なデータは作業前にあらかじめバックアップを行ってください。現在ハードディスクはシリアル ATA 接続が主流となっていますので、新規に増設用のハードディスクを準備する際には、シリアル ATA 接続のハードディスクを準備してください。また、古いパソコンのハードディスクを取り付ける場合、UltraATA 接続の場合があります。その場合は接続に IDE ケーブルが必要になりますのでご注意ください。



シリアル ATA ハードディスク



UltraATA ハードディスク

● 電源ケーブルの確認

増設するハードディスク用の電源ケーブルを確認します。使用していない電源ケーブルは結束バンドで束ねていますので、結束バンドをニッパー等で切断して電源ケーブルを使用してください。コネクタに空きがない場合は電源分岐ケーブル等を使用してください。

注意：結束バンドを切断する際に、誤って電源ケーブルを切断しないように注意してください。



● シリアル ATA ケーブルの準備

14 ページ「箱の中身を確認する」で確認した未使用の付属品にケーブルがある場合は使用してください。ない場合は別途ご用意ください。



● ケースのカバーを開ける

- ・電源を切ってください。その後、電源ケーブルや接続されている周辺機器、ケーブル類を全て取り外してください。
- ・124 ページ「Diginos パソコンのカバーの開け方」を参照し、カバーを開ける。
- ・130 ページ「ドライブベイの説明」を参照し、取り付けるための空いているベイを確認します。

● 現在接続されているハードディスクのシリアル ATA ケーブル及び電源ケーブルを外します

増設作業をスムーズに行うため、一旦搭載済みのハードディスクに接続されているケーブルを外します。外したケーブルが判るようにしるしをしましょう。

● それぞれのケースの作業手順に沿って交換してください

GR one フルタワーケース	136 ページ参照
KT/SR598M ミドルタワーケース	140 ページ参照
KTM ミニタワーケース	140 ページ参照
EA041 ミドルタワーケース	141 ページ参照
EM041 ミニタワーケース	142 ページ参照
KTS コンパクトケース	143 ページ参照
BL672 スリムケース	144 ページ参照

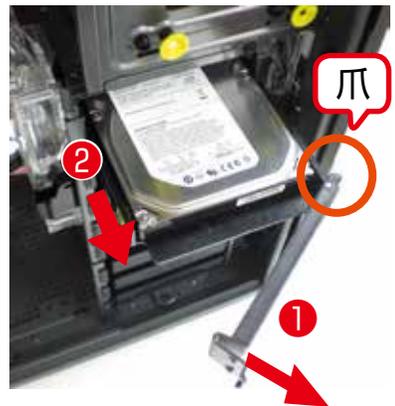
ハードディスクの増設方法

GR one フルタワーケースのハードディスクの増設方法

● シャドウベイを取り外します

ハードディスクトレイは 3.5 インチハードディスクのシャドウベイに収まっています。

- ① ハードディスクトレイの取手に左から指をかけ、ラッチを外します。その際、ラッチの反対側にある「爪」が内側に収まることで固定が外れます。
- ② ①のラッチを外した状態で引き出します。



● ハードディスクトレイに HDD を取り付けます

ハードディスクトレイには、ハードディスクのねじ穴の位置に合わせてピンが立っています。そのピンにハードディスクのねじ穴を合わせてはめ込みます。

- ① ハードディスクの片側をはめ込みます。ハードディスクのネジ穴とハードディスクトレイのピンと位置を合わせて、はめ込みます。
- ② ハードディスクの反対側をはめ込みます。ハードディスクトレイは弾力がありねじることができます。トレイをねじり、ハードディスクのネジ穴にピンを差し込みます。



● 増設ハードディスクを固定します

① ハードディスクを固定したハードディスクトレイを元のレールに差し込みます。その際、先にトレイのラッチ②を閉じないでください。閉じるとラッチの反対側にある「爪」が引っかかり取り付けが不十分になります。

- ② ラッチを押し込みカチッと音がするまで入れます。



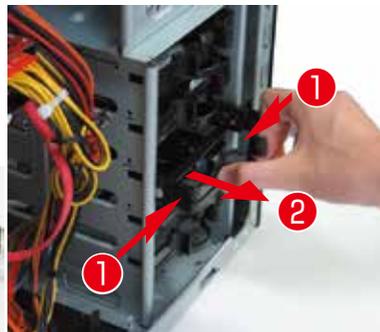
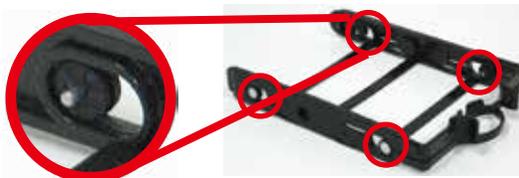
ハードディスクの増設方法

KT / SR 598M ミドルタワーケースのハードディスクの増設方法

● ハードディスクトレイを取り外します

ハードディスクトレイは 3.5 インチハードディスクのシャドーベイに収まっています。

- ① ハードディスクトレイの取っ手を左右からつまみ、ラッチを外します。
- ② ①のラッチを外した状態で引き出します。



● ハードディスクトレイに HDD を取り付けます

ハードディスクトレイには、ハードディスクのねじ穴の位置に合わせてピンが立っています。そのピンにハードディスクのねじ穴を合わせてはめ込みます。

- ① ハードディスクの片側をはめ込みます。
ハードディスクのネジ穴とハードディスクトレイのピンと位置を合わせて、はめ込みます。
- ② ハードディスクの反対側をはめ込みます。
ハードディスクトレイは弾力がありねじることができます。トレイをねじり、ハードディスクのネジ穴にピンを差し込みます。



● 増設用ハードディスクを固定します

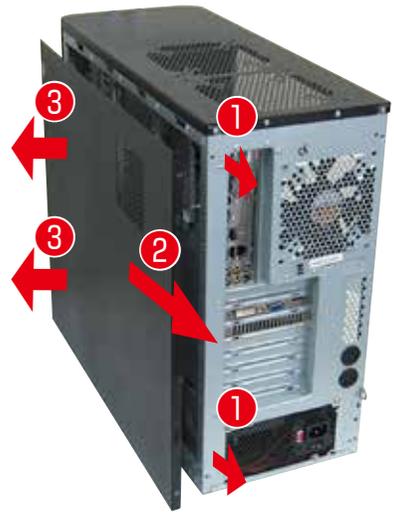
- ① ハードディスクを固定したハードディスクトレイを元のレールに差し込み、カチッと音がするまで入れます。



ハードディスクの増設方法

● パソコンを背面から見て、向かって左側にあるパネルを外します

- ① パソコンを背面から見て、向かって左側にあるネジを 2 本外します。
- ② パソコンを背面から見て、向かって左側にあるパネルを背面側へ 1 ~ 2cm スライドさせます。
- ③ スライドさせたパネルを外側に外します。



● ハードディスクにケーブルを接続します

ハードディスクを差しこんだのとは逆側に、接続コネクタがありますので、こちら側から接続します。



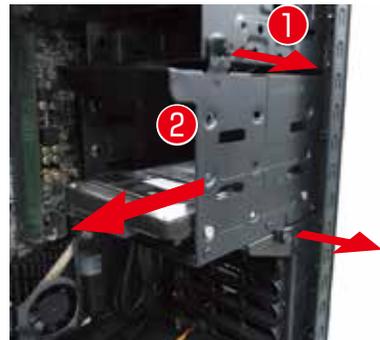
ハードディスクの増設方法

KTM ミニタワーケースのハードディスクの増設方法

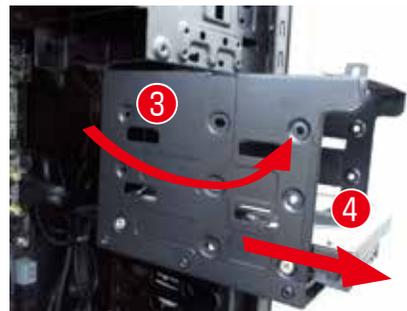
● シャドウベイを取り外します

ハードディスクトレイは 3.5 インチハードディスクのシャドウベイに収まっています。

- ① シャドウベイを固定している手回しネジを外します。
- ② シャドウベイを後ろ側にずらしてロックを外します。
※メモリーや CPU クーラーと当たってしまう場合は、取り外してから作業を行ってください。

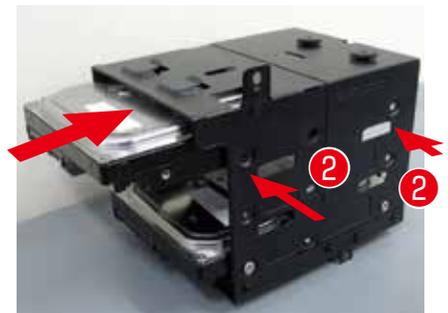


- ③ シャドウベイを手前から 90 度回します。
- ④ シャドウベイを引き抜きます。



● 増設用ハードディスクを固定します

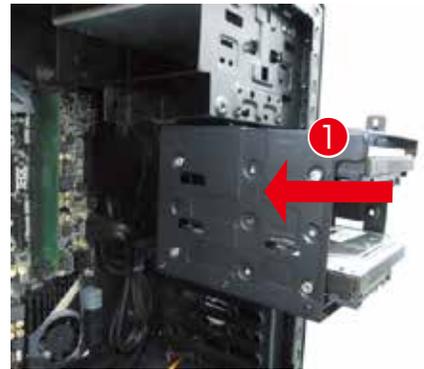
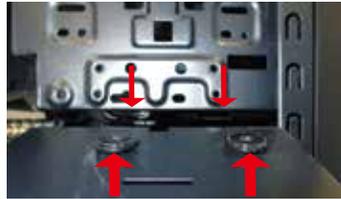
- ① ハードディスクのラベル面を上向きにして挿入します。
- ② ハードディスクのネジ穴とネジ位置が合うように調整して、左右から 2 本ずつネジで固定します。



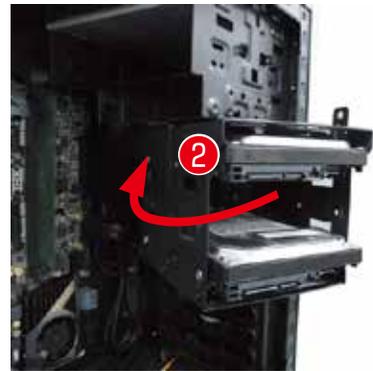
ハードディスクの増設方法

● シャドウベイを取り付けます

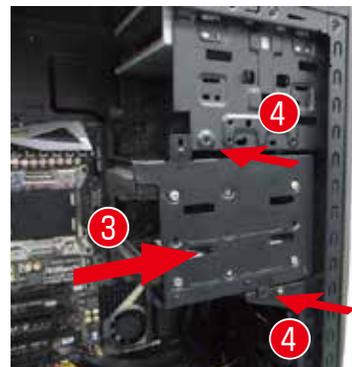
- ① シャドウベイの上にあるボタン状の突起をレールに合わせてはめ込みます。



- ② シャドウベイを奥側に 90 度回します。



- ③ シャドウベイをフロント側にずらしてロックします。
- ④ シャドウベイを手回しネジでケースに固定します。



ハードディスクの増設方法

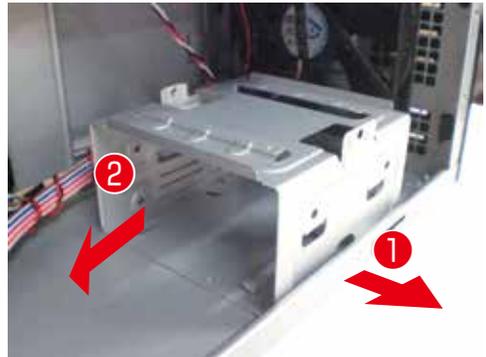
EA 041 ミドルタワーケースのハードディスクの増設方法



本体中段にあるシャドウベイへの増設方法は EM 041 と同じです。詳しくは 142 ページをご確認ください

● シャドウベイを取り外します

- ① シャドウベイの固定ネジを外します。
- ② シャドウベイを取り外します。シャドウベイはケースにガイドで止まっていますので、②矢印の向きにスライドさせます。



● 増設ハードディスクを固定します

- ① 増設ハードディスクを取り付けます。ハードディスクのラベル面を上向きにして挿入します。
- ② 増設ハードディスクをネジで固定します。ハードディスクのネジ穴とネジ位置が合うように調整します。左右から 2 本ずつネジで固定します。



● シャドウベイの取り付けます

- ① シャドウベイを差し込みます。ケースとシャドウベイのガイドを合わせ挿し込みます。
- ② シャドウベイを固定します。シャドウベイをネジでケースに固定します。



ハードディスクの増設方法

EM 041 ミニタワーケースのハードディスクの増設方法

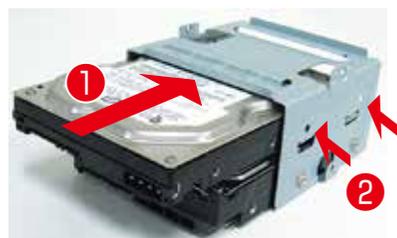
● シャドウベイを取り外します

- ① シャドウベイを固定しているネジを外します。
- ② シャドウベイを取り外します。シャドウベイはケースにレールで差し込まれていますので、手前に引き出します。



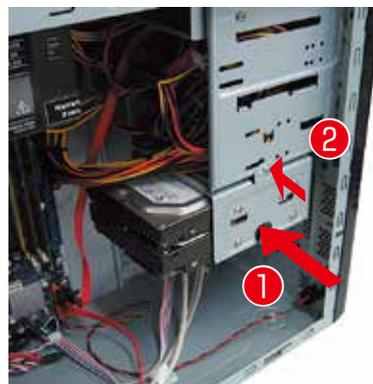
● 増設ハードディスクを固定します

- ① 増設ハードディスクを取り付けます。ハードディスクのラベル面を上向きにして挿入します。
- ② 増設ハードディスクをネジで固定します。ハードディスクのネジ穴とネジ位置が合うように調整します。左右から2本ずつネジで固定します。



● シャドウベイを取り付けます

- ① シャドウベイを差し込みます。ケースとシャドウベイのレールを合わせ取り付けます。
- ② シャドウベイを固定します。シャドウベイをネジでケースに固定します。

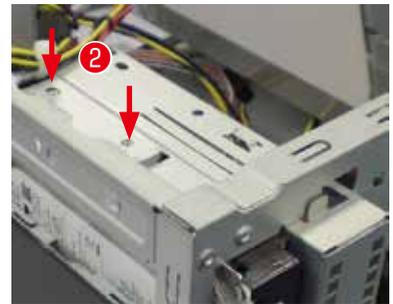
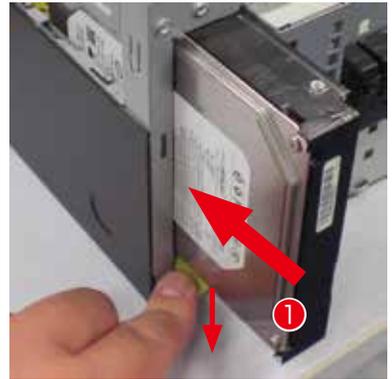


ハードディスクの増設方法

KTS コンパクトケースのハードディスクの増設方法

● 増設ハードディスクを 3.5 インチオープンベイに固定します

- ① 増設ハードディスクを挿入します。
 - ・パソコンを横に倒します。
 - ・ハードディスクのラベル面を左向きにし、黄色のストッパーを押し下げた状態でハードディスクを挿入します。
- ② 増設ハードディスクをネジで固定します。
 - ・ハードディスクのネジ穴とネジ位置が合うように調整します。上から 2 本のインチネジを使用して固定します。
 - ・固定が完了したら 145 ページ「ハードディスクを接続する」を参照し、シリアル ATA ケーブルと電源ケーブルを接続してください。



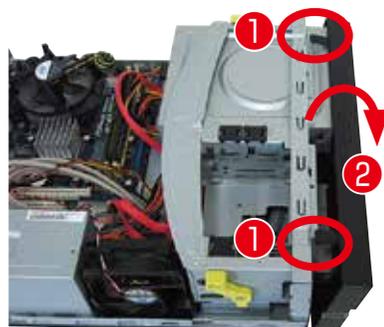
インチネジ

ハードディスクの増設方法

BL672 スリムケースのハードディスクの増設方法

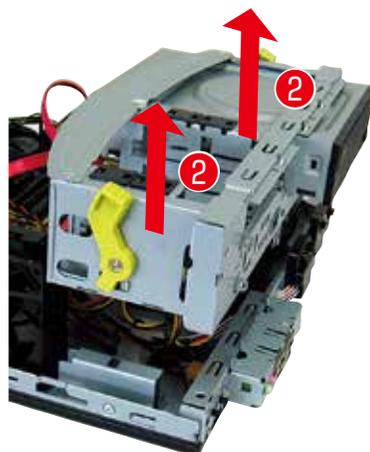
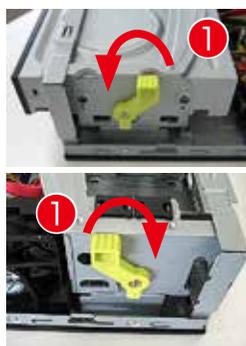
● フロントパネルを取り外します

- ① フロントパネルを取り外します。
フロントパネルの側面（上側）にある 2 ヶ所の爪を外します。
- ② ①の爪めを外した状態でフロントパネルを前面に傾けて取り外します。



● ドライブユニットを取り外します

- ① ドライブユニットのロックを外します。
左右にある黄緑色のレバーをフロント側に倒してロックを外します。
- ② ドライブユニットを取り外します。
ロックの外れたドライブユニットを上へ引上げ取り外します。



● 増設ハードディスクをネジで固定します

- ① 増設ハードディスクを差し込みます。
空いている 3.5 インチベイにハードディスクのラベル面を上向きにして挿入します。
- ② 増設用ハードディスク側面 2 本のネジ穴で固定します。ハードディスクのネジ穴と側面ネジ穴の位置を合わせインチネジで固定します。



ワンポイント

- ③ 番の項目で取り外したドライブユニットを戻す際に位置を固定するためのガイドピンがあります。
そのピンに合わせてドライブユニットを固定します。

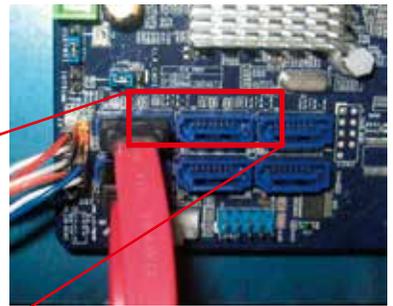


ハードディスクの増設方法

ハードディスクを接続する

● ケーブルを接続する

- ① 新しいシリアル ATA ケーブルをマザーボードのシリアル ATA のコネクタに接続します。コネクタには番号が割り振られていますので、印刷されている数字の若い空きコネクタから接続します。



- ② ハードディスクのコネクタにシリアル ATA ケーブル・電源ケーブルを接続します。



● Windows でのハードディスク設定

ハードディスク接続後に Windows にてハードディスクの設定を行います。146 ページ「パーティションの設定方法」をご参照ください。

交換作業時の注意

- ラッチ付きシリアル ATA ケーブルの注意
必ずラッチ部を押しながら、ケーブルを抜いてください。
※そのまま抜くとコネクタの破損の可能性があります。



- シリアル ATA ケーブルの取り扱い時の注意
コネクタ部分をつまみ抜き差しを行ってください。
※ケーブルを引っ張って抜くと破損の原因となります。



- ハードディスク取り扱い時の注意
ハードディスクの底面は、基盤が露出しています。誤って素手で触らないようにしましょう。



パーティションの設定方法

パーティションを設定する

ハードディスクを増設した場合、そのままではご利用できません。

Windows のディスクの管理からパーティションの設定を行うことにより、使用できる状態になります。

● パーティション設定前の準備

作業中の事故などでデータが損失・損傷すると復旧することができなくなります。

大切なデータは、作業前に必ずバックアップをお取りいただいでから、作業を行ってください。

● パーティションの設定方法

① 「ディスクの管理」を表示します。

Windows 8.1 または Windows 10 の場合

[Windows キー +X キー] → [ディスクの管理] をクリックします。

Windows 7 の場合

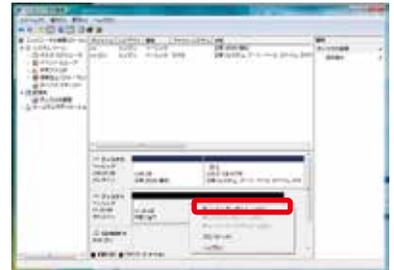
[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [ハードディスク パーティションの作成とフォーマット] をクリックします。

② パーティションの設定を行うハードディスクを確認します。(今回の例では「ディスク 1」です)

[未割り当て] の部分を右クリックして [新しいシンプルボリューム] をクリックします。

③ 「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」が表示されます。

- ・ [次へ] をクリックし画面の手順に沿って進めます。「ボリュームサイズの指定」が表示されたらシンプルボリュームサイズを指定して [次へ] をクリックします。
- ・ 次に「ドライブ文字またはバスの割り当て」と「パーティションのフォーマット」が表示されます。通常は設定を変更せずに [次へ] をクリックして「新しいシンプルボリュームウィザード」を完了します。



ワンポイント

・ パーティションの分割方法

ドライブを分割したい場合は、分割するハードディスク容量を [ボリュームサイズの指定] で入力してください。

残りのドライブは、今回の [新しいシンプルボリュームウィザード] の完了後に、残っている [未割り当て] の部分を指定して同様に設定を行います。



光学ドライブの交換方法

光学ドライブを交換するための準備・事前確認事項

光学ドライブの交換をする場合の作業方法を説明します。

● 事前準備

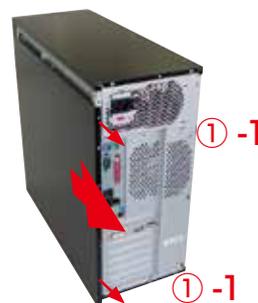
- ① 大切なデータは作業前にあらかじめバックアップを行ってください。
- ② ライティングソフト等がインストールされている場合はソフトをアンインストールしてください。
Windows 7
 - ・ [スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] をクリックします。
 - ・ 「プログラムのアンインストールまたは変更」が表示されたら、ご使用のライティングソフトを選択し、[アンインストールと変更] をクリックします。
 - ・ ライティングソフトを削除します。
- ③ 新しい光学ドライブに付属のライティングソフト等がある場合はインストールしてください。
- ④ 必ず電源ケーブルをコンセントから抜き、接続機器を外した後に、広い場所に移動してから作業を行ってください。

● 光学ドライブの交換

- ① 「Diginnos パソコン」を背面から見て、向かって左側にあるパネルを外します。
 1. 背面で固定しているネジを 2 本外します。
 2. パネルを後ろへ 1 ~ 2cm スライドさせ、外側に外します。
※ BL マイクロケース、GW スリムケース、JD コンパクトケースでは、左側のパネルは外しません。
- ② 光学ドライブに接続されているシリアル ATA ケーブルと電源ケーブルを外します。
※ ケーブル接続がテープで補強されていますので、テープを剥いてからケーブルを外してください。
- ③ ケースの両側で固定しているネジを 4 本外します。
※ BL ケースの場合正面から見て左側のネジを 2 本外します。
- ④ 光学ドライブをケース前方に引き抜きます。
※ BL ケースの場合は、取り外した光学ドライブの右側に特殊ネジ(写真参照)が留まっています。このネジを新しい交換用のドライブに付け替えてください。



- ⑤ 光学ドライブを搭載する際は、上記の逆の手順で作業します。



ビデオカードの交換方法

ビデオカードを交換するための準備・事前確認事項

ここではビデオカードを交換する場合の作業方法を説明します。

● 事前準備

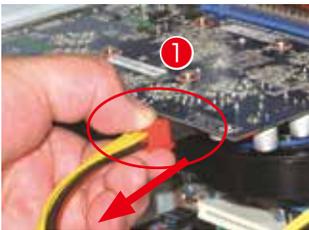
- ① 大切なデータは作業前にあらかじめバックアップを行ってください。
- ② 今まで使っていたドライバーを削除します。

Windows 7

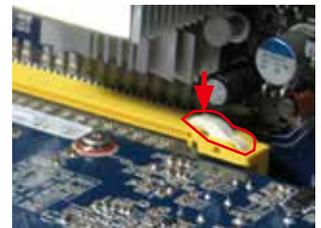
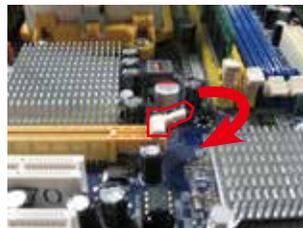
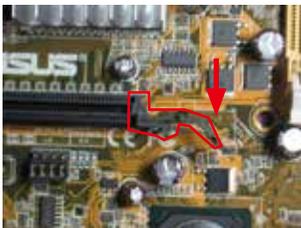
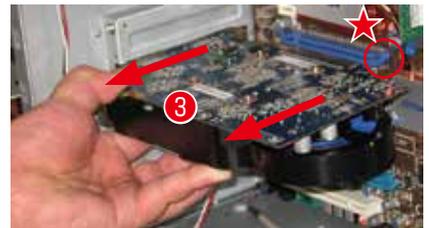
- ・ [スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] をクリックします。
 - ・ 「プログラムのアンインストールまたは変更」が表示されたら、[nVIDIA Drivers] を選択し、[アンインストールと変更] をクリックします。
 - ・ nVIDIA Display Driver を削除します。
- ③ 必ず電源ケーブルをコンセントから抜き、接続機器を外して、広い場所に移動して作業してください。

● ビデオカードの取り外し

- ① ビデオカードに補助電源が接続されている場合は外してください。電源コネクタは抜け防止のため、爪がついています。爪の手前をつまみ、ロックを外した状態で抜いてください。



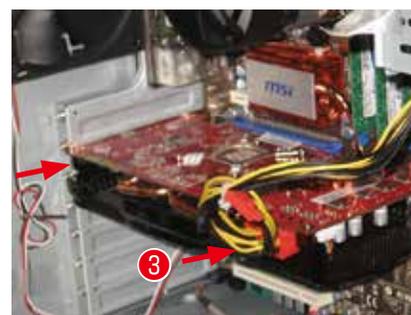
- ② ケースへ固定されているネジを外します。
- ③ 抜け防止ロックを外しビデオカードを引き抜きます。ロック(★)を外さずに作業を行うと、破損の危険があります。ロックには何種類かありますので、下記の写真を参考に外してください。



ビデオカードの交換方法

● ビデオカードの取り付け

- ① 新しいビデオカードを接続します。
- ② ビデオカードをネジで固定します。
背面側のブラケットとケースを固定します。
- ③ ビデオカードの補助電源を接続します。
ビデオカードには補助電源コネクタが付いている場合があります。
ある場合は電源ケーブルを接続します。



ビデオカードには6ピン×1、6ピン×2や8ピンの補助電源コネクタを必要とする製品があります。

電源ユニットによってビデオカードの補助電源コネクタの形状や数が異なりますので、ビデオカードの購入前にご確認ください。



● ビデオドライバーのインストール

118 ページ「ビデオカードのドライバーインストール例」を参照し、インストールしてください。

パソコンの清掃について

パソコンを使用していると、空気中のホコリがパソコン内部に侵入して、ファンや基板に付着していきます。そのままの状態でご利用された場合、ヒートシンク(放熱板)のフィン(羽)の隙間にホコリがたまってエアフロー(空気の流れ)が邪魔されてしまい冷却を妨げたり、ファンにホコリが絡まることで、ひどい場合には熱で部品を破損してしまう場合もあります。また、ホコリと湿気の組合せは回路がショートする原因にもなりますので、定期的にパソコンを清掃しましょう。

ご自身でパソコン内部を触った経験がない方はドスpara全店及びデジノスサポートセンターにて有償クリーニングを承ります。

詳しくは下記のURL、近隣のドスparaまたはデジノスサポートセンターまでご相談ください。

<http://www.dospara.co.jp/clin>

作業中の故障について

作業中のミスなどでパーツやパソコン本体が壊れてしまった場合は、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。自分ではできないと感じたら、無理をせずにデジノスサポートセンターまでご相談ください。

清掃前準備

- ・大切なデータなどは、作業開始前にバックアップをお取りください。
- ・パソコンを終了して、電源を切ってください。
その後、接続されている周辺機器やケーブルを全て取り外してください。
- ・内部の温度が下がるまで放置してください。(約 15 ~ 30 分)
- ・体内に溜まった静電気で故障させないよう、作業を行う前に金属(ドアノブなど)に触れてください。
- ・124 ページ「Diginnos パソコンのカバーの開け方」を参照し、カバーを開けてください。
- ・清掃の際にエアスプレーでホコリを吹き飛ばすと、周囲や空気が汚れます。
マスクを付けて、換気の整った場所で行いましょう。

外装の清掃

パソコンの外装の汚れは、中性洗剤を染み込ませた柔らかい布をよく絞り、拭き取ってください。キーボード、マウスの外装も同様に行ってください。カードリーダーのスロットは、ホコリがたまりますので、エアスプレーで吹き飛ばしてください。



ベンジンやシンナーなどで拭かないでください。
製品の変質や塗装が剥げる原因となります。



電源ケーブルの清掃

ホコリなどは定期的に取り取ってください。
電源プラグやコンセントにホコリがたまると、火災の原因となります。

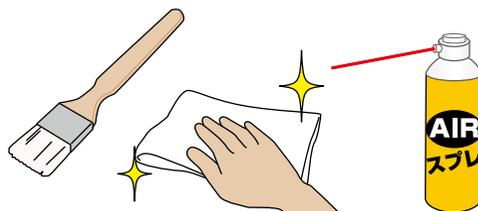


パソコンの清掃について

吸気・排気口（メッシュ部分）の清掃

パソコンは前面や側面から吸気し、背面から排気します。そのため、吸気・排気口のメッシュ部分にホコリがたまりやすくなります。

乾いた柔らかい布で取り除いたり、エアースプレーで吹き飛ばしてください。毛先の柔らかい「はけ」などを使うのも効果的です。



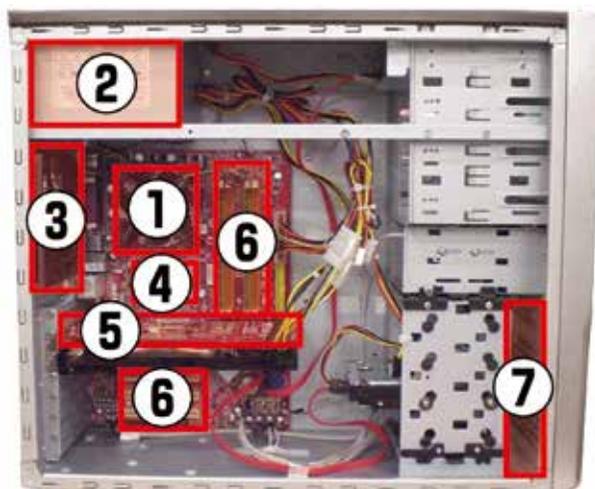
ケース内部の清掃

パソコン内部はファンから吸気を行うため、ホコリがたまりやすくなります。たまっているホコリはエアースプレーで吹き飛ばして清掃します。

特に下記の部分にホコリがたまりやすいので注意してください。

- ① CPU ファン
- ② 電源
- ③ ケースファン
- ④ マザーボードチップセットファン
- ⑤ ビデオカードファン
- ⑥ メモリー・PCI スロット
- ⑦ フロントパネル側の吸気口

清掃の際にビデオカードの取り外しが必要な場合は 148 ページ「ビデオカードの交換方法」をご参照ください。



ワンポイント

ケーブルやパーツを外す前に、デジタルカメラなどで撮影しておく、接続する時の参考になります。

作業時の注意事項

- ・ホコリが多いたまっている場合、吹き飛ばしたホコリがファンに絡まり動作を妨げる場合があります。絡まってしまった場合は綿棒や爪楊枝などで取り除いてください。
- ・エアースプレーでファンの清掃を行う場合、指などでファンを押さえて回転しない状態で清掃してください。ファンを空回りさせると、破損の原因となります。



作業後の注意事項

内部清掃を行うと、ケーブルやカードの接続が緩んでしまう場合がありますので、作業後はケーブルやビデオカード、メモリーなどが緩んでいないか確認してください。また、電源を入れた際に起動しない等の不具合が発生した場合は、内部の接続を再確認してください。確認しても改善されない場合は、デジノサポートセンターまでご相談ください。

困ったときは

はじめに

「故障かな?」と思っても落ち着いて調べてみましょう。パソコン本体の故障ではなく、ソフトウェアや、周辺機器・増設機器に問題が発生している場合もあります。本項目の内容を確認して解決法がないか確認しましょう。

1 画面にエラーメッセージ等が表示されていませんか?

表示されている場合、正確にメモしましょう。(デジタルカメラなどで撮影しておくとう便利です) デジノスサポートセンターにお問い合わせの際に役に立ちます。メッセージ以外にもエラー音(ピーと言う電子音)や、発生状況(どのソフトや作業をしている時に発生したのか)をできるだけ詳しくメモしましょう。

2 不具合の発生前に、ソフトウェアのインストールや周辺・増設機器の追加をしていませんか?

該当するものがあつた場合は、取り付けが正しく接続されているか確認しましょう。それでも改善しない場合は、接続した機器を一旦取り外してご購入時の状態に戻し確認しましょう。

3 ソフトウェア実行中に問題が発生した場合

ソフトウェアのマニュアルを参照したり、ソフトウェアのサポートセンターに相談してみましょう。解決法が見つかるかもしれません。

4 該当項目を探しましょう

本項目の手順に沿って確認してください。

「Diginnos ユーザーズマニュアル (PDF)」の「パソコントラブル解決手順」には、本書より多くの解決手順がありますので確認してみましょう。

※ Diginnos ユーザーズマニュアルは弊社ウェブサイトからダウンロードしてください

<http://www.dospara.co.jp/manual>

マニュアル
ダウンロード
QRコード⇒



5 パソコン故障診断で診断してみましょう

弊社ウェブサイトのパソコン故障診断にて、診断を行い改善方法を行ってみましょう。

<http://www.diginnos.co.jp/spt/check>

携帯電話で閲覧する場合は携帯用パソコン故障診断をご利用ください。

<http://www.diginnos.co.jp/spt/check/mob>

モバイル診断
QRコード⇒



6 オンラインFAQで該当項目を探しましょう

弊社ウェブサイトのFAQにて、よくあるご質問の解決案や対応方法を掲載しています。

<http://www.diginnos.co.jp/spt/faq>

FAQ
QRコード⇒



7 デジノスサポートセンターへ相談しましょう

上記を確認しても改善できない場合は、デジノスサポートセンターまでご相談ください。連絡先は裏表紙「サポート案内」をご参照ください。また、お問い合わせの際は購入時の書類や「Diginnos 製造番号」(本書 12 ページ「箱の中身を確認する」をご参照ください)をお手元にご用意の上で連絡ください。



1. 「異音が生じた」、「焼けたような匂いが生じた」などの場合はすぐに電源を切り電源ケーブルをコンセントから抜いてください。故障やけがの原因となります。
2. パソコンのケースを開けて内部をチェックする時は、ケースパネルの角やピンなどでけがをしないように充分注意してください。
3. パソコンのケースを開けて内部をチェックする時は、決して無理をしないで「ご自分でできる範囲」でチェックを行いましょ。
4. お客様の取り付けミスなどによる不具合の場合は、保険に加入されている場合を除き、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。
5. 改造など弊社規定の使用法以外でご利用されて不具合が発生した場合は、保証期間内でもサポートを承れない場合があります。

困ったときは

不具合対処一覧		ページ
困ったときは	はじめに	152
	用語の説明	154
パソコントラブル 解決手順	電源が入らない	155
	作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる	156
	インターネットにつながらなくなった	157
パソコントラブル FAQ (BIOS[UEFI] ～ Windows 起動 前)	ディスプレイに何も表示されない	160
	「Reboot and Select proper boot device or Insert Boot Media in Selected Boot device and press a key」と表示されて、先に進まない	160
	「BOOTMGR is missing Press CTRL + ALT +DEL to restart」と表示されて、先に進まない	161
	「S.M.A.R.T. Status BAD, Backup and Replace Press F1 to Resume」と表示されて、先に進まない	161
パソコントラブル FAQ (Windows 起動後)	音が出ない (サウンドの設定)	162
	画面がにじむ・画面の比率がおかしい (画面の解像度設定)	163
	増設したハードディスクやフラッシュメモリーが認識されない (記憶装置のフォーマット)	163
	Blu-ray・地上波デジタル放送の視聴ができない	163
パソコントラブル FAQ(ハードウェア)	光学ディスク (CD-ROM、DVD など) が取り出せなくなった	164
	時計が合っていない	164
	夏場など、暑い時期に頻繁にフリーズする (パソコンが停止して操作不能になる)	164
	増設後起動しなくなった	165
パソコントラブル FAQ (その他)	特定の文字が入力できない (キーボード操作について)	166
	プロダクトキー入力が正しく行えない	166
	フラッシュメディアの安全な取り外しを行うと、カードリーダーが認識しなくなる	166
	コンピューターのプロパティに表示されるメモリー容量が搭載容量より少ない	166
	ハードディスクの空き容量を確かめるには	167
	ハードディスクの容量が広告の表示よりも少ない	167
	漢字入力ができない	167
改善のための 操作方法	プログラムのアンインストール	168
	タスクマネージャー	168
	システムの復元	169
	Windows をセーフモードで起動する	169
	バックアップ電池の交換方法	170
ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」簡易操作方法		171
デジノサポートセンターよりお客様へ		175

困ったときは

用語の説明

「困ったときは」で使用する一部用語を説明します。

● BIOS (バイオス、Basic Input/Output System) UEFI (ユーイーエフアイ、Unified Extensible Firmware Interface) とは

パソコンの土台となるマザーボードというパーツに入っている、ハードウェアの認識などの基本的な操作を行っているソフトウェアです。

● OS (オーエス、Operating System) とは

基本的な機能を提供し、コンピューターシステム全体を管理するソフトウェアです。現在一般的なものに Microsoft 社製の Windows シリーズと Apple 社製の Mac OS シリーズがあります。

● ブルースクリーンとは

Windows でシステムにエラーが発生した場合に起こる、青い画面に白い文字列でエラーメッセージが表示される画面です。ブルースクリーンはソフトウェア・ハードウェアそれぞれに不具合が発生した場合以外にも、ソフトウェアとハードウェアの相性で発生する場合があります。

● フリーズ (Freeze) とは

パソコンの動作が停止し、「操作できなくなった」「固まってしまった」「ハングアップした」状態を表します。フリーズはソフトウェア・ハードウェアそれぞれに不具合が発生した場合や、ソフトウェアとハードウェアの相性、電源不足で発生する場合があります。

● 熱暴走とは

半導体部品が排熱不良や過剰負荷などの原因で異常発熱し、正常に動作しない状態を指します。冷却ファンなどにホコリが堆積することで発生する場合があります。

● ハードウェア (Hardware) とは

光学ドライブ、ハードディスク、マザーボード、本体ケース、冷却ファンなどのパソコンを構成しているパーツ (部品) のことです。

● ソフトウェア (Software) とは

パソコンはハードウェア (パソコン本体) だけでは動作しません。基本ソフトウェアが必要です。また、様々な作業をさせるために、必要に応じたアプリケーションソフトをインストールする必要があります。

基本ソフトウェア：オペレーティングシステム (Windows、Mac OS、UNIX など)

アプリケーションソフト：ワープロソフト、表計算ソフトなど

● インストール (Install) とは

パソコンに OS やアプリケーションソフト、デバイスドライバーなどソフトウェアの設定を行い、プログラムを実行できる状態にすることです。

● アンインストール (Uninstall) とは

コンピューターにインストールされたアプリケーションソフトを削除し、インストール前の状態に戻すことです。

● ドライバー (Driver) とは

OS 上で各種パーツを正常に動作させるためのソフトウェアです。ドライバーをインストールしていない場合や正常に動作していない場合には、音がでなかったり、インターネットに接続ができません。

パソコントラブル解決手順

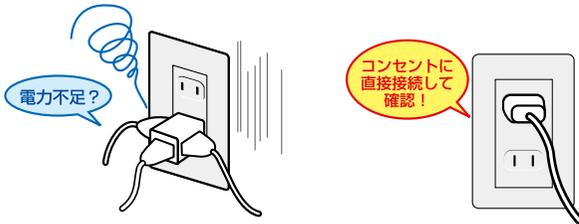
電源が入らない

① 電源環境・ケーブル接続の確認

たこ足配線や延長コードなどをご利用の場合には電力の供給が不安定になり、正常に起動しない場合があります。

電源ケーブルを壁のコンセントに直接つないで起動するか確認してみましょう。

また、本書 21 ページ「各部の名称と接続方法」を参照し、接続状態の再確認を行いましょう。



② 増設機器の取り外し

増設機器が接続されている場合に、組み合わせの相性により正常に起動しない場合があります。ディスプレイ・キーボード・マウス・電源ケーブル以外の周辺機器（外付けのハードディスクや USB フラッシュメモリーなど）や、増設された機器（内蔵のキャプチャーカードなど）がある場合は、取り外した状態で正常に起動するか確認してみましょう。



③ 内部接続の確認

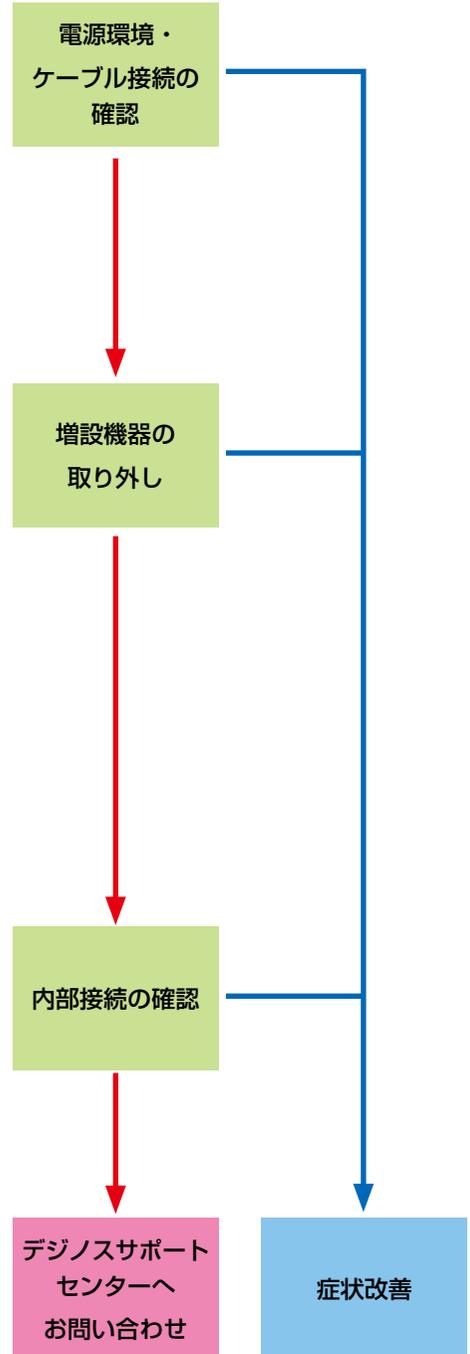
お客様にてメモリーの増設や清掃などの内部作業が行われている場合、内部の電源ケーブルやメモリー、ビデオカードなどの、接続に緩みがないか確認しましょう。

参照：Diginnos ユーザーズマニュアル 124～148 ページ
「パソコンのカバーの開け方」～「ビデオカード交換方法」



パソコンのケースを開けての内部の作業となりますので、お客様ご自身の作業が可能な場合にのみ行ってください。作業により破損された場合には、保証期間であっても保証対象外となります。

解決した場合 →
解決しない場合 →
作業が困難な場合 →



パソコントラブル解決手順

作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる

操作ができない状況になってしまった場合には、あわてて電源を切ったりむやみにマウスのボタンやキーボードのキーを押したりせず、5分ほど放置してください。なんらかのメッセージが表示された場合はメッセージを書きとめてください。

状況が変わらず改善しない場合は、本書 29～31 ページ「Windows 7/8.1/10 がフリーズして終了操作ができないとき」をお読みいただき「タスクマネージャー」を確認してください。それでも変わらない場合は、電源スイッチを4秒以上長押しして電源を切ってください。

① 電源環境・ケーブル接続の確認

② 増設機器の取り外し

本書 155 ページ「電源が入らない場合①②」を確認してみましょう。

③ セーフモード

Windows を最低限必要な機能だけで起動するモードです。セーフモードで Windows が起動するか確認してみましょう。

参照：Diginnos ユーザーズマニュアル 169 ページ
「Windows をセーフモードで起動する」

④ システムの復元

Windows のシステムを不具合が発生する前の状況に戻す機能です。セーフモードで起動ができた場合には、システムの復元を行うことで改善されるか確認してみましょう。

参照：Diginnos ユーザーズマニュアル 169 ページ
「システムの復元」

⑤ Windows の初期化

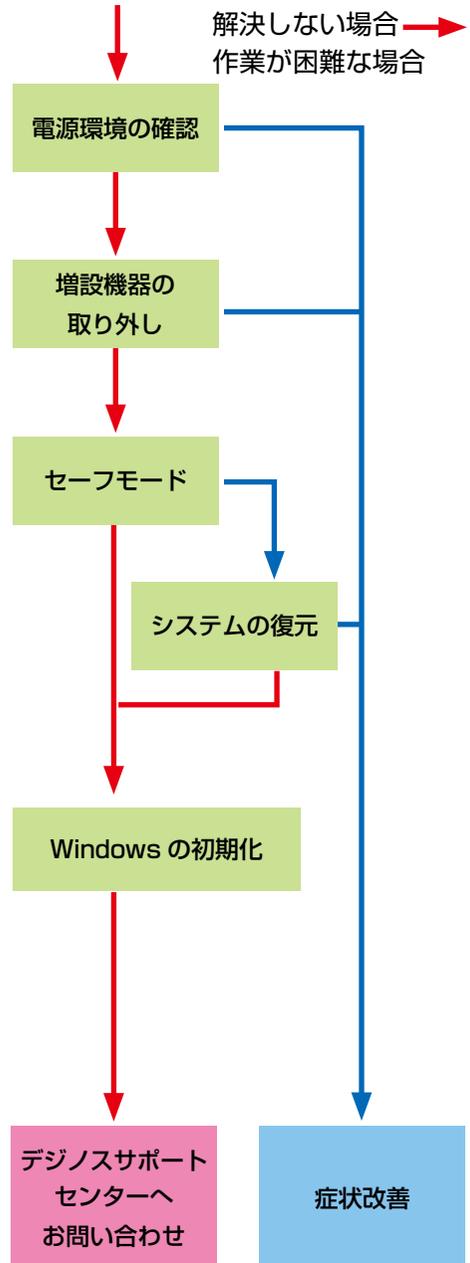
Windows を購入時の状態に戻します。Diginnos かんたんリカバリーなどを行い、Windows を初期化しましょう。

参照：本書 73 ページ「Windows の初期化方法」



Windows の初期化を行うと、データは全て削除されますので、あらかじめご了承ください。

解決した場合 →
解決しない場合 →
作業が困難な場合 →



パソコントラブル解決手順

インターネットにつながらなくなった

急にインターネットにつながらなくなる場合には、いろいろな原因が考えられます。ここでは一般的な改善案をご案内します。

なお初めてインターネットの設定をされる方は、49ページ「インターネット接続」を参照して設定をしましょう。

① LAN ケーブル接続の確認

LAN ケーブルの接触不良や LAN ケーブル自体の不具合が原因となっている場合があります。

ルーター・モデム側とパソコン側の両方のケーブルを接続し直すことで改善されるか確認してみましょう。

LAN ケーブルを複数お持ちの場合は、別の LAN ケーブルを接続して確認してみましょう。

なお無線をご利用の場合は、まず有線で接続してインターネットに接続できるか確認してみましょう。

② ネットワーク接続環境の確認

ルーター・モデムに複数のパソコンを接続していると、システムが競合してインターネットに接続できない場合があります。

他のパソコンも接続している場合には一時的に取り外し、つながらないパソコンだけを接続してみましょう。

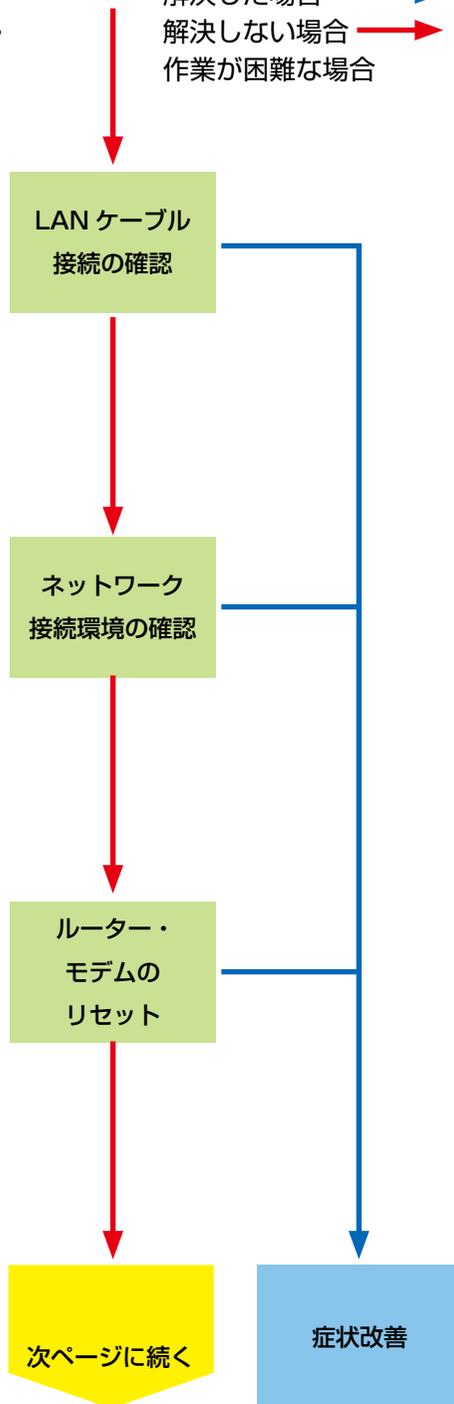
③ ルーター・モデムのリセット

ルーター・モデムの設定に不具合が発生している場合があります。

ルーター・モデムの取扱説明書を確認して、設定をリセットしてみましょう。

また、リセットを行っても設定が残ってしまう場合がありますので、接続している機器を全て取り外して、ルーター・モデムの電源を入れ直してみましょう。

解決した場合 →
解決しない場合 →
作業が困難な場合 →



パソコントラブル解決手順

④ 導入ソフトウェアの確認

インストールしたソフトウェアが原因となっている場合があります。

インターネットにつながらなくなる直前に、インストールしたソフトウェアがある場合には、一旦削除してみましょう。

⑤ ファイアウォールの確認

Windows のファイアウォールが誤作動している場合があります。

ファイアウォールを一時的に無効にすることでインターネットに接続できるか確認してみましょう。

接続できた場合には、別途ファイアウォールやセキュリティソフトを導入し、ウイルスやスパイウェアからデータを守りましょう。

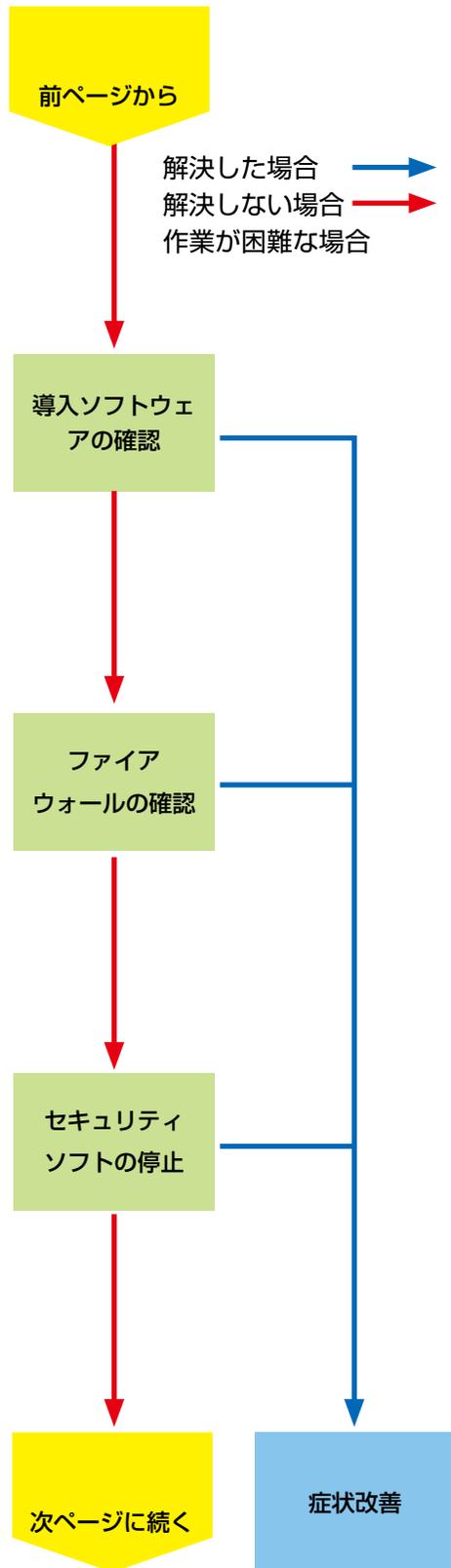
参照：52 ページ「① ファイアウォールを有効にします」

⑥ セキュリティソフトの停止

ウイルススキャンソフトなどのセキュリティソフトを利用している場合、インターネットの接続を妨げられることがあります。

セキュリティソフトを一時的に停止することで、インターネットに接続できるか、確認してみましょう。

セキュリティソフトの停止方法については、ソフトウェアの発売元にお問い合わせください。



パソコントラブル解決手順

⑦ プロバイダーに確認

ご利用のプロバイダーによっては特別な設定が必要な場合や、インターネットの回線自体に不具合が発生している場合もあります。

ご利用になっているプロバイダーのサポートまで、設定や回線状態などについて確認してみましょう。

⑧ ネットワークドライバーの入れ直し

ネットワークに接続するためには、ネットワーク機器を動作させるためのソフトウェア（ネットワークドライバー）が正常に動作している必要があります。

ネットワークドライバーがインストールされていない場合や、正常に動作していない場合にはインターネットに接続できません。

ネットワークドライバーはパソコン付属のマザーボード用ドライバー CD に入っています。

参照：114 ページ「デバイスドライバーのインストール」

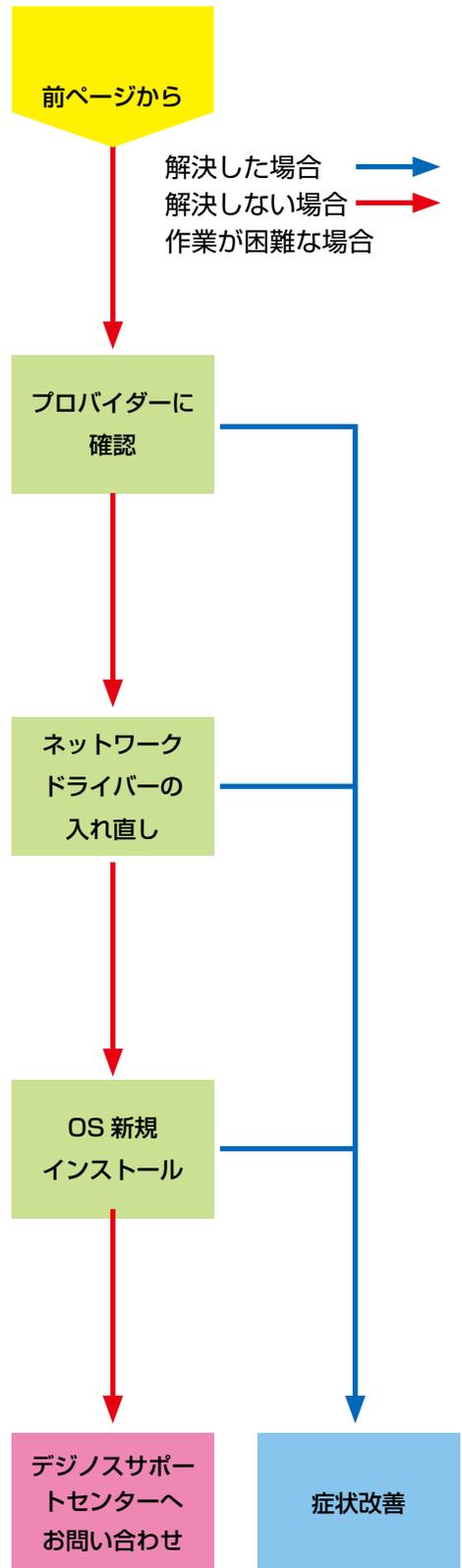
⑨ OS 新規インストール

Windows をインストールし直して、Windows を購入時の状態に戻します。

参照：72 ページ「OS インストール前準備」



OS の新規インストールを行うと、データは全て削除されますので、あらかじめご了承ください



■ ディスプレイに何も表示されない

初めてパソコンを起動した際にディスプレイに何も表示されない場合や「No Signal」と表示されて真っ暗になってしまう場合は、パソコンとディスプレイの接続を誤っている場合があります。

25 ページ「ディスプレイを接続する」を参照して接続を確認し、正常に表示されるか確認してみましょう。

また、ディスプレイによっては映像入力の切替ボタンを押したり、特殊な設定が必要なものがあります。ディスプレイの取扱説明書を確認したり、ディスプレイのメーカーサポートに設定方法を確認してみましょう。



■ 「Reboot and Select proper boot device or Insert Boot Media in Selected Boot device and press a key」と表示されて、先に進まない

「再起動するか、適切な起動デバイスを選択または起動メディアを挿入した状態で、何かキーを押してください」という内容です。

この症状が発生する主な原因として、起動デバイスであるハードディスクの中に、起動できる OS が入っていない場合があります。

・ OS をインストールしていない場合

72 ページ「OS インストール前準備」を参照してインストールしましょう。

・すでに OS をインストールしている場合

下記手順で改善されるか確認してみましょう。

1. 電源環境の確認・増設機器の取り外し
155 ページ「電源が入らない①②」を確認してみましょう。
2. 光学ドライブにディスクが入っている場合は取り出します。
3. OS のシステムファイルが壊れている場合があります。
72 ページ「OS インストール前準備」を参照して OS をインストールし直しましょう。
改善されない場合にはハードウェア不具合の可能性が考えられます。
その場合は、デジノスサポートセンターまでお問い合わせください。



パソコントラブルFAQ (BIOS[UEFI]~Windows起動前)

■ 「BOOTMGR is missing Press CTRL + ALT +DEL to restart」と表示されて、先に進まない

「BOOTMGRが見つかりません。CTRL + ALT + DEL を押して再起動してください。」という内容です。BOOTMGRはWindowsの起動時に必要なプログラムです。

この症状が発生する主な原因として、Windowsのシステムファイルが破損している場合があります。

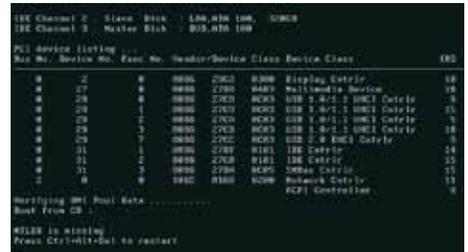
105ページ「Windows 7 スタートアップ修復」 / 107ページ「Windows 8.1の自動修復」 / 109ページ「Windows 10 スタートアップ修復」を参照してOSを修復してみましょう。

■ 「S.M.A.R.T. Status BAD, Backup and Replace Press F1 to Resume」と表示されて、先に進まない

S.M.A.R.T.とはSelf-Monitoring, Analysis and Reporting Technologyの略で、ハードディスク障害の早期発見・故障の予測を目的としてハードディスクに搭載されている機能です。

この症状が発生した場合には、ハードディスク自体の故障の可能性が考えられます。

再起動を行っても症状が改善されない場合は、裏表紙「サポート案内」をご参照のうえ、デジノスサポートセンターまでお問い合わせください。



パソコントラブル FAQ (Windows 起動後)

■ 音が出ない (サウンドの設定)

● サウンドを出力するための機器を接続していますか？

Diginnos パソコンはスピーカーを内蔵していません。音響機器を接続していない場合には音が出ませんので、スピーカーやヘッドホンなどを接続して音声が出るか確認してみましょう。



● ミュートに設定されていませんか？

音量設定の音量レベルが低かったり、ミュートに設定されている場合があります。右下のタスクトレイから音量調節ツール (スピーカーマーク) をクリックして起動し、確認してみましょう。

- ・ 音量ミキサのミュートボタンにチェックが入っている場合には、チェックボックスをクリックしてミュートを解除しましょう。音量レベルが低く設定されている場合には、レベルを上げてみましょう。

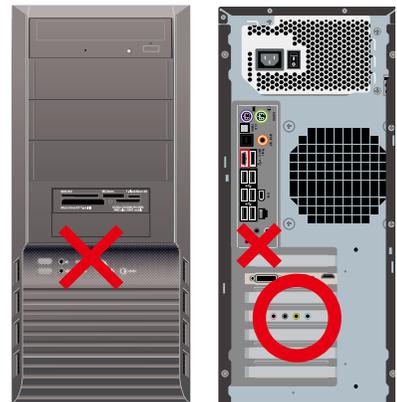


● サウンドカードを搭載していますか？

サウンドカード搭載モデルの場合、スピーカー端子が 2 ヶ所にあります。オンボードのスピーカー端子ではなくサウンドカードのスピーカー端子にスピーカーやヘッドホンを接続する必要があります。フロントサウンド入出力端子に接続しても音は出ませんのでご注意ください。

● HDMI 接続をしていますか？

Diginnos パソコンは HDMI から映像のみ出力し、音声が出力されていないモデルがあります。HDMI 接続で音声が出ない場合は、28 ページ「スピーカーを接続する (I/O パネルエリア)」を参照してスピーカーやヘッドホンを接続してください。



パソコントラブル FAQ (Windows 起動後)

■ 画面がにじむ・画面の比率がおかしい (画面の解像度設定)

画面表示がにじんでいたり、比率がおかしい場合には、ご利用のディスプレイに適切な解像度に設定されていない場合があります。

47 ページ「画面解像度の設定」を参照して接続を確認し、正常に表示されるか確認してみましょう。

■ 増設したハードディスクやフラッシュメモリーが認識されない (記憶装置のパーティションの設定)

ハードディスクやフラッシュメモリーなどの記憶装置には、パーティションの設定を行わないと認識されない製品があります。

増設直後にコンピューターのアイコンをひらいて、増設したドライブが表示されていない場合には、146 ページ「パーティションの設定方法」を参照してパーティションの設定を行い、正常に表示されるか確認してみましょう。

■ Blu-ray・地上波デジタル放送の視聴ができない

Blu-ray や地上波デジタル放送の視聴するためには、環境を調える必要があります。

下記の環境を確認してください。

● ビデオカードやディスプレイは HDCP 対応の製品を使用していますか? Blu-ray 地上波デジタル

HDCP とは、デジタルコンテンツの著作権保護技術です。Blu-ray・地上波デジタル放送を視聴するためには、対応のビデオカードとディスプレイをデジタルインターフェース (DVI・HDMI 等) で接続する必要があります。

● サウンドを出力するための機器を接続していますか? Blu-ray 地上波デジタル

出力環境がそろっている必要があります。スピーカーやヘッドホンを接続してください。

● AACS キーの入手・更新は行っていますか? Blu-ray

AACS (advanced access content system) で著作権保護された Blu-ray コンテンツの再生には、AACS キーが必要です。

また、定期的に更新が必要です。期間の目安は 15 ヶ月～18 ヶ月になります。AACS キーの入手・更新には、インターネットに接続できる環境が必要です。インターネット接続をしている状態で再生をしてください。

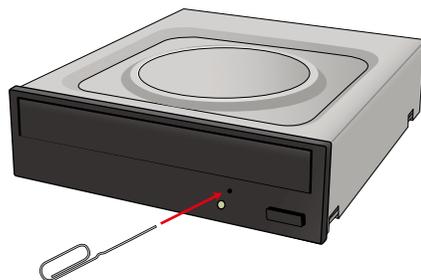
パソコントラブル FAQ (ハードウェア)

■ 光学ディスク (CD-ROM、DVD など) が取り出せなくなった

アプリケーションのエラーなどの原因で光学ディスクが取り出せなくなったときは、「コンピューター」内にある、光学ディスクドライブを示すアイコンを右クリックして、「取り出し」をクリックしてください。

それでも取り出せないときは、長さ 4cm 程度の細い針金 (大きめのペーパークリップを伸ばしたものなど) を用意して、以下の手順でディスクを取り出してください。

1. パソコンの電源を切ります。
2. パソコン本体前面にあるディスクドライブのディスクトレイ付近にある、直径 2mm ぐらいの小さな穴に、用意した針金を少し力を入れて押し込みます。
3. ディスクトレイが 1cm 程度出てきますのでトレイを静かに引き出し、ディスクを取り出し、ディスクトレイを静かに押し戻して閉めます。



■ 時計が合っていない

パソコンとはいえ、精密機械ですので時間がずれることもあります。時間がずれるとファイル保存のときやメールの送受信の時間もずれてしまいますので、定期的に合わせましょう。

1. 時間が表示されているところをダブルクリックして、「日付と時刻」を表示します。
2. 「日付と時刻の変更」をクリックします。
3. 「日付と時刻の設定」が開きますので、日付と時刻の設定を行い、「OK」をクリックします。

時計を合わせてもすぐにずれてしまう場合、バックアップ電池が切れてしまっている場合があります。交換方法は 169 ページ「バックアップ電池の交換方法」をご参照ください。



■ 夏場など、暑い時期に頻繁にフリーズする (パソコンが停止して操作不能になる)

パソコンパーツの多くは動作時に発熱します。パソコンを使用する部屋の気温が高すぎる、通風口をふさいでしまう、CPUクーラーにホコリがたまり冷却を妨げてしまうなどの要因によりパソコン内部の冷却が十分に行えず、内部温度が過剰に上昇し、正常動作に適さない温度に達します。温度上昇によるフリーズや、正常に動作しなくなる状態をパソコンが熱暴走を起こすといえます。

1. 5 ページ「安全のために」を参照してケースの周りを確認しましょう。
2. 150 ページ「パソコンの清掃について」を参照し、ケースのホコリを掃除しましょう。



パソコントラブル FAQ (ハードウェア)

■ 増設後起動しなくなった

増設作業等を行った後に起動しない場合は、下記の内容を確認しましょう。

- **増設したパーツを取り外して増設前の構成に戻してください。**
増設したパーツの不具合や電源容量不足、接続に問題がある場合があります。
- **主電源スイッチは入っているか確認してください。**
作業時に切った主電源スイッチを入れ忘れていませんか。
- **各パーツの接触不良がないか、接続状態を確認してください。**
パソコン内部での作業を行った場合、作業していない部分の接続が緩んでしまっている場合があります。
 - ・電源ケーブルが奥まで接続されているか確認してください。
 - ・マザーボードに接続するケーブル類が緩んでいないか確認してください。
 - ・メモリーが緩んでいないか確認してください。
 - ・ビデオカードの補助電源が緩んでいないか確認してください。
 - ・ビデオカードが緩んでいないか確認してください。
 - ・マザーボードの前面パネルコネクタに接続するケーブルが緩んでいないか確認してください。

パソコントラブル FAQ (その他)

■ 特定の文字が入力できない (キーボード操作について)

通常の入力画面で入力できないキーがある場合には、42 ページ「キーボードの使い方」を参照して、キーにロックがかかっていないか、別のキーと組み合わせる必要があるか確認しましょう。



■ プロダクトキー入力が正しく行えない

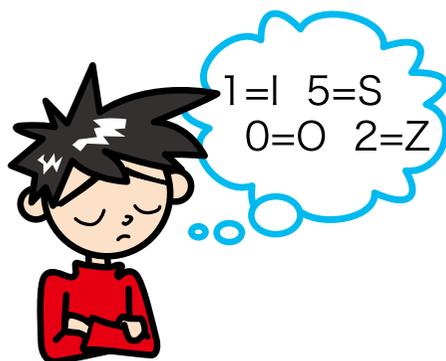
プロダクトキーの入力画面で特定のキーが入力できない場合や、「プロダクトキーが無効です」と表示される場合には、誤った文字を入力されている可能性があります。

プロダクトキーの入力画面では、使用されない文字は入力できません。

使用されない数字 [1、5、0]

使用されない文字 [A、E、I、L、N、O、S、U、Z]

またプロダクトキーの文字は小さいため、[6]と[G]、[8]と[B]など、見間違えやすい文字もありますので、17 ページ「プロダクトキーの確認」を参照して確認してみましょう。

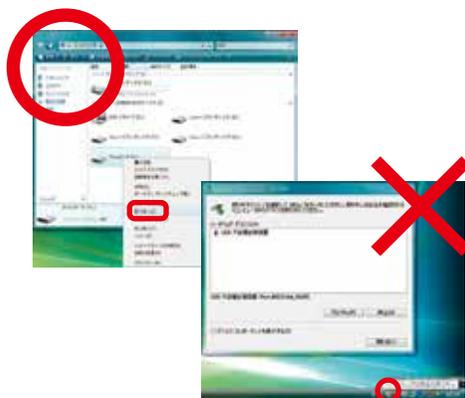


■ フラッシュメディアの安全な取り外しを行うと、カードリーダーが認識しなくなる

本体に内蔵されているカードリーダーは一つのUSBカードリーダーとして認識されています。

タスクトレイにあるハードウェアの安全な取り外しで、このカードリーダーを取り外すとカードリーダー自体を取り外したことになり、再起動するまで認識されなくなります。

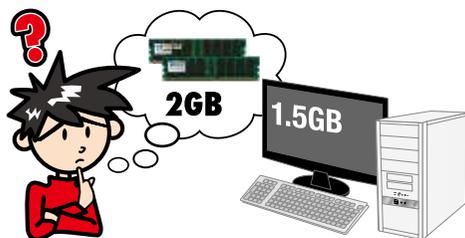
カードリーダーに挿入したメディアを取り外す場合には、[スタート]から[コンピューター]をクリックし、該当ドライブを右クリックして[取り出し]を行いましょう。



■ コンピューターのプロパティに表示されるメモリー容量が搭載容量より少ない

チップセット内蔵ビデオを使用するモデルの場合、メインメモリーから最大 512MB をビデオメモリーとして使用します。

コンピューターのプロパティに表示される容量は、メインメモリーからビデオメモリーとして動画再生や 3D 描画に使用する容量を差し引いた容量となります。



パソコントラブル FAQ (その他)

■ ハードディスクの空き容量を確かめるには

空き容量を確かめるには、[コンピューター]をクリックして開き、確かめたいフロッピーディスクやハードディスクを右クリックして開いたメニュー画面の[プロパティ]をクリックしてください。ディスクのプロパティが開き、使用領域や空き領域が表示されます。

ハードディスクは常に 1GB 以上の空き容量があると良いでしょう。



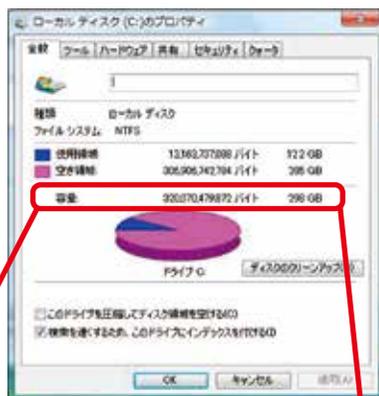
■ ハードディスクの容量が広告の表示よりも少ない

Windows でハードディスクの容量を表示すると、以下の 2 つの理由により、広告やお店の表示よりも少なくなります。

ひとつは、ハードディスクには「Save to Disk」という、システムの状態を一時的に保存する領域が設けてあり、この領域は Windows には認識されないため、この領域の分だけ容量が少なく表示されます。

もうひとつは、広告などで表示している容量と、Windows で表示される容量は、計算方法が異なるためです。広告などの表示では 1MB (メガバイト) は 1,000 × 1,000 バイトとして計算されています。

一方、Windows は 1MB を 1,024 × 1,024 バイトで計算していますので、結果として全体の容量が少なく表示されます。



■ 漢字入力ができない

キーボード左上に「半角/全角」と印刷されたキーがあります。Windows 上で漢字を入力するときは、このキーを押すごとに日本語入力とアルファベット入力が交互に切り替わります。

このとき IME ツールバーの左側の表示が「あ」なら日本語モード、「A」なら英数モードと入力モードを確認できます。



改善のための操作方法

■ プログラムのアンインストール

インストール済みのソフトウェアを管理します。ソフトウェアのアンインストールや追加インストールを行います。

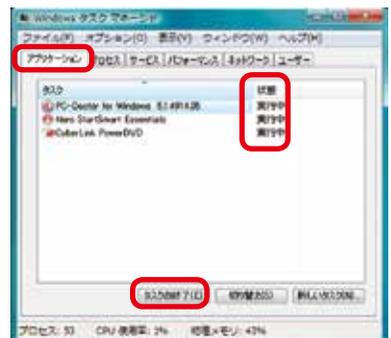
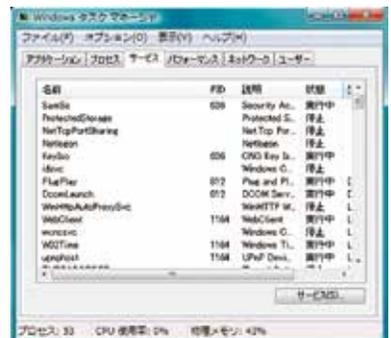
1. 「プログラムのアンインストールまたは変更」を表示します。
[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムのアンインストール] をクリックします。
2. アプリケーションをインストールします。
削除したいアプリケーションをクリックして選択後に [次へ] をクリックし、アンインストールを行います。



■ タスクマネージャー

現在起動されているプログラムの状態を確認したり、プログラムを強制的に終了させることなどができるソフトウェアです。一部ソフトのフリーズは強制終了することにより、Windowsに復帰できる場合があります。

1. 「タスクマネージャー」を表示します。
[Ctrl] + [Shift] + [ESC] を同時に押し、[タスクマネージャー] を起動します。
2. アプリケーションのタスク状態を確認します。
[応答なし] などの状態になっている場合は、その項目をクリックし、[タスクの終了] をクリックすると、そのプログラムを強制的に終了させることができます。

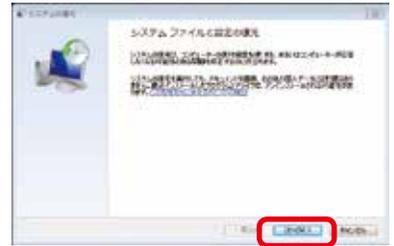


改善のための操作方法

■ システムの復元

1. 「システムの復元」を表示します。

- ・ [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [システムの復元] をクリックしてください。 [次へ] をクリックします。
- ・ [推奨される復元] を選択して、[次へ] をクリックします。
※ [別の復元ポイントを選択する] を選択した場合、過去の復元ポイントの一覧が表示されます。該当のポイントを指定して復元することもできます。



2. 「復元ポイントの確認」が表示されます。

- ・ 復元ポイントの内容を確認して [完了] をクリックしてください。
- ・ 続行の可否の選択が表示されるので、[はい] をクリックしてください。
- ・ システムの復元後、自動的に再起動します。



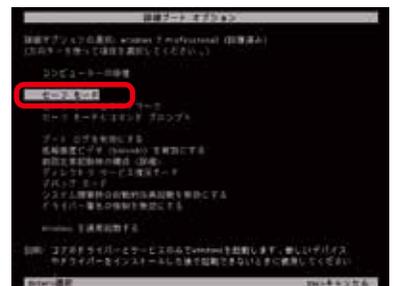
■ Windows をセーフモードで起動する

1. 「詳細ブート オプション」を表示します。

電源を入れた時に [F8 キー] をトントントンと断続的に押してください。BIOS[UEFI] 画面のあとに「詳細ブート オプション」が表示されます。

2. オプションを選択します。

[セーフモード] を選択して [Enter キー] を押してください。セーフモードで起動します。



ワンポイント

セーフモードは不具合発生時の診断用の起動モードです。不具合が発生し起動できなくなった場合も、このモードでは起動できる場合があります。



改善のための操作方法

バックアップ電池の交換方法

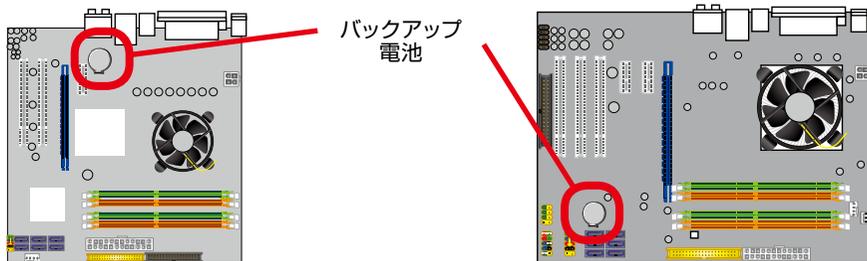
BIOS[UEFI] の設定情報が初期化されてしまうときや、起動時「CMOS Check Sum Error」「CMOS Battery Error」と表示され起動できないとき、BIOS[UEFI] の情報を保持するための電池を交換してみましょう。

バックアップ電池は主に CR2032 の電池が使われています。ボタン電池の表面に刻印されていますので、確認しましょう。



バックアップ電池交換手順

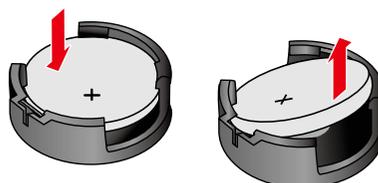
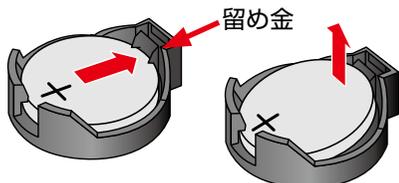
- 124 ページ「Diginnos パソコンのカバーの開け方」の手順に沿ってケースのカバーを開けてください。
- バックアップ電池の場所を確認します。
購入時の構成により配置は異なりますが、主に下側にあります。下記の図を参考にご確認ください。



- バックアップ電池を外します。ここでは代表的な 2 種類のバックアップ電池の外し方を説明します。

- A-1 電池ホルダーの留め金を外側に向け押します。
- A-2 電池が浮き上がったら、電池を抜きます。

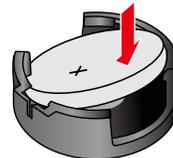
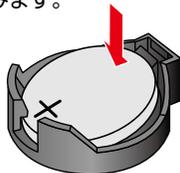
- B-1 電池の一端を上から押します。
- B-2 逆端が浮き上がったら、電池を抜きます。



- 新しいバックアップ電池を取り付けます。

- A + の刻印面が表にくるように取り付けます。
留め金の反対側を掛けてから留金側を「カチッ」と音が鳴るまで押し込みます。

- B + の刻印面が表にくるように斜めに取り付けます。
斜めになっている上側を垂直に押し込み「カチッ」と音が鳴るまで押し込みます。



CMOS クリア方法

バックアップ電池を外した状態で、電源スイッチを 30 回ほど繰り返し押してください。この作業を行うことで CMOS 内の情報がクリアされ BIOS[UEFI] が初期化されます。その後バックアップ電池を元の位置に取り付けてください。



- パソコンのケースを開けての内部の作業となりますので、ご自身で作業が可能な場合のみ行ってください。作業により物理破損された場合には、保証期間であっても保証対象外となります。
- バックアップ電池の交換を行うと、BIOS[UEFI] の設定情報は工場出荷時の状態に戻ります。あらかじめ作業を行う前の設定内容をメモしておき、作業完了後に設定を行ってください。

ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」

■ 「PC-Doctor」 について

Diginnos パソコンには、異常がないかを確認する診断ソリューションとして「PC-Doctor」というハードウェア診断ソフトウェアが導入されています（一部モデルを除く）。起動するけれど調子が悪いなど「不具合かな？」と思われる症状が現れたら、まずは「PC-Doctor」でチェックしてみましょう。

・ PC-Doctor for Dos

CD-ROM から起動することで Windows に依存することなく診断します。Windows のソフトウェアやドライバーなどに起因する不具合と切り離し、ハードウェア自体の問題を確認することができます。



「PC-Doctor for Dos」は Windows 8.1 以降搭載モデルにおいて、動作いたしません。
「PC-Doctor for Windows」をご利用ください。

・ PC-Doctor for Windows

Windows にインストールして実行することで診断を行います。

Windows から実行するため、診断結果は Windows のソフトウェアやドライバー状態に依存します。

PC-Doctor には上記の2種類があり、それらを組み合わせることでハードウェアや Windows の不具合を診断することができます。

本項目では、ハードウェアの診断を行う、「PC-Doctor for Dos」の操作方法を説明します。

「PC-Doctor for Windows」の操作方は、下記の URL から「PC-Doctor マニュアル (Win 版)」をご覧ください。また、ソフトウェアもダウンロードすることができます。

<http://www.dospara.co.jp/pc-doctor/>

■ 「PC-Doctor for DOS」 簡易操作方法

1. 光学ドライブに PC-Doctor の CD-ROM をセットして、パソコンを再起動させます。
メディアは 114 ページ「アプリケーション CD」をご参照ください。

2. 「ライセンス条項」が表示されます。

しばらくお待ちいただくと PC-Doctor が起動し「ライセンス条項」が表示されますので、[Y] キーを押して先に進みます。

3. 「メインメニュー」が表示されます。

テストの種類を選択して [Enter] キーを押して実行します。まずは [Advanced Tests] を実行しましょう。

Advanced Tests を実行すると、右記のメッセージが表示されます。光学ドライブの検査をするために、CD/DVD-ROM のメディアをドライブに入れ [Space] を押してください。

4. 「テスト画面」が表示されます。

各テスト項目の進展状況が表示されます。

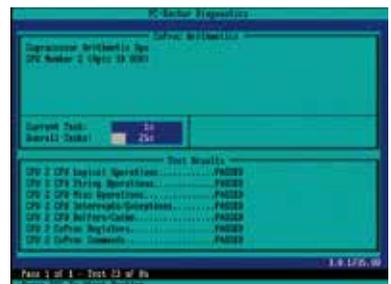
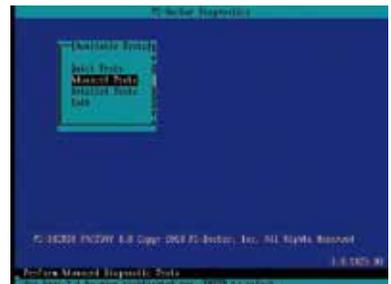
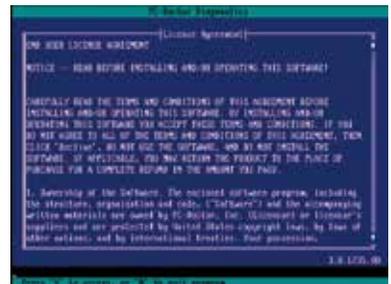
テスト時間

[Quick Tests] : 20 ~ 40 分

[Advanced Tests] : 120 ~ 300 分

※「Advanced Tests」ではより細かい検査を行います。そのためハードディスクの容量やメモリー容量などにより大きく時間が変わります。

※ PC-Doctor の実行中に、画面が明滅したり砂嵐が表示されたりしますが、



ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」

5. 「テストの実行結果」が表示されます。

- ・ PASSED : 全てのテストを正常に完了した場合
- ・ ABORTED : テストが途中で中断した場合
- ・ FAILED : エラーが発生した場合
「スペース」キーを押してテスト内容のログを確認します。
- ・ テスト結果の詳細が表示されます、「↑ ↓」カーソルキーで表示を移動して [FAILED] が表示されている項目を確認します。
表示している項目のハードウェアの不具合が考えられます。



Testing Complete - PASSED
Press Spacebar To View Log



Testing Complete - ABORTED
Press Spacebar To View Log



Testing Complete - FAILED
Press Spacebar To View Log



USB 機器を接続した状態で PC-Doctor を実行すると、フリーズしたり「FAILED」が表示される場合があります。

USB 機器 (USB キーボード以外) を取外した状態で PC-Doctor を実行してください。

USB キーボードは、[Keyboard] 項目に [FAILED] が表示される場合がありますが問題はございませんので、そのままご使用ください。



6. PC-Doctor を終了させます。

メインメニューの「Exit」を選択します。” C:\PCDR>” と表示されたら、PC-Doctor の CD を取り出し、電源スイッチを押してパソコンの電源を切ってください。

■ テストの種類について

【Quick Tests】

ハードウェア全体の簡易テストを自動で行います。

【Advanced Tests】

Quick Tests よりも詳細なハードウェア全体のテストを自動で行います。

Quick Tests で「PASSED」と表示された場合にお試しください。

【Detailed Tests】

特定のハードウェアの詳細なテストを手動で行います。

詳細な手順については、<http://www.dospara.co.jp/pc-doctor/> より、PC-Doctor 操作マニュアル (DOS 版) をご参照ください。

■ テスト結果について

「PASSED」と表示された場合にはハードウェアではなく、ご利用環境、設定やソフトウェアなどが不具合の要因となっている可能性があります。156 ページ「作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる」を参照して PC-Doctor 以外の内容を確認してみましょう。

なお「FAILED」と表示された場合にはハードウェアの不具合が考えられますので、デジノスサポートセンターまでお問い合わせください。

本ソフトウェアはDiginnos パソコン専用ソフトウェアのため、他のパソコンにはご使用できません。

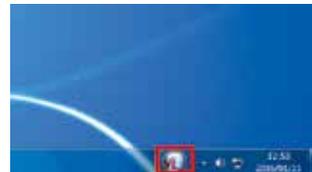
また、Diginnos パソコンのBIOS[UEFI]情報をお客様自身でアップデートや書き換えをされた場合には本ソフトウェアはご利用できなくなりますのでご注意ください。



ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」

■ 「PC-Doctor for Windows」 簡易操作方法

1. [スタートメニュー]→[すべてのプログラム]→[パソコン診断ソフト PC-Doctor]→[パソコン診断ソフト PC-Doctor] をクリックします。または、タスクバーの右側にある PC-Doctor のアイコンをクリックします。
2. ロゴ画面の後にメインメニューが表示されます。メインメニューの中央にあるアドバンステストをクリックします。クリックと同時にテストが開始されます。



● テストの種類について

【クイックテスト】

ハードウェア全体の簡易テストを自動で行います。テストによっては手動を求められる場合があります。

【アドバンステスト】

クイックテストよりも詳細なハードウェア全体のテストを自動で行います。クイックテストで「正常」と表示された場合にお試しください。

【個別診断】

特定のハードウェアの詳細なテストを手動で行います。

詳細な手順については、
<http://www.dospara.co.jp/pc-doctor/> より、
PC-Doctor for Windows 操作マニュアルをご参照ください。

テストウィンドウが動いている間は、PC-Doctor を終了させてないでください。

テストが正常に完了しません。

またテスト中パソコンで他の作業を行うと動作が遅くなります。



ハードウェア診断ソフト「PC-Doctor」

3. テストが完了すると、テストウィンドウの上半分に全体的な結果、下半分にパーツごとのテスト結果が一覧で確認できます。

- ・正常ならばテストウィンドウ左上の戻るをクリックし、メインメニューに戻ります。
- ・異常が出た場合は、画面右側中央よりに表示されているテストログを開くをクリックしてください。

※どのパーツに異常が発生しているかをメモに控え、メールかお電話にて、弊社デジノスサポートセンターにご相談くださいませうお願いいたします。

4. 画面右上の×をクリックして終了させます。



■ テスト結果について

「正常」と表示された場合にはハードウェアではなく、ご利用環境、設定やソフトウェアなどが不具合の要因となっている可能性があります。本書 156 ページ「作業中にフリーズする・ブルースクリーンになる」を参照して PC-Doctor 以外の内容を確認してみましょう。

なお「異常」と表示された場合にはハードウェアの不具合が考えられますので、デジノスサポートセンターまでお問い合わせください。

デジノサポートセンターよりお客様へ

パソコンのパーツは規格品なので、基本的にはどんな組み合わせでも動くはずですが、各社趣向を凝らし付加価値をつけて販売している製品もあって、「相性」でうまく動かない時もあります。また「動かない!」と思っていたものが、ちょっとしたミスや見落としが原因の時もあります。

不具合が見つかったもメーカーが解決策をウェブサイトで公開しているかもしれません。

ドスパラウェブサイト (<http://www.dospara.co.jp/>) にも耳寄り情報やメーカーのウェブサイトへのリンクを載せていますので、ぜひご覧ください。

インターネット上では、企業や個人がいろんな情報やウラ技をウェブサイトで公開しています。検索サイトで調べてみるのも面白いかもしれません。

自動車などでメンテナンスが必要なように、パソコンにもメンテナンスが必要です。長期間使用していると、内部にホコリがたまってしまう場合があります。そのホコリが不具合・トラブルの原因となりますので、定期的エアスプレーなどで内部のホコリを取り除くようにしましょう。

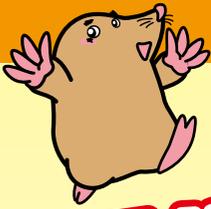
なにかを試す時はよく考えてから自分ができる範囲で少しずつ始めましょう。どんどんパソコンの知識を広げ、楽しいパソコンライフを送ってください。

パソコンのリユースについて

パソコン・パーツ買取のご案内

ドスパラは、新しくパソコンをご購入もしくは、新しいパソコンパーツに組み替えられた場合に、ご不要になったパソコンやパーツの買取を行い、地球資源のリユース（再利用）を促進しております。全国のドスパラ店頭またはドスパラウェブサイトより買取を実施しております。

詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。



ドスパラ中古買取 ▶ <http://used.dospara.co.jp/>

Diginnosパソコン購入で
ご不要になったパソコンは

パソコン
パソコン
周辺機器
デジカメ
PCパーツ
携帯電話

ドスパラに
**お売り
ください!!**
高額買取します!!

詳しくはドスパラ公式通販サイトの **中古販売** タグからドスパラ中古サイトへ



買取案内 タグから買取の方法をご確認いただけます!

無料!
まずは
査定



日本全国どこからでも**通信買取可能!!**

全国のドスパラ店頭にて**買取実施中!!**

パソコンのリサイクルについて

デジノスは、資源の有効な利用の促進に関する法律（通称：リサイクル法 2001年4月1日施行）により、事業系ユーザからのパソコン回収、再資源化の実施がパソコンメーカーに義務づけられたことに対応し、「デジノスリサイクルセンター」（旧ドスパラリサイクルセンター）を設置いたしました。

事業系（法人、個人事業者などのお客様）を対象として、パソコンの回収・リサイクルに関するご相談に対応するサービスを行っております。

また、リサイクル法の2003年10月1日の改正に基づき、個人（一般）向けパソコンの回収・リサイクルに関するご相談にも対応するサービスを「デジノスリサイクルセンター」にて開始いたしました。

PC リサイクルマーク



2003年10月1日以降に販売された、個人向けPCリサイクルサービス対象製品の本体には、「PCリサイクルマーク」が貼付してあります。このマークが貼付されている弊社対象製品は弊社にて無償回収および再資源化を実施させていただきます。

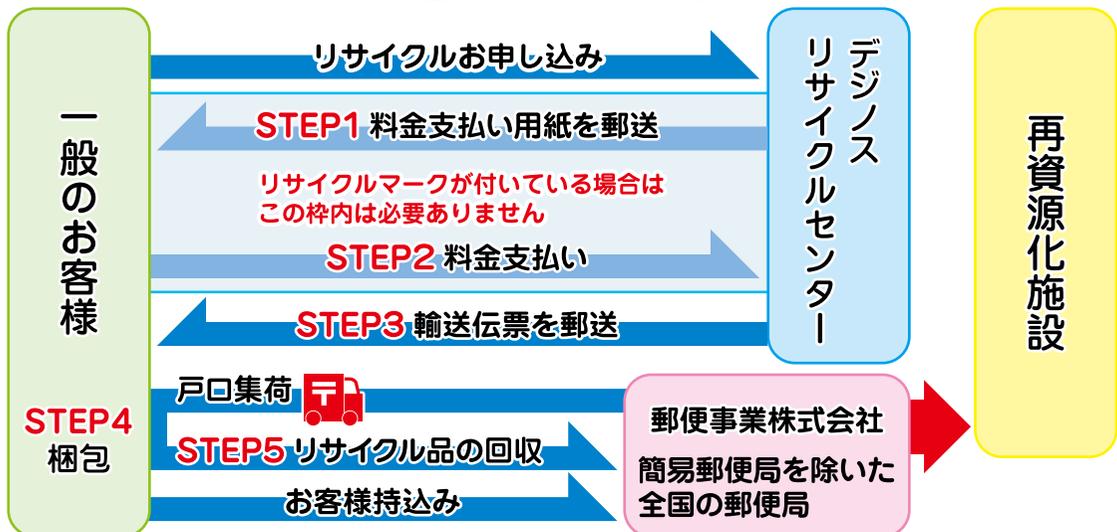
なお、回収は電子情報技術産業協会（JEITA）と郵便事業株式会社が提携し対応を行っております。郵便局へ直接お持ち込みいただくか、自宅戸口での集荷回収のどちらかをお選びいただくことができます。

PC リサイクルサービスのご案内

デジノスリサイクルセンターでは、ご家庭で不要になった弊社パソコンの回収リサイクル活動を行っております。詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.dospara.co.jp/recy>

お申込みから回収までの流れ



回収・リサイクルに関するお問い合わせ

デジノスリサイクルセンター

東京 03-4332-9193 (PHP・IP 電話もこちらへ)

ナビダイヤル 0570-028-119 (電話受付時間 9:00 ~ 21:00 年中無休)

パソコンに記憶されているデータについて

PC および HDD などの内蔵記憶装置に保存されているデータについて

パソコンの回収・リサイクルおよびリユースにあたり、以下の点にご注意ください。

お客様がご利用になっていたパソコンに内蔵されている記憶装置には、大切な個人情報や重要なデータが保存されています。このデータの取り扱いに関しましては大変恐れ入りますが、お客様の責任範囲としてデータの消去や別の記憶媒体などへバックアップ、保存を実施いただくこととなります。

特に記憶装置（ハードディスク / SSD 等）にマイナンバー（個人番号）記録されたデータがある場合は、お客様責任において消去いただくものとします。万一、当該データが残っていた場合は、速やかに返却させていただきます。

万が一、データの漏洩等が発生した場合につきましても、弊社では責任を負いかねます。

HDD 消去・破壊サービスのご案内

お客様によるデータ保護、漏洩に関して不安がある場合や、確実なデータの破壊もしくは、記憶装置の物理的な破壊による保護をご要望される場合は、弊社にて以下のサービスを提供しておりますのでご利用ください。（有償）

HDD データ消去

アメリカ合衆国国防総省採用のデータ消去方法に準拠した HDD のデータ消去作業を行います。HDD としての機能は維持されますので、リユースが可能です。

物理破壊

HDD を物理的に破壊し、完全に HDD としてのデータの書き込みおよび読み込みを不可能にします。破壊後は、HDD をパソコンへ接続しても動作しません。

また、破壊された HDD は PC リサイクルサービスの一環として、ご利用になっていたパソコンと一緒にリサイクルすることが可能です。

詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.dospara.co.jp/del>

Diginnosパソコン保証規約

お客様各位 この度は、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。お買い上げいただきました商品の保証の内容は、下記ようになっております。

1. 保証期間について

- ・証期間は販売店および通販でのご購入日より1年間となります。
- ・Diginnos 製造番号シールが保証書となります。
- ※ Diginnos 製造番号シールは Diginnos パソコン本体の裏面、もしくは底面に貼付していますのでご確認ください。
- ※ 修理完了後の保証につきましては、ご購入の際に付帯する保証期間の満了日、または、修理完了品のお引渡し日から1か月の保証期間を付帯し、いずれかの長い方とします。

2. 初期不良について

初期不良期間は、原則お買い上げ日から1週間以内とします。商品発送の場合は到着後1週間以内とします。初期不良の対応につきましては、お買い上げになられた店頭へお持ち込みいただくか、デジノス修理センター（以下、弊社）へご送付ください。お預かりのうえ、弊社にて修理対応をさせていただきます。修理に相当日数がかかる場合には、同一商品（新品）と交換をさせていただきます。交換する商品の在庫がない場合には同額以上の別商品と交換させていただきます。別商品と交換の際に差額が生じた場合には、差額分をご負担ください。お預けいただく際にお客様の来店または発送のご都合がつかない場合、お買い上げ日または、商品到着日から1週間以内にお買い上げ店舗またはデジノスサポートセンターまでご連絡をお願いします。ご連絡後、初期不良期間を最大1週間延長いたします。なお、DJクラブカードのメンバーでメールマガジンをご購読いただいている会員の方は、初期不良期間を1か月間に延長させていただいております。DJクラブへのご加入とメールマガジンのご登録をお勧めいたします。（メールマガジンは無料です）

3. 保証免責事項について

- 下記のような場合には、サポートおよび修理交換など、弊社保証の対象とはなりません。
- ・組み合わせや相性によって発生する機器互換性などによる症状。（仕様）
 - ・天災、火事および、停電、付属されている電源ケーブルの外部損傷などの外部要因によって故障が発生した場合。
 - ・弊社販売時のサポートOS以外で症状が発生する場合。
 - ・自然消耗、摩耗、劣化（バッテリーの経年劣化、消耗や長期使用によるハードディスクの不良セクタの増加）による場合。
 - ・譲渡などにより所有者の変更があった場合。（オークションや、中古売買などによるご購入を含む）
 - ・焼損痕、外傷がある場合。
 - ・保証書や製品のラベル類が汚損、破損している場合。
 - ・お客様の故意、過失、改造またはお取り扱い方法や、ご使用方法が不適切と判断した場合。

4. 不良発生時にご用意いただくもの

- ・「デジノス修理依頼書」（本書にありますのでご記入のうえ、同梱をお願い致します。コピー可。）
- ・記憶装置（ハードディスク/SSD等）にマイナンバー（個人番号）が記憶されたデータがある場合には、お客様責任において消去いただくものとします。
- ※ 修理依頼書の同梱がない場合、次に示す三つの事項について同意したとみなします。
 - 1、修理作業における障害復旧の為に、記憶装置（ハードディスク/SSD等）に記録されたOSやデータを消去する可能性がありますので、必要なデータについては事前にお客様がバックアップを実施するものとし、弊社はデータ消去によるお客様の損害に対し責任を負わないものとします。
 - 2、お客様の責任においてマイナンバー（個人番号）を含むデータの消去が完了していること。万一、当該データが残っていた場合には、修理をせずにお客様へ返却します。
 - 3、修理完了後、修理品は速やかにお引取りください。弊社から修理完了の連絡後、3ヶ月を経過してもお引き取りいただけない場合は、処分させていただきます。
- ・ご購入時の梱包箱
- ※ 作業を円滑に行うために、下記の物を同梱くださいますようお願いいたします。
 - OSインストールディスク・ドライバーCDなどの付属品。

5. 不良診断・修理に要する期間・修理部品の取り扱い

通常、保証期間中の修理についてはご依頼品をお持ちまたはお送りいただいた後、修理期間は弊社に到着してから、1週間から10日程度となります。原則、店舗へご来店での修理依頼の際は、その場での修理・交換対応は応じかねますので、あらかじめご了承ください。海外のメーカー製部品に関しては、その海外部品供給元へ送付し、修理依頼を行うため、初期不良期間経過後の修理のご依頼は、そのメーカーによっては1か月以上の期間をいただく場合がございます。保証期間中の修理において交換した部品の所有権は弊社に帰属します。よって、当該部品をお客様に返却しないものとします。なお、交換した部品は、地球環境の配慮から部品供給元で修理・再調整後、動作検査し新品部品と同等の品質が保証されたものとして再利用する場合があります。

- ※ 修理期間中における代替品の貸し出しは行っておりません。

6. 送料、診断料について

検証、修理で依頼品を送送されるときは送料は原則、お客様にてご負担ください。初期不良期間の製品につきましては、最寄りの店舗、または秋葉原サポートセンターおよび弊社デジノスサポートセンターへ事前にご連絡をいただき、検証修理が必要と判断された場合には弊社にて負担いたします（佐川急便のみ）。出荷時の構成と異なる構成に変更されている場合は、初期不良とみなしません。また、輸送中の事故はお客様の責任となりますので、商品が梱包されているダンボール箱などしっかりと梱包してください。弊社に到着後、検証・修理で依頼品返却時の送料は原則、弊社にて負担いたします。ただし自損など、自然故障以外のハードウェア不良の場合、返却時の送料はお客様のご負担となり別途診断料もご請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

7. 責任制限

- ・弊社の責任の範囲は、上記の修理・交換とし、当該商品のご購入金額を上限とします。逸失利益、ダウンタイム（機能停止期間）、データおよびプログラムの修復などの間接的な損害については、弊社の責任範囲から除外といたします。
- ・修理対応時における記憶媒体（ハードディスク/SSD等）内のデータの保証および対応は一切致しかねます。定期的なバックアップの取得をお勧めいたします。
- ・弊社ではマイナンバー法の定める「個人番号関係事務」/「個人番号利用事務」の委託はお受けいたしかねます。
- ・この保証は日本国内でのご利用においてのみ有効とします。本規約に関する紛争は、特に別段の定めなき場合は、東京簡易裁判所または東京地方裁判所のみをもって第一審の専属管轄裁判所とします。
- ・サービス・保証内容は、予告なく変更される場合がございます。

8. 返品、交換について

弊社では原則、返品対応は一切受け付けておりません。お客様において誤って商品をご購入された場合につきましては、未使用・未開封の状態において、ご購入日から7日以内であればデジノスサポートセンター又はご購入店舗へご連絡のうえ、お買い上げ明細書（レシート）、領収書を添えてお持ちいただければ、ほかの同額以上の商品と交換いたします。交換の際に差額が生じた場合には差額分をご負担ください。通信販売でお求めの場合は、差額お振込み時の振込手数料、代引手数料などはお客様にてご負担ください。

9. Diginnosパソコン保証期間外の修理またはアップグレードなど、有償サポートについて

有償サポートにつきましては、詳しくはお買い上げ店舗、またはデジノスサポートセンターにお問い合わせください。

【修理のご依頼について】

ドスバラの通販、店舗でお買い上げをいただきました製品の修理のご依頼につきましては弊社デジノスサポートセンターへご連絡ください。デジノスサポートセンターでハードウェアに障害があるかどうかを確認し、適切な対応を行わせていただきます。

【修理をご依頼された場合】

修理完了後お客様へ修理が完了した旨のご連絡させていただきますので、お早めにお引取りください。修理完了およびお引取のご連絡から3か月を超えてもお預り品のお引取りがなされない場合は、誠に勝手ながら弊社にて処分させていただきますのでご了承ください。

デジノス修理依頼書

オンラインによるパソコン故障診断をご利用しております
<http://check.dospara.co.jp/front>

注意事項 1

- Diginos パソコンを送付いただく際には、ご購入時の梱包箱を利用し、修理依頼品を梱包してください。箱がない場合には安全に輸送するために別途パソコン梱包用の箱をご用意いただき、送付願います。着荷時の梱包箱の状態により、当社で再利用が困難と判断した場合には、返却時の箱代を請求させていただきます。また、梱包不良による輸送事故および、破損は保証期間内でも有償対象となりますので、あらかじめご了承ください。
- 送付いただく際の運送業者は、佐川急便をご利用いただきますようお願いいたします。
- Diginos パソコンの保証は、ご購入時の構成であることが原則となります。お客様側で構成の変更をされている場合は弊社保証の対象外となります。送付いただく際には、ご購入時の構成に戻した状態で送付ください。

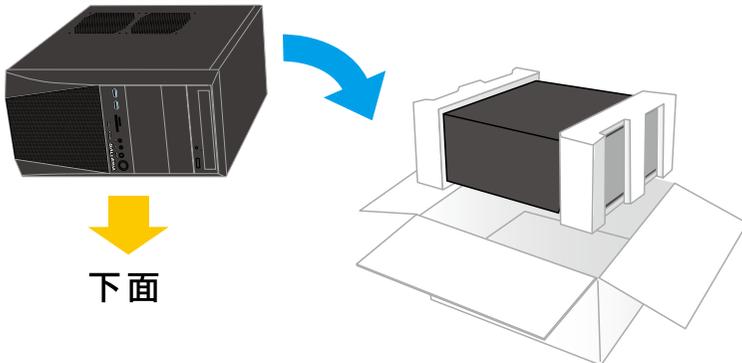
注意事項 1・2 に同意の上で必要事項をご記入のうえ、お申し込みください

※のついでいるところは、ご記入必須事項です

ヨミガナ		デジノス タロウ	問い合わせ番号			
※お名前		デジノス太郎	(T ※※※※または Q ※※※※)			
会社名 / 部署名			T	X	X	X
※ご住所 返送先住所を ご記入ください		〒 101 - 0021 東京都千代田区外神田 3-11-1				
※ご連絡のつく電話番号		TEL: 03 - 5295 - 3435 携帯電話: - -				
<p>※補助記憶装置障害に関する修理におけるデータの取り扱いについて</p> <p>■ 修理に伴うデータ初期化について お願い: 修理作業における障害復旧の為に、記憶装置 (ハードディスク/SSD 等) に記録された OS やデータを消去する可能性があります。必要なデータについては事前にお客様がバックアップを取得ください。 *データの保護・バックアップ等については、保証対応対象外です。</p> <p>・修理に伴い、障害復旧のために、記憶装置 (ハードディスク/SSD 等) に記録された OS やデータの消去が伴う場合がございます。 ・お客様からお預かりしましたご依頼品において、以下のいずれかのチェックがない場合でも、補助記憶装置や OS の不具合の場合には、その装置の交換対応や OS インストールが伴います。これらの場合はデータが消去となります。あらかじめご了承ください。</p> <p>※データの初期化に関して下記チェックがない場合は、「同意する」とみなします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 上記内容に同意します <input type="checkbox"/> 上記内容に同意しない</p> <p>■ マインナーの取り扱いについて お願い: ご依頼をされる前に、お客様の責任においてマインナー (個人番号) が記憶されたデータを消去してください。 万一、当該データが残っていた場合には、修理をせすにお客様へ返却します。 ・弊社ではマインナー法の定める「個人番号関係事務」/「個人番号利用事務」の委託はお受けいたしません。 ※マインナーの取り扱いに関して下記チェックがない場合は、「同意する」とみなします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 上記内容に同意します <input type="checkbox"/> 上記内容に同意しない</p>						
<p>※お預かりしている修理品の保管期間について</p> <p>お預かりしている修理品の保管期間は、修理完了 3 ヶ月とさせていただきます。 保管期間を超えた場合は、弊社の裁量でお預かり品を処分できるものとしますので、あらかじめご了承ください。 ※修理品の保管期間に関して下記チェックがない場合は、「同意する」とみなします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 上記内容に同意します <input type="checkbox"/> 上記内容に同意しない</p>						
管理者権限のユーザー名:			パスワード:			
Windows ログイン時にパスワードの設定がある場合は必ずご記入ください。 ※ OS 上のエラーログの確認や、検査を行うために必要です。						
<p>※不具合内容・症状</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> Windows が起動しない <input type="checkbox"/> 電源のファンは回っているが画面表示がない <input type="checkbox"/> 電源が落ちる</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 電源が入らない (通電しない) <input type="checkbox"/> OS は途中で起動する <input type="checkbox"/> 異音がある</p> <p><input type="checkbox"/> 画面は出る (BIOS [UEFI] は起動する) <input type="checkbox"/> 再起動してしまう <input type="checkbox"/> ハングアップする</p> <p><input type="checkbox"/> 表示がおかしい</p>						
<p>故障箇所、または試されたこと、故障時の様子や発生頻度など、なるべく詳しくお書きください。 起動しなくなりました。 ランプは付きますが画面が映りません。 【パソコントラブル解決手順】の「電源が入らない場合」の内容を確認しましたが直りませんでした。</p>						
<p>連絡希望時間帯: (12:00 ~ 17:00) ※弊社より連絡を差し上げる場合営業時間 9:00 ~ 21:00 の間のご連絡となります</p>						

注意事項 2

- 記載内容に不備がある場合は、修理が遅くなることがございます。
- 修理品の送料はお客様負担となります。弊社指定の初期不良期間に限り、通常宅配料金を弊社が負担します。
- ウィルス感染による不具合やシステム上の不具合など、弊社の職責ではない場合、送料や技術料などの費用が発生する場合があります。
- お客様の個人情報および個人履歴は、弊社修理サービス及びサポートの提供においてのみ使用されます。また、お客様の同意なしに、上記以外の目的で個人情報および個人履歴を使用することはございませんのでご安心ください。



■修理依頼前の確認

修理依頼の前に、本書 152 ページ「困ったときは」を確認しましょう。

■修理依頼方法

・デジノスサポートセンターへ問合せ修理のご依頼の際は、まずデジノスサポートセンターへ問合せください。不具合の内容をお伺いしお問い合わせ番号の発行と送付をご案内いたします。ドスパラ各店舗へのお持込みに関しては問合せの時にご申告ください。

・修理依頼書

左記の見本にしたがい修理依頼書へお問い合わせ番号及び必要事項をご記入ください。

お問い合わせ先:
 デジノスサポートセンター
東京 03-4332-9193
 (PHS・IP 電話からもこちらへ)
 ナビダイヤル 0570-028-119

■発送時の注意

①発送について

お持込み以外に送付でも承っております。修理受付の際の送料はお客様にご負担いただいておりますので、最寄りの宅配業者をご利用のうえで発送してください。

②同梱物について

・弊社のレシートまたは納品書 (保証書)
 ・デジノス修理依頼書
 ・ドライバー CD、付属品など
 ※パソコン保険をお申し込みの際にパソコン保険証券の同梱が必要となります。

■HDD/SSD 内データについて

HDD/SSD のデータは保証できません。ご迷惑をおかけしますがデータにつきましては破棄されることをあらかじめご了承ください。

■梱包について

①梱包箱

ご購入時の梱包箱で梱包してください。また、箱がない場合にはお客様で梱包用の箱をご用意いただき、緩衝材を利用するなど、輸送時に損傷しないよう梱包してください。輸送時の事故はお客様の責任となります。しっかりと梱包して運送保険をお掛けください。

②梱包時の注意

梱包の際は、正面から見て右側を下にして梱包してください。(マザーボード側を下にします)

■配送先

〒252-1123
 神奈川県綾瀬市早川 2696-1
 デジノス修理センター

Diginnos マニュアル

著者 / 監修：株式会社サードウェーブデジノス CS 事業部

発行 / 編集：株式会社サードウェーブデジノス

ご注意

※本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

※本書の内容および製品の仕様について、将来予告なしに変更することがあります。

※本書の内容は万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気付きの点がございましたらご連絡ください。

※本書の内容に基づく運用結果として発生した損害には、責任を負いかねます。あしからずご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows 10、Windows 8.1、Windows 7、Office は米 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel ロゴ、および Intel Inside ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

Mac、Mac OS は、Apple Inc. の商標です。

© 2009 Nero AG, Karlsbad, Germany. All rights reserved.

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の、会社名、製品名、システム名は各社の商標または登録商標です。



お買上げいただいたパソコンの

調子が悪い? 壊れた?

と、思われる
症状がでたとき...



まずは...

パソコン故障診断

パソコン故障診断 をお試しください!

故障と思われる症状の中には、パソコン本体の故障ではなく、ソフトウェアや、周辺機器・増設機器に問題が発生している場合もあります。パソコン故障診断は、症状からトラブルの原因を特定し、解決策を紹介するプログラムです。

パソコンから

<http://www.diginnos.co.jp/spt/check>

携帯から

<http://www.diginnos.co.jp/spt/check/mob>



故障診断で解決しない場合

FAQ

FAQ検索 をお試しください!

FAQにはお客様からのよくあるご質問とその改善方法を紹介しています。同症状の改善方法が記載されているかもしれません。「FAQの検索」に症状を入力して【検索】を行ってみてください。

パソコン/
スマートフォンから

<http://www.diginnos.co.jp/spt/faq>



故障診断やFAQ記載の方法を試しても改善されないときは

デジノスサポートセンター へお問い合わせください!

Eメール

<http://www.diginnos.co.jp/spt/tecinfo>

電話

東京 **03-4332-9193** (PHS・IP電話からもこちらへ)

受付時間

9:00~21:00

ナビダイヤル **0570-028-119**

定休日: 年中無休
(年末年始を除く)

・固定電話からは全国一律1分/10円、携帯電話からはおよそ1分/20円の通話料金がかかります。
※携帯電話の場合、ご契約されている携帯会社により料金が異なる場合がございます。



デジノスサポートセンター
からのお願い

お問い合わせの際は、パソコンの製造番号を事前にご確認願います。
※製造番号のご確認は、本書15ページをご参考ください。

インターネット通販

特価品情報

各店セール情報

サポート情報



<http://www.dospara.co.jp>